

平成 15 年 1 月 - 平成 15 年 12 月 研究業績目録

(前段：和文業績)
(後段：欧文業績)

院 長 President

学術雑誌に発表した総説

篠崎英夫. 医政の原点 診療記録の開示について. 2003 ; 28(10) : 1080-1.

篠崎英夫. 医政の原点 今後の医療提供体制のあり方『医療提供体制の改革のビジョン案』から(1). 看護展望 2003 ; 28(11) : 1192-3.

篠崎英夫. 医政の原点 今後の医療提供体制のあり方『医療提供体制の改革のビジョン案』から(2). 看護展望 2003 ; 28(12) : 1304-5.

篠崎英夫. 医政の原点 今後の医療提供体制のあり方『医療提供体制の改革のビジョン案』から(2). 看護展望 2003 ; 28(13) : 1416-7.

抄録のある学会報告

篠崎英夫. 医学・医療の進歩を世界へ向けて 医学・医療と教育 新たな医師臨床研修制度について. 第 26 回日本医学会総会 ; 2003.4.4-6 ; 福岡. 日本医学会総会誌 2003 ; 26(3) : 283-4.

篠崎英夫. 21 世紀の医療改革ビジョン. 第 58 回日本大腸肛門病学会 ; 2003.11.7-8 ; 名古屋. 日本大腸肛門病学会雑誌 2003 ; 56(9) : 442.

篠崎英夫. 医療制度改革. 第 62 回日本脳神経外科学会総会 ; 2003.10.3 ; 仙台.

次 長 Vice President

著 書

林謙治. 保健医療面から見た人口問題. 毎日新聞社人口問題調査会編. 少子高齢社会の未来学. 東京 : 論創社 2003. p.113-40.

抄録のある学会報告

林謙治, 武村真治, 兵井伸行, 須藤紀子. 諸外国における保健所等保健衛生組織の実態調査研究 (その 1) - 総論 -. 第 62 回日本公衆衛生学会総会 ; 2003.10.22-24 ; 京都. 日本公衆衛生雑誌 2003 ; 50(10 付) : 416.

須藤紀子, 兵井伸行, 武村真治, 林謙治. 諸外国における保健所等保健衛生組織の実態調査研究 (その 2) - アメリカの実態 -. 第 62 回日本公衆衛生学会総会 ; 2003.10.22-24 ; 京都. 日本公衆衛生雑誌 2003 ; 50(10 付) : 416.

武村真治, 須藤紀子, 兵井伸行, 林謙治. 諸外国における保健所等保健衛生組織の実態調査研究 (その 3) - イギリスの実態 -. 第 62 回日本公衆衛生学会総会 ; 2003.10.22-24 ; 京都. 日本公衆衛生雑誌 2003 ; 50(10 付) : 417.

兵井伸行, 武村真治, 須藤紀子, 林謙治. 諸外国における保健所等保健衛生組織の実態調査研究 (その 4) - 韓国の実

態 -. 第 62 回日本公衆衛生学会総会 ; 2003.10.22-24 ; 京都. 日本公衆衛生雑誌 2003 ; 50(10 付) : 417.

曾根智史, 林謙治. 保健医療分野における研究評価のあり方に関する研究 (その 1) : 米国 NIH の評価システム. 第 62 回日本公衆衛生学会総会 ; 2003.10.22-24 ; 京都. 日本公衆衛生雑誌 2003 ; 50(10 付) : 349.

緒方裕光, 林謙治. 保健医療分野における研究評価のあり方に関する研究 (その 2) : 米国 CDC の評価システム. 第 62 回日本公衆衛生学会総会 ; 2003.10.22-24 ; 京都. 日本公衆衛生雑誌 2003 ; 50(10 付) : 349.

河野稔明, 伊藤弘人, 林謙治. 保健医療分野における研究評価のあり方に関する研究 (その 3) : 助成採択研究の追跡評価. 第 62 回日本公衆衛生学会総会 ; 2003.10.22-24 ; 京都. 日本公衆衛生雑誌 2003 ; 50(10 付) : 350.

林謙治. 健康危機管理情報システムについて. 第 16 回公衆衛生情報研究協議会研究会 ; 2003.1 ; 横浜.

その他学術報告 (研究調査報告書含む)

林謙治, 主任研究者. 厚生労働科学研究費補助金厚生労働科学特別研究事業「諸外国における保健所等保健衛生組織の

実態調査研究」平成 14 年度研究報告書；2003.3.p.1-4.

林謙治, 主任研究者. 厚生労働科学研究費補助金厚生労働科学特別研究事業「保健医療分野における研究評価のあり方に関する研究」平成 14 年度研究報告書；2003.3. p.1-7.

視聴覚資料やデジタル媒体

(ホームページ)

林謙治, 大坪浩一, 曾根智史, 土井徹, 鳩野洋子, 兵井伸行, 平野かよ子, 若松弘之, 綿引信義. 地域予防サービスガイド. “Guide to Community Preventive Services from CDC” <http://www.niph.go.jp/wadai/chiikiyobo/index.htm>; 2003. p.1-133.

技術評価部

Department of Technology Assessment and Biostatistics

学術雑誌に発表した原著論文

溝口恭子, 葦止勝磨, 丹後俊郎, 簗輪真澄. 関東都市部における 1 歳 6 か月時から 3 歳時にかけてのう蝕発生と授乳状況ならびに関連する要因の検討. 日本公衆衛生雑誌 2003; 51: 867-78.

丹後俊郎, 森宏之, 藤井信吾, 武谷雄二, 川崎邦之, 田原祐司, 鶏之沢孝一, 大越明. 血中エストロジオール (E2) 値の施設間差の検討ならびに E2 基準値の測定法と利用法について. 産婦人科の世界 2003; 55: 947-54.

横山顕, 大森泰, 横山徹爾. 大酒家の食道扁平上皮癌におけるアルコール代謝酵素の関連からみた多発癌および口腔咽喉と胃の他臓器重複癌. 胃と腸 2003; 38(3): 339-48.

学術雑誌に発表した総説

福井次矢, 丹後俊郎. 診療ガイドラインの作成の手順. EBM ジャーナル 2003; 4: 284-92.

山岡和枝. エビデンスに基づく栄養教育は? 肥満と糖尿病 2003; 2(5): 104-6.

著 書

丹後俊郎. 無作為化比較試験—デザインと統計解析. 医学統計学シリーズ No.5. 東京: 朝倉書店; 2003.

丹後俊郎. 統計手法の選び方. 日野原重明, 村井裕夫 監修. 看護のための最新医学講座, 第 36 巻 EBN と臨床研究. 東京: 中山書店; 2003. p.210-9.

矢野栄二, 小林廉毅, 山岡和枝, 編. EBM 健康診断 第 2 版. 東京: 医学書院; 2003.

横山徹爾. 脳卒中. 山田和彦, 松村康弘, 編. 健康・栄養食品アドバイザースタッフ・テキストブック. 東京: 第一出版; 2003. p.236-8.

横山徹爾. 喫煙行動, 飲酒行動, 睡眠・休養・ストレス, 学校保健. 伊達ちぐさ, 松村康弘, 編. 管理栄養士講座・公衆衛生学. 東京: 建帛社; 2003. p.91-9, 221-9.

瀬上清貴, 橋本修二, 横山徹爾, 山縣然太郎, 水嶋春朔, 尾島俊之, 青山旬, 谷原真一, 中山健夫, 吉池信男, 藤本真一, 小橋元, 編. 図説・国民衛生の動向 2003. 東京: 厚生統計協会; 2003.

抄録のある学会報告

丹後俊郎, 今井淳. 人口動態統計指標のベイズ推定と地域集積性—Disease Mapping System の開発—. 第 13 回日本疫学会; 2003.1.24-25; 福岡. J Edpiemiol 2003; 13(1 Suppl): 137.

高橋美保子, 丹後俊郎. インフルエンザによる超過死亡の新しい定義と従来の定義との比較. 第 13 回日本疫学会; 2003.1.24-25; 福岡. J Edpiemiol 2003; 13(1 Suppl): 144.

三砂ちづる, 丹後俊郎, 簗輪真澄, 他. 出産状況がその後の母子の健康 (ADHD 等) に与える影響—研究デザイナー—. 第 13 回日本疫学会; 2003.1.24-25; 福岡. J Edpiemiol 2003; 13(1 Suppl): 184.

和田正道, 佐々木隆一郎, 丹後俊郎. 感染症流行の予測システムの開発. 第 62 回日本公衆衛生学会総会; 2003.10.22-24; 京都. 日本公衆衛生雑誌 2003; 50(10 付): 811.

三砂ちづる, 菅原ますみ, 福島富士子, 竹内正人, 野口真貴子, 丹後俊郎, 榊原洋一, 小林秀資. 出産経験に関する尺度—「変革につながるような出産体験」を定義する試み. 第 62 回日本公衆衛生学会総会; 2003.10.22-24; 京都. 日本公衆衛生雑誌 2003; 50(10 付): 589.

山岡和枝, 丹後俊郎, 渡辺満利子, 横塚昌子. RCT に基づく糖尿病予防のための栄養教育効果の評価. 第 13 回日本疫学会; 2003.1.24-25; 福岡. J Edpiemiol 2003; 13(1 Suppl): 41.

山岡和枝, 吉野諒三. 健康感と関連要因: 東アジア価値観調査結果の分析. 第 31 回日本行動計量学会大会; 2003.9.5; 名古屋 p250-1.

渡辺満利子, 山岡和枝, 丹後俊郎. 介入研究による糖尿病予防のための新栄養教育効果の評価. 第 31 回日本行動計量学会大会; 2003.9.5; 名古屋. 同大会講演集. 2003. p.426-7.

山岡和枝, 丹後俊郎, 渡辺満利子. 糖尿病予防のための栄養教育の効果の評価. 第 25 回日本臨床栄養学会総会・第 24 回大会日本臨床栄養協会総会; 2003.10.4-5; 横浜. 同総会講演集. 2003. p.83

山岡和枝. 健康関連 QOL 測定のための HRQOL20 調査票オランダ語版の適用性. 第 62 回日本公衆衛生学会総会; 2003.10.22-24; 京都. 日本公衆衛生雑誌 2003; 50(10 付): 381.

渡辺満利子, 山岡和枝, 横塚昌子, 諸戸敏子, 丹後俊郎. II 型糖尿病予防のための新しい栄養教育の無作為化比較試験による評価. 第 62 回日本公衆衛生学会総会; 2003.10.22-24; 京都. 日本公衆衛生雑誌 2003; 50(10 付): 864.

野村恭子, 山岡和枝, 岡野隆宏, 矢野栄二, 阿蘇山火口見学者の火山ガスに対する危険認識と態度と行動. 第 62 回日本公衆衛生学会総会; 2003.10.22-24; 京都. 日本公衆衛生雑誌 2003; 50(10 付): 405.

大坪浩一, 山岡和枝, 横山徹爾, 高橋邦彦, 丹後俊郎. 医療資源の死亡に及ぼす影響を EBSMR で評価する一福岡県における事例一. 第 62 回日本公衆衛生学会総会; 2003.10.22-24; 京都. 日本公衆衛生雑誌 2003; 50(10 付): 474.

横山徹爾, 吉池信男, 伊達ちぐさ, 中山絢湖, 齋藤京子, 松下由実, ユ・テイ・ルイン, 松村康弘, 田中平三. 血清ビタミン C 濃度・野菜果物摂取頻度と循環器疾患罹患リスク S 市第 2 コホート. 第 62 回日本公衆衛生学会総会; 2003.10.22-24; 京都. 日本公衆衛生雑誌 2003; 50(10 付): 520.

齋藤京子, 横山徹爾, 吉池信男, 中山絢湖, 松村康弘, 伊達ちぐさ, 山本昭夫, 田中平三. 飲酒に伴うフラッシング反応と平均赤血球容積 (MCV) との関連. 第 62 回日本公衆衛生学会総会; 2003.10.22-24; 京都. 日本公衆衛生雑誌 2003; 50(10 付): 551.

横山徹爾, 吉池信男, 伊達ちぐさ, 松村康弘, 齋藤京子, 松下由実, 田中平三. 病型別脳卒中罹患の危険因子一新発田第 2 コホート. 第 13 回日本疫学会; 2003.1.24-25; 福岡. J Epidemiol 2003; 13(1 Suppl): 78.

齋藤京子, 横山徹爾, 吉池信男, 伊達ちぐさ, 松村康弘, 山本昭夫, 村松正明, 田中平三. 飲酒に伴うフラッシング反応と血圧との関連. 第 13 回日本疫学会; 2003.1.24-25; 福岡. J Epidemiol 2003; 13(1 Suppl): 159.

大坪浩一. 「特定規制地域」の導入による病床整備計画一有床診療所の立地分析を通じて一. 第 41 回日本病院管理学会学術総会; 2003.10.30-31; 東京. 病院管理 2003; 40(Suppl): 314.

西川正子, 山尾剛一, 小川真樹子. Informative dropout が起こる場合の有害事象の経時的発現状況の推定. 第 71 回統計関連学会連合大会; 2003.9.2-5; 名古屋. 同講演要旨集. 2003. p.235-6.

高橋邦彦. Higher order approximations for randomized

confidence intervals and tail probabilities for discrete distributions. 日本数学会 2003 年度年会; 2003.3.23-26; 東京. 統計数学科会講演アブストラクト. 2003. p.71-90. (特別講演).

高橋邦彦, 丹後俊郎. ある平面領域同定の検定とその評価法: 疾病集積性を例として. 第 71 回統計関連学会連合大会; 2003.9.2-5; 名古屋. 同講演報告集. 2003. p.269-70.

高橋邦彦. 疾病の地域集積性とデータ解析. 科学研究費シンポジウム「データ解析のための統計科学理論」; 2003. 1210-12; 横浜.

その他学術報告 (研究調査報告書含む)

丹後俊郎, 主任研究者. 厚生労働科学研究費補助金医療技術評価総合研究事業「日本における EBM のためのデータベース構築および提供利用に関する調査研究」. 課題番号: H14-医療-067. 平成 14 年度総括・分担研究報告書. 2003 年 3 月.

丹後俊郎, 主任研究者. 厚生労働科学研究費補助金食品・化学物質安全総合研究事業「ダイオキシン類汚染に起因する悪性新生物死亡の超過リスクに関するコホート研究」平成 14 年度報告書. 2003 年 3 月.

横山徹爾. 間脳下垂体機能障害の予後調査法に関する検討. 厚生労働科学研究費補助金特定疾患対策研究事業「間脳下垂体機能障害に関する調査研究」(主任研究者: 千原和夫) 平成 14 年度研究報告書; 2003.

視聴覚資料やデジタル媒体

(CD-ROM)

丹後俊郎, 今井淳. Disease Mapping System, Ver 1.0.0. CD-ROM, 2003 年 1 月. (平成 11-12 年度厚生科学研究費補助金統計情報高度利用総合研究事業「人口動態統計指標のベイズ推定と地域集積性の評価に関する研究 (主任: 丹後俊郎)」の研究成果の一つであるソフトウェアの公開配布)

田中平三, 監修. 横山徹爾, 指導. 脳卒中にならない暮らし方してませんか (CD-ROM 視聴覚教材). 東京: (財) 健康・体力づくり事業財団; 2003.

(ホームページ)

林謙治, 大坪浩一, 曾根智史, 土井徹, 鳩野洋子, 兵井伸行, 平野かよ子, 若松弘之, 綿引信義. 地域予防サービスガイド. “Guide to Community Preventive Services from CDC” <http://www.niph.go.jp/wadai/chiikiyobo/index.htm>; 2003. p.1-133.

Originals

Kulldorff M, Tango T, Park PJ. Power comparisons for disease clustering tests. Computational Statistics and Data Analysis 2003; 42: 665-84.

Doi Y, Minowa M, Tango, T. Impact and correlates of poor sleep quality in Japanese white-color employees. Sleep 2003; 26: 467-71.

Kawashima M, Tango, T, Noguchi T, Inagi M, Nakagawa H, Harada S. Addition of fexofenadine to a topical corticosteroid reduces the pruritus associated with atopic dermatitis in a 1-week randomized, multicenter, double-blind, placebo-controlled, parallel-group study. Br J Dermatol 2003; 148: 1212-21.

Iwasaki, T, Murata M, Ohshima S, Miyake T, Kudo S,

Inoue Y, Narita M, Yoshimura T, Akiba S, Tango T, Yoshimoto Y, Shimizu Y, Sobue T, Kusumi S, Yamagishi C, Matsudaira H. Second analysis of mortality of nuclear industry workers in Japan, 1986-1997. *Radiat Res* 2003; 159: 228-38.

Daida H, Ouchi Y, Saito Y, Yamada N, Nishide T, Mokuno H, Kurata T, Sato H, Eto M, Ako J, Tango T, Yamaguchi H. Preventing angiographic progression of coronary atherosclerosis with pravastatin. *J Atheroscler Thromb* 2003; 10: 25-31.

Hayashi LC, Hayashi S, Yamaoka K, Tamiya N, Chikuda M, Yano E. Ultraviolet B exposure and type of lens opacity in ophthalmic patients in Japan. *Sci Total Environ* 2003; 20(302): 53-62.

Yamaoka K, Hayashi C. Cultural link analysis of Japanese Americans. *Behaviormetrika* 2003; 30(1): 7-19.

Watanabe M, Yamaoka K, Yokotsuka M, Tango T. Randomized controlled trial of a new dietary education program to prevent type 2 diabetes in a high-risk group of Japanese male workers. *Diabetes Care* 2003; 26: 3209-14.

Yamaoka K, Takeda Y, Shigehisa T, Ogoshi K, Kobayashi K, Hayashi F, et al. Health-related quality of life in Japanese lung cancer patients as determined by two questionnaires: the HRQOL-20 and the EORTC QLQ-C30. *Annals of Cancer Research and therapy* 2003; 11(1&2): 31-46.

Yokoyama T, Yokoyama A, Kato H, Tsujinaka T, Muto M, Omori T, et al. Alcohol flushing, alcohol and aldehyde dehydrogenase genotypes, and risk for esophageal squamous cell carcinoma in Japanese men. *Cancer Epidemiol Biomarkers Prev* 2003; 12: 1227-33.

Saito K, Yokoyama T, Yoshiike N, Date C, Yamamoto A, Muramatsu M, et al. Do the ethanol metabolizing enzymes modify the relationship between alcohol consumption and blood pressure? *J Hypertens* 2003; 21: 1097-105.

Matsushita Y, Yokoyama T, Yoshiike N, Matsumura Y, Date C, Kawahara K, et al. The Trp(64)Arg polymorphism of the beta(3)-adrenergic receptor gene is not associated with body weight or body mass index in Japanese: a longitudinal analysis. *J Clin Endocrinol Metab* 2003; 88: 5914-20.

Kimura T, Yokoyama T, Matsumura Y, Yoshiike N, Date C, Muramatsu M, et al. NOS3 genotype-dependent

correlation between blood pressure and physical activity. *Hypertension* 2003; 41: 355-60.

Kushiro W, Yokoyama T, Date C, Yoshiike N, Tanaka H. Excess risk of early death in the elderly attributable to activities of daily living, mental status, and traditional risk factor: The Shibata elderly cohort study with a 20-Year follow-up. *Geriatr Gerontol Int* 2003; 3: 24-35.

Yokoyama A, Yokoyama T, Muramatsu T, Omori T, Matsushita S, Higuchi S, et al. Macrocytosis, a new predictor for esophageal squamous cell carcinoma in Japanese alcoholic men. *Carcinogenesis* 2003; 24: 1773-8.

Yokoyama M, Yokoyama A, Yokoyama T, Hamana G, Funazu K, Kondo S, et al. Mean corpuscular volume and the aldehyde dehydrogenase-2 genotype in male Japanese workers. *Alcohol Clin Exp Res* 2003; 27: 1395-401.

Yamada T, Miwa H, Fujino T, Hirai S, Yokoyama T, Sato N. Improvement of gastric atrophy after *Helicobacter pylori* eradication therapy. *J Clin Gastroenterol* 2003; 36: 405-10.

Hirasawa A, Saito-Ohara F, Inoue J, Aoki D, Susumu N, Yokoyama T, et al. Association of 17q21-q24 gain in ovarian clear cell adenocarcinomas with poor prognosis and identification of PPM1D and APPBP2 as likely amplification targets. *Clin Cancer Res* 2003; 9: 1995-2004.

Nishikawa M, Tango T. Counter-intuitive properties of the Kaplan-Meier estimator. *Statistics and Probability Letters* 2003; 65: 353-61.

Nishikawa M, Tango T. Behavior of the Kaplan-Meier estimator for deterministic imputations to interval-censored data and the Turnbull estimator. *Japanese Journal of Biometrics* 2003; 24: 28-50.

Proceedings with Abstracts

Tango T. Linear equations with random variables. 2003 Joint Statistical Meetings; 2003 August 3-7; San Francisco. Abstracts p26.

Yamaoka K, Yano E, Isshiki A. Further utilization of annual workplace checkup data by a method based on the population strategy. 27th International Congress on Occupational Health; 2003 February 23-28; Iguassu Falls, Brazil.

Nishikawa M, Tango T. On peculiar behavior of the Kaplan-Meier Estimator. Proceedings of the fifth Hakata symposium; 2003 Dec 17-19; Fukuoka; p51-8.

政策科学部

Department of Policy Sciences

学術雑誌に発表した原著論文

北村有子, 大野ゆう子, 杉山裕美, 村田加奈子, 東村昌代,

長谷川敏彦, 柿川房子. 喉頭摘出術を受けるがん患者のための療養経過シナリオ構築. 医療マネジメント学会雑誌

2003; 4(3): 389-93.

雑賀公美子, 大野ゆう子, 津熊秀明, 大島明, 長谷川敏彦. 肺がん外科手術例における治療機関別手術件数と予後との関係. 日本疫学会雑誌.

長谷川敏彦. 経済から見てふさわしい高血圧の降圧剤の評価. 日本高血圧学会雑誌.

学術雑誌に発表した総説

藤澤由和, 長谷川敏彦. 医療安全政策の国際動向とその方向性(苦情処理制度). 病院 2003; 62(1): 48-53.

長谷川敏彦. 医療安全管理の実践 1. 医療の安全管理…新しい考え方. 病院 2003; 62(5): 402-6.

長谷川敏彦. 医療安全管理の実践 2. 医療の安全管理…新しい考え方. 病院 2003; 62(6): 500-3.

長谷川敏彦. 医療安全管理の実践 3. 医療の安全管理…医療事故用語の定義. 病院 2003; 62(7): 590-6.

長谷川敏彦, 藤澤由和, 平尾智広. 医療安全管理の実践 4. 医療の安全管理…事故の実態把握. 病院 2003; 62(8): 684-90.

長谷川敏彦. 医療安全管理の実践 5. 医療の安全管理…苦情は黄金…安全, 良質, 満足, そして信頼のための鍵. 病院 2003; 62(9): 774-9.

長谷川敏彦, 藤澤由和, 平尾智広. 医療安全管理の実践 6. 医療安全の有効な方策—EBMに基づく AHRQ25 方策とコンセンサスに基づく NQF30 方策—. 病院 2003; 62(10): 872-7.

相馬孝博. 栄養パスとリスク・マネジメント. 臨床栄養 2003; 102: 837-43.

相馬孝博. 病院の保安体制をどう位置づけるか—リスク・マネジメントの一環として. ナーシング・トゥデイ 2003; 18: 68-9.

相馬孝博. 米国に学ぶ医療安全の方向性. 病院 2003; 62: 446-52.

相馬孝博. 医療における安全文化—われわれの目指すべきは?. インターナショナル・ナーシング・レビュー 2003; 112: 30-6.

相馬孝博. CRM (Crew Resource Management) の医療分野への応用について. 病院 2003; 62: 574-7.

相馬孝博. 医療セーフティ・マネジメント(2)入院患者に対する誤薬予防システム構築の考え方. 月刊マーク 2003; 14: 1-4.

相馬孝博. FMEA (失敗モード影響分析法) の医療領域への応用. 病院 2003; 62: 850-854.

相馬孝博. 医療安全における「分析手法」の考え方・選び方. 病院 2003; 62: 932-7.

著書

長谷川敏彦 (分担執筆). Health System Performance Assessment, Chapter61 Report of the Scientific Peer Review Group on Health Systems Performance Assessment, World Health Organization; 2003. p.839-913.

長谷川敏彦 (監訳). より安全な医療を求めて—医療安全管理に関するエビデンスレポート— (米国医療研究品質局編, 厚生労働省医政局総務課医療安全室編集協力). 東京: メヂカルフレンド社; 2003.11.14.

相馬孝博. 医療安全担当者から—医療安全はすべての基礎 (第8章 17 節). 下条文武・齋藤康 編. ダイナミックメディシン. 東京: 西村書店; 2003. p.8-41.

抄録のある学会報告

長谷川敏彦. 糖尿病の疾病管理-経済とシステムの観点から. 第 37 回糖尿病の進歩; 2003.227; 神戸. 第 37 回糖尿病学の進歩プログラム・講演要旨. 日本糖尿病学会; 2003.2. p.24.

浅野昌彦, 北村能寛, 松本邦愛, 長谷川敏彦. 県民所得・県民医療費・入院回数の相関推移から見た医療の公平性の時系列評価の試み. 第 73 回日本衛生学会総会; 2003.3.26-29; 大分.

高橋圭子, 長谷川敏彦. 結核診療の効率と展望に関する研究. 第 73 回日本衛生学会総会; 2003.3.26-29; 大分.

長谷川敏彦, 池田奈由. カヴァレッジ (普及度) による日本高血圧の政策評価. 第 73 回日本衛生学会総会; 2003.3.26-29; 大分.

池田奈由, 長谷川敏彦. 普及度における高コレステロール血症管理状態の評価. 73 回日本衛生学会総会; 2003.3.26-29; 大分.

松本邦愛, 長谷川敏彦. 保健医療財源負担の公平性に関する時系列分析. 第 73 回日本衛生学会総会; 2003.3. 26-29; 大分.

森雅文, 長谷川敏彦. ロボット手術の社会的需要に関する文化的考察. 第 73 回日本衛生学会総会. 2003.3.26-29. 大分.

長谷川敏彦. 21 世紀の医療連携—地域医療支援病院の役割—院長さん頭脳改造計画 ライオンは強いのか弱いのか. 医療マネジメント学会第 8 回医療連携セミナー; 2003.3.29; 東京.

長谷川敏彦. 医療の質と Global Standard. 日本麻酔科学会第 50 回学術集会; 2003.5.29-31; 神奈川. (基調講演)

松本邦愛, 北村能寛, 長谷川敏彦. 新算定方式による一般病床の必要病床数の推計に関する研究. 第 5 回医療マネジメント学会総会; 2003.6.14; 宮城.

長谷川敏彦. シンポジウム I 医療と安全を考える. 第 45 回全日本病院学会; 2003.10.11; 福島.

池田奈由, 長谷川敏彦. 日本のシンドローム X 患者数と血圧管理状態推計の試み. 第 26 回日本高血圧学会総会; 2003.10.30; 宮崎.

池田奈由, 長谷川敏彦. 日本の高血圧の現状と歴史推移に関する分析. 第 26 回日本高血圧学会総会; 2003.10.30; 宮崎.

長谷川敏彦, 齋藤郁夫, 猿田亨男. 理想的な高血圧治療の専門家アンケート分析結果. 第 26 回日本高血圧学会総会;

2003.10.30；宮崎。

長谷川敏彦，独立行政法人下で求められる医療の質—臨床指標導入に向けて，第 58 回国立病院療養所総合医学会；

2003.10.31；北海道。

長谷川敏彦，循環器疾患の最新先端医療・ナショナルセンターとの連携，先端医療と政策医療の並立，第 58 回国立病院療養所総合医学会；2003.10.31；北海道。

長谷川敏彦，医療安全の新たな展開，医療マネジメント学会第 4 回リスクマネジメント・セミナー；2003.11.8；東京。

相馬孝博，薬剤関連事故予防のシステム構築，第 51 回日本輸血学会総会；2003.5；北九州，（シンポジウム）

相馬孝博，医療安全の EBM を各病院の改善につなげるために—観血的診療を例として，第 5 回医療マネジメント学会総会；2003.6；仙台，（パネル）

相馬孝博，報告制度における事例収集基準の問題点，第 41 回日本病院管理学会総会；2003.10；東京。

長谷川敏彦，4 つの究極から考える「これからの地域医療と行政の役割」，福岡県地域医療シンポジウム；2003.2.23；福岡。

その他学術報告（研究調査報告書含む）

長谷川敏彦，主任研究者，厚生労働科学研究補助金医療技術評価総合研究事業「高血圧の予防診療法の医療技術評価研究」，課題番号：H12-医療-002，平成 14 年度研究報告書，和光：長谷川敏彦；2003.3。

長谷川敏彦，主任研究者，厚生労働科学研究補助金 医療技術評価総合研究事業「医療機能の分化と連携を目指した医療計画の在り方に関する研究」，課題番号：H13-医療-020，平成 14 年度研究報告書，和光：長谷川敏彦；2003.3。

長谷川敏彦，主任研究者，厚生労働科学研究補助金医療技術評価総合研究事業「医療の質と外科手術の技術集積性に関する研究」，課題番号：H14-特別-045，平成 14 年度研究報告書，和光：長谷川敏彦；2003.3。

長谷川敏彦，主任研究者，厚生労働省健康科学総合研究事

業「健康日本 21 計画の改訂と改善に資する基礎研究」，課題番号：H14-健康-010，平成 14 年度研究報告書，和光：長谷川敏彦；2003.3。

相馬孝博，手術・麻酔におけるリスク要因，厚生科学研究費補助金医療技術評価総合研究事業「病院内総合的患者安全管理システムシステムの構築に関する研究」（主任研究者：長谷川敏彦）平成 14 年度研究報告書；2003。

長谷川敏彦，厚生労働科学研究費補助金がん克服戦略研究事業「がん医療経済とその研究基盤の整備に関する研究」（主任研究者：濃沼信夫）平成 14 年度総括研究報告書；2003.3。

長谷川敏彦，主任研究者，厚生労働科学研究費補助金社会保障国際協力推進研究事業「WHO 保健システム評価手法の妥当性及びその活用に関する研究」平成 14 年度総括研究報告書；2003.3。

長谷川敏彦，疾病分類の妥当性に関する研究—臨床結果評価のためのリスク要因とその調整法，ケースミックス，臨床指標に関する研究—，国際医療協力研究委託事業「循環器病政策医療ネットワークにおける医療の質的評価」（主任研究者：矢野周作）平成 14 年度総括報告書；2003.3。

長谷川敏彦，国内外のエイズ NGO 組織比較とそのあり方，厚生労働科学研究費補助金エイズ対策研究事業「エイズに関する非政府組織の活用に関するモデルプラン策定研究」（主任研究者：我妻堯）平成 14 年度総合研究報告書；2003.3。

高本和彦，総合的電子化診療システムを基盤とした病院内ネットワークに関する評価研究，厚生労働科学研究補助金医療技術評価総合研究事業「ネットワーク型医療の評価と推進に関する研究」（主任研究者：高本和彦）平成 14 年度総括研究報告書；2003，p.9-119。

高本和彦，ネットワーク型医療の評価と推進に関する研究，厚生労働科学研究補助金医療技術評価総合研究事業「ネットワーク型医療の評価と推進に関する研究」（主任研究者：高本和彦）平成 12～14 年度総合研究報告書；2003，p.1-8。

Originals

Hasegawa T, Hori Y, Sakamaki H, Suzuki K. Meta-analysis on the therapeutic state of hypertensive population in Japan: Focusing on the impact of new diagnostic criteria of Japanese guideline for the management of hypertension 2000. J Epidemiol 2003; 12

(2): 112-9.

Books

長谷川敏彦（編著），病院経営戦略（韓国語版），ソウル；2003.9。

経営科学部

Department of Management Science

学術雑誌に発表した原著論文

小山秀夫，杉山みち子，天野由紀，星野和子，足立香代子，鶴見克則，他，病棟における栄養ケア・マネジメント業務に関する研究 1—栄養ケア・マネジメント業務調査の開発—，日本健康・栄養システム学会誌 2003；3(1)：16-26。

小山秀夫，杉山みち子，天野由紀，高田和美，五味郁子，足立香代子，他，病棟における栄養ケア・マネジメント業務に関する研究 2—栄養ケア・マネジメント業務調査による病棟管理栄養士配置などの検討—，日本健康・栄養システム学会誌 2003；3(1)：27-34。

小山秀夫, 梶井文子, 五味郁子, 杉山みち子, 道場信孝, 石清水由紀子, 他. 健康高齢者の脱水状態の早期発見のためのアセスメント項目の開発に関する研究. 日本健康・栄養システム学会誌 2003; 3(3): 225-34.

松浦彩美, 伊藤弘人, 宮本有紀. 老人性痴呆疾患専門病棟におけるクリニカルパス導入のスタッフへの影響. 病院管理 2003; 40(1): 35-43.

安保寛明, 伊藤弘人, 服部いづみ. 精神保健サービス満足度尺度 VSSS 日本語版の信頼性と妥当性の検討. Schizophrenia Frontier 2003; 4(3): 192-205.

立森久照, 伊藤弘人. 精神科急性期治療病棟退院患者の患者満足度. 精神保健研究 2003; 49: 169-175.

伊藤弘人, 西村秋生. 健康診断(検診)・人間ドックの経済効果. 治療 2003; 85(8): 2262-5.

西村秋生. DPC と栄養パス. 臨床栄養 2003; 102(7): 822-8.

西村秋生. 人間ドックにおける画像診断の医療経済効果. 映像情報 Medical 2003; 8: 770-2.

山田理沙, 中山茂樹, 西村秋生, 寛淳夫. 精神科急性期病棟の病室利用に関する研究—精神科急性期医療を対象とする病棟の建築計画的な研究(1)—. 病院管理 2003; 40(1): 15-23.

西村秋生. 要介護認定はどこがどう変わるのか. 訪問看護と介護 2003; 8(2): 104-7.

岡本悦司, 田原康玄. レセプト全傷病分析による町村間ならびに月間変動の分析. 厚生指標 2003; 50(13): 14-20.

岡本悦司. 公衆衛生研究における「疫学研究に関する倫理指針」の適用. 日本公衆衛生雑誌 2003; 50(11): 1079-90.

岡本悦司, 畑栄一. レセプト傷病分析の原理とシミュレーションによる妥当性の検証. 日本公衆衛生雑誌 2003; 50(12): 1135-43.

学術雑誌に発表した総説

伊藤弘人, 石田重信, 有賀徹. 抗精神病薬の心臓への影響: 総説. 日本神経救急学会雑誌 (Journal of Japanese Congress on Neurological Emergencies) 2003; 16: 10-4.

岡本悦司. 医療費を考える上で不可欠なレセプトの知識. 患者のための医療 2003; 1(4): 749-55.

岡本悦司. レセプト審査点検のための EBM 入門(22)インフルエンザワクチンのリスクと便益. 国民健康保険 2003; 54(1): 40-5.

岡本悦司. レセプト審査点検のための EBM 入門(23)ホルモン補充療法をめぐる論争. 国民健康保険 2003; 54(2): 46-51.

岡本悦司. レセプト審査点検のための EBM 入門(24)レセプトと個人情報保護. 国民健康保険 2003; 54(3): 46-50.

岡本悦司. 保「健」組合によるレセプト審査のあり方. 保険診療 2003; 58(3): 74-7.

岡本悦司. 行政と EBM. 医業ジャーナル 2003; 39(7): 157-61.

岡本悦司. かかりつけ医の再認識-臨床研修必修化を中心に. 総合臨床 2003; 52(12): 3131-37.

著書

小山秀夫. 第5章 高齢者を支援する社会的制度 1—高齢者福祉保健制度. 白澤政和, 中野いく子, 編. 社会福祉士養成テキストブック 6 老人福祉論. 東京: ミネルヴァ書房; 2003. p.113-44.

小山秀夫. 訪問看護ステーションの経営診断術. 東京: 日本看護協会出版会; 2003.

小山秀夫. 3章 老人病院の歩みと個室・ユニットケア. 福岡痴呆ケアネットワーク, NPO 法人全国抑制廃止研究会, 監修. 個室・ユニットケアの老人病院. 東京: 法研; 2003. p.59-81.

小山秀夫. 第20章 介護システム. 大塚譲, 河原和夫, 倉田忠男, 富永典子編. スタンダード栄養・食物シリーズ 2 社会・環境と健康. 東京: 東京化学同人; 2003. p.187-202.

小山秀夫. chapter21 (NCM 経営論) マネジメントのための知識と技術. 日本健康・栄養システム学会, 編. 栄養ケア・マネジメントのリーダーになるために I. 東京: 厚生科学研究所; 2003. p.28-44.

小山秀夫. chapter3-2 (NCM 経営・運営論) 問題解決のために. 日本健康・栄養システム学会, 編. 栄養ケア・マネジメントのリーダーになるために I. 東京: 厚生科学研究所; 2003. p.106-112.

伊藤弘人. 医療評価. 東京: 真興交易医書出版部; 2003.

西村秋生. 6章健康・栄養食品と患者の QOL. 信川益明, 編. よくわかるサプリメント医者の患者のための完全マニュアル. 東京: 三宝社; 2003. p.195-201.

西村秋生. 7章健康・栄養食品と医療経済効果. 信川益明, 編. よくわかるサプリメント医者の患者のための完全マニュアル. 東京: 三宝社; 2003. p.202-207.

西村秋生. 要介護認定他. 社団法人日本医業経営コンサルタント協会. 新版医業経営用語事典. 東京: 日本出版; 2003. p.91, 98, 222, 272, 278, 289, 290, 291.

岡本悦司. 保健医療論. 岡本悦司, 佐藤敏彦, 中屋重直, 編. サブノート保健医療論・公衆衛生学第 27 版. 東京: メディックメディア; 2003. p.1-12.

岡本悦司. 診療報酬他 35 項目. 伊藤正男, 井村裕夫, 高久史磨, 編. 医学大事典. 東京: 医学書院; 2003.

岡本悦司. 医療・医療保険制度改革の動向. 歯科医療白書. 東京: 日本歯科医師会; 2003. p.147-55.

岡本悦司. レセプト全疾病入力による受療行動等の分析—糖尿病レセプト分析結果の概要. レセプト情報を活用した地域保健活動の推進. 東京: 国民健康保険中央会. p.41-50.

岡本悦司. 名取スタディー医療情報を活用した保健事業のための調査分析. 国民健康保険中央会; 2003.

岡本悦司. 社会保障と社会福祉. 岸玲子他編. New 予防医学・公衆衛生学. 東京: 南江堂; 2003. p.333-41.

岡本悦司. 医療と経済. 千代豪昭, 黒田研二, 編. 学生の

ための医療概論第2版. 東京: 医学書院; 2003. p.29-44.

岡本悦司. 医療保険, 組保管掌健康保険, 健康保険, 現物給付, 国民健康保険法, 償還払い, 出来高払い, 包括払い. 日本医業経営コンサルタント協会, 編. 新版医業経営用語辞典. 東京: 日本出版; 2003.

抄録のある学会報告

小山秀夫, 五味郁子, 梶井文子, 杉山みち子, 安藤高朗. 複合型高齢者ケア施設におけるタンパク質・エネルギー低栄養状態. 第3回日本健康・栄養システム学会; 2003.6. 28-9; 熊本. 同学会抄録集. 2003. p.122.

小山明日香, 伊藤弘人. 精神科急性期治療病棟における患者の退院後再入院に関する分析. 第41回日本病院管理学会学術総会; 2003.10. 30-31; 東京. 病院管理 2003; 40(Suppl): 190.

齋藤香織, 伊藤弘人. 精神科退院患者の満足度に影響を与える要因. 第41回日本病院管理学会学術総会; 2003.10.30-31; 東京. 病院管理 2003; 40(Suppl): 234.

濱野強, 安保寛明, 伊藤弘人. 地域生活支援センターの設置主体による利用者特性と満足度の比較. 第41回日本病院管理学会学術総会; 2003.10.30-31; 東京. 病院管理 2003; 40(Suppl): 241.

河野稔明, 伊藤弘人, 林謙治. 保健医療分野における研究評価のあり方に関する研究(その3): 助成採択研究の追跡評価. 第62回日本公衆衛生学会総会; 2003.10.22-24; 京都. 日本公衆衛生雑誌 2003; 50(10付): 350.

濱野強, 竹島正, 藤田利治, 伊藤弘人. 精神保健サービスの評価とモニタリングに関する研究. 第62回日本公衆衛生学会総会; 2003.10.22-24; 京都. 日本公衆衛生雑誌 2003; 50(10付): 789.

伊藤弘人. 精神科救急医療のガイドラインの国際比較. 第11回日本精神科救急学会シンポジウム I; 2003.10.2-3; 千葉. (シンポジウム).

伊藤弘人. 非定型抗精神病薬の薬剤特性と経済性. 講演&座談会: 非定型抗精神病薬は病院経営に貢献できるのか; 2003. メディカル朝日 2003; 8月1日号別冊: 1-4.

岡本悦司. 市町村医療費分析の方法と分析例. 日本計画行政学会第26回全国大会; 2003.9.20-21; 仙台. 同研究報告要旨集. 2003. p.338.

岡本悦司. 公開個票データを用いたPDM法による虫垂切除術の傷病別医療費推計. 第62回日本公衆衛生学会総会; 2003.10.22-24; 京都. 日本公衆衛生雑誌 2003; 50(10付): 188.

岡本悦司. コストデータの日米比較—臨床研究への活用可能性の視点から. 第25回臨床研究・生物統計研究会; 2003.11.28-29; 仙台. 同抄録集. 2003. p.10.

その他学術報告(研究調査報告書含む)

小山秀夫. 関連情報の収集. 厚生労働科学研究費補助金特別研究事業「保健医療分野における研究評価のあり方に関する研究」(主任研究者: 林謙治) 平成14年度総括・分担研究報告書; 2003. p.205-374.

小山秀夫, 主任研究者. 長寿科学総合研究事業「高齢者保健・医療・福祉サービス提供機関におけるマネジメントに関する実態分析並びに理論構築に関する研究」課題番号: H13-長寿-025. 平成14年度総括研究報告書; 2003.

小山秀夫, 主任研究者. 医療技術評価総合研究事業「医療福祉組織の経営品質に関する研究. マルコム・ボルドリッジ国家賞ヘルスケア版を中心として—「病院経営品質測定技法に関する研究」」課題番号: H14-医療-018. 平成14年度研究報告書; 2003.

伊藤弘人, 河野稔明. 助成採択研究の追跡評価. 厚生労働科学特別研究事業「保健医療分野における研究評価のあり方に関する研究」(主任研究者: 林謙治) 平成14年度総括・分担研究報告書; 2003. p.391-435.

伊藤弘人, 瀬戸屋雄太郎, 立森久照, 宮本有紀. 精神病棟の将来需要および患者の病状に応じた治療・療養環境を提供するための医療費の予測に関する研究. 厚生労働科学障害保健福祉総合研究事業「精神病棟等の設備構造及び人員配置の在り方に関する研究」(主任研究者: 樋口輝彦) 平成12~14年度総合研究報告書; 2003. p.86-139.

伊藤弘人, 馬屋原健. 統合失調症退院患者の再入院に関する分析(精神科入院医療関連指標の開発). 厚生労働科学障害保健福祉総合研究事業「精神保健サービスの評価とモニタリングに関する研究」(主任研究者: 岩崎榮彦) 平成14年度総括・分担研究報告書; 2003. p.2137-240.

伊藤弘人. 専門病棟の国際比較に関する研究: 米国精神科入院医療の支払方式. 厚生労働科学障害保健福祉総合研究事業「精神医療の地域分化や専門的医療に関する研究」(主任研究者: 守屋裕文) 平成14年度総括・分担研究報告書; 2003. p.97-105.

岡本悦司, 主任研究者. 日本の臨床研究 2003. 厚生労働科学研究費補助金厚生労働科学特別研究事業「わが国における臨床研究の基盤整備に関する研究」<H14-特別-004>平成14年度総括研究報告書; 2003.

岡本悦司. レセプト傷病分類の原理と手法—PDM法について. 厚生労働科学研究費補助金政策科学推進研究事業「レセプト情報の利活用と個人情報保護のあり方に関する研究」(主任研究者: 小林廉毅<H14-政策-016>) 平成14年度総括・分担研究報告書; 2003.

岡本悦司. 研究評価への経済分析の応用: 厚生労働科学研究のテキストマイニングならびに政策面からの評価. 厚生労働科学研究費補助金特別研究事業「保健医療分野における研究評価のあり方に関する研究」(主任研究者: 林謙治) 平成14年度総括・分担研究報告書; 2003. p.381-90.

岡本悦司. レセプトからみたPTCA治療材料の検討. 厚生労働科学研究費補助金医療技術評価総合研究事業「電算化レセプトからアウトカム評価を抽出するモデル研究」(主任研究者: 茅野眞男<H14-医療-003>) 平成14年度総括・分担研究報告書; 2003.

岡本悦司. PDM 法による比較分析. 平成 14 年度医療費分析報告書—高医療費, 低医療費モデル地区の比較. 愛媛県国民健康保険団体連合会; 2003. p.37-46.

岡本悦司. 診療報酬の審査支払. ドイツ医療保険制度調査(第 3 次) 報告書. 国民健康保険中央会; 2003. p.25-70.

岡本悦司. PDM 法による比較分析. 平成 14 年度医療費分析報告書—高医療費, 低医療費モデル地区の比較. 愛媛県国民健康保険団体連合会; 2003. p.39-46.

岡本悦司. 4 大都市における手術実施率. 国際長寿センター. 老人保健健康増進事業による研究「東京・ニューヨーク・パリ・ロンドンにおける高齢化の諸相と問題点に関する

国際比較研究」研究報告書; 2003.p.45-52.

視聴覚資料やデジタル媒体

<CD-ROM>

岡本悦司. PDM (Proportional Disease Magnitude) 法プログラム Ver.3. 厚生労働科学研究費補助金厚生労働科学政策研究「レセプト情報の利活用と個人情報保護のあり方に関する研究」(主任研究者: 小林廉毅) 平成 15 年度デジタル媒体による研究成果 (マニュアル付); 2003. インターネット (<http://resept.com>) でフリーウェアとして公開.

Originals

Ito H, Yamazumi S. Common Types of Medication Errors on Long-term Psychiatric Care Units. International Journal for Quality in Health Care 2003; 15: 207-12.

Ito H, Miyamoto Y. Impact of long-term care insurance on institutional dementia care in Japan. Health Policy 2003; 64: 325-33.

Matsuoka K, Miyamoto Y, Ito H, Kurita H. Relationship between behavioral disturbances and characteristics of patients in special units for dementia. Psychiatry and Clinical Neurosciences 2003; 57: 569-74.

Okamoto E. Dispersion-concentration of PCI procedures in Japanese Hospitals: Changes between 1996 and 1999 as related to health insurance practices. Japanese Journal of Catheter Therapeutics 2003; 3: 20-6.

Okamoto E. Reduction of influenza-related outpatient visits among community-dwelling elderly who received influenza vaccination. Japanese Journal of Pharmacoepidemiology 2003; 8(2): 55-60.

Book

Okamoto E, Tatara K. Public health of Japan 2003. Tokyo: Japan Public Health Association; 2003.

Okamoto E. Utilization of surgical procedures among four cities. In: Aging in the four world cities -An International comparative study on elderly situations in Tokyo, NY, Paris and London. Tokyo: International Longevity Center;2003. p.45-52.

Okamoto E. International comparison of health-Japan. In: Getzen TE, editor. Health economics--Fundamentals and flow of funds. New York: Wiley; 2003. p365-8.

Proceedings with Abstracts

Okamoto E. Proportional disease magnitude method for estimating disease-specific cost. The 4th World Congress of International Health Economics Association; 2003 June. p.18.

Okamoto E. Detection of drug adverse events from a large dataset of health insurance claims ISPOR (International Society for Pharmacoeconomics and Outcomes Research). 1st AsiaPacific Conference;2003 Sept. p.28.

Okamoto E. Assessment of effectiveness of FLU vaccination for the elderly using health insurance claims. The 131st annual meeting of American Public Health Association; 2003 November. p.150.

人材育成部

Department of Human Resources Development

学術雑誌に発表した総説

西田茂樹. 現場で使える調査法①なぜ現場で調査を行なうのか. 保健婦雑誌 2003; 59: 450-2.

西田茂樹. 現場で使える調査法②質問票のつくり方. 保健婦雑誌 2003; 59: 562-5.

西田茂樹. 現場で使える調査法③質問文作成の意味と注意点. 保健婦雑誌 2003; 59: 674-7.

西田茂樹. 現場で使える調査法④調査票の配り方と集め方. 保健婦雑誌 2003; 59: 790-3.

西田茂樹. 現場で使える調査法⑤回収率を上げる方法. 保健

婦雑誌 2003; 59: 892-5.

西田茂樹. 現場で使える調査法⑥調査研究における倫理. 保健婦雑誌 2003; 59: 990-3.

西田茂樹. 現場で使える調査法⑦調査対象者の選び方(1). 保健婦雑誌 2003; 59: 1088-92.

西田茂樹. 現場で使える調査法⑧標本から母集団を推測する方法. 保健婦雑誌 2003; 59: 1200-5.

橘とも子, 小田宏子, 照井博之, 桑原明子, 永見宏行. 積極的疫学調査の課題. 医学書院; 公衆衛生 2003; 67: 275-7.

橘とも子. HIV 予防の推進: 流行の変化に対する新しい戦

略—米国 2003 年. エイズ対策情報交換. 2003; 11: 15. (翻訳).

簗輪眞澄, 橘とも子, 水野正一. 感染症流行波の速度. 藤原書店; KAN 2003 Autumn; 15: 201-10.

著書

兵井伸行. 人口問題. 大塚譲, 川原和夫, 倉田忠男, 富永典子 編. 社会・環境と健康. 東京: 東京化学同人; 2003. p.3-18.

橘とも子, 成田友代, 前田秀雄. 保健行政従事医師の意思決定. 矢野栄二, 山内康子, 編. ケースメソッドによる公衆衛生教育. 東京: 南江堂; 2003. p.211-225.

抄録のある学会報告

綿引信義, 西田茂樹. 青森県と長野県の男の平均寿命について. 第 62 回日本公衆衛生学会総会; 2003.10.22-24; 京都. 日本公衆衛生雑誌 2003; 50(10 付).

林謙治, 武村真治, 兵井伸行, 須藤紀子. 諸外国における保健所等保健衛生組織の実態調査研究 (その 1) —総論—. 第 62 回日本公衆衛生学会総会; 2003.10.22-24; 京都. 日本公衆衛生雑誌 2003; 50(10 付): 416.

須藤紀子, 兵井伸行, 武村真治, 林謙治. 諸外国における保健所等保健衛生組織の実態調査研究 (その 2) —アメリカの実態—. 第 62 回日本公衆衛生学会総会; 2003.10.22-24; 京都. 日本公衆衛生雑誌 2003; 50(10 付): 416.

武村真治, 須藤紀子, 兵井伸行, 林謙治. 諸外国における保健所等保健衛生組織の実態調査研究 (その 3) —イギリスの実態—. 第 62 回日本公衆衛生学会総会; 2003.10.22-24; 京都. 日本公衆衛生雑誌 2003; 50(10 付): 417.

兵井伸行, 武村真治, 須藤紀子, 林謙治. 諸外国における保健所等保健衛生組織の実態調査研究 (その 4) —韓国の実態—. 第 62 回日本公衆衛生学会総会; 2003.10.22-24; 京都. 日本公衆衛生雑誌 2003; 50(10 付): 417.

HYOI N. Situation Analysis of Health Management Information System in Morogoro, Tanzania. 第 18 回日本国際保健医療学会; 2003.10.10-12; 北九州. 国際保健医療 2003; 18 (増刊号): 232.

綿引信義, 兵井伸行. コンピテンシーに基づく教育研修について. 第 18 回日本国際保健医療学会; 2003.10.10-12; 北九州. 国際保健医療 2003; 18 (増刊号): 196.

Lai Omondi, Dande Malawo, 綿引信義, 兵井伸行. Competency-based Education on MPH. 第 18 回日本国際保健医療学会; 2003.10.10-12; 北九州. 国際保健医療 2003; 18 (増刊号): 197.

Tandan Jay Bahadur, 兵井伸行, 三砂ちづる. Risk factors influencing for acquiring Japanese encephalitis in Western Terai, Nepal —A case control study—. 第 18 回日本国際保健医療学会; 2003.10.10-12; 北九州. 国際保健医療 2003; 18 (増刊号): 174.

橘とも子, 谷畑健生, 市川誠一, 前田秀雄, 山口剛. 東京都. 南新宿検査・相談室における HIV 抗体検査受診者の実

態 (1993-2002 年). 第 17 回日本エイズ学会; 2003.11.27-29; 神戸. 総合抄録集. 2003; 5(4): 399.

山下美代子, 藤田利治, 成田友代, 橘とも子, 前田秀雄, 永井恵, 他. 結核の定期外検診における実態の改善—緊急事態宣言前後の変化—. 第 62 回日本公衆衛生学会総会; 2003.10.22-24; 京都.

嶋崎江美, 池田英二, 前田秀雄, 山口剛, 橘とも子. 東京都. 南新宿検査・相談室における HIV 抗体検査複数回受検者の特性 第一報. 第 17 回日本エイズ学会; 2003.11.27-29; 神戸. 総合抄録集. 2003; 5(4): 398.

池田英二, 嶋崎江美, 前田秀雄, 山口剛, 橘とも子. 東京都. 南新宿検査・相談室における HIV 抗体検査複数回受検者の特性 第二報. 第 17 回日本エイズ学会; 2003.11.27-29; 神戸. 総合抄録集. 2003; 5(4): 399.

その他学術報告 (研究調査報告書含む)

綿引信義, 西田茂樹. 近年の自殺死亡率の実態に関する人口学的研究. 「地域における自殺防止対策と自殺防止支援に関する研究」(総括研究者: 平野かよ子) 平成 14 年度報告書; 2003. p.15-43.

兵井伸行. 国立保健医療科学院における感染症関連研修の現状. 厚生労働科学研究補助金新興・再興感染症研究事業「都市部における一般対策の及びにくい特定集団に対する効果的な感染症対策に関する研究」(主任研究者: 石川信克) 平成 14 年度報告書; 2003. p.116-21.

兵井伸行. 諸外国の保健衛生組織の実態調査. 厚生労働科学研究費補助金厚生労働科学特別研究事業「諸外国における保健所等保健衛生組織の実態調査研究」(主任研究者: 林謙治) 平成 14 年度報告書; 2003. p.5-7.

須藤紀子, 兵井伸行, 林謙治. アメリカ合衆国の保健衛生組織. 厚生労働科学研究費補助金厚生労働科学特別研究事業「諸外国における保健所等保健衛生組織の実態調査研究」(主任研究者: 林謙治) 平成 14 年度報告書; 2003. p.8-24.

兵井伸行. ニュージーランドにおける保健衛生組織. 須藤紀子, 兵井伸行, 林謙治. アメリカ合衆国の保健衛生組織. 厚生労働科学研究費補助金厚生労働科学特別研究事業「諸外国における保健所等保健衛生組織の実態調査研究」(主任研究者: 林謙治) 平成 14 年度報告書; 2003. p.104-13.

兵井伸行. 参加型計画手法を活用した地域における健康日本 21 実践活動モデル事業. 平成 14 年度地域における健康・体力づくり推進事業報告書. 東京. 健康・体力づくり事業財団; 2003. p.5-6.

大坪浩一, 曽根智史, 土井徹, 鳩野洋子, 兵井伸行, 平野かよ子, 若松浩之, 綿引信義. 地域予防サービスガイド. 林謙治監訳. 根拠に基づく公衆衛生研究チーム編訳 (国立保健医療科学院); 2003.

綿引信義. 青森県の男子平均寿命について—長野県と山形県の男子平均寿命の比較を通して—. 平成 14 年度青森県委託研究事業「平均寿命アップに関する研究」報告書. 東京. 財団法人日本予防医学協会; 2003. p.1-14.

綿引信義. 技術面からの評価概要—公衆衛生の観点からの評価—. 平成 14 年度ケニア共和国医療技術教育強化プロジェクト終了時評価報告書. 東京. 国際協力事業団医療協力部; 2003. p.6-9.

橘とも子. 厚生労働科学研究費補助金健康科学総合研究事業「地域と学校の協働による健康づくりのためのネットワークづくり」(主任研究者: 武見ゆかり) 平成 14 年度報告書; 2003. p.112-7.

公衆衛生政策部

Department of Public Health Administration and Policy

学術雑誌に発表した原著論文

川南勝彦. 難病患者に共通の主観的 QOL 尺度の検討と基準関連妥当性. 順天堂医学 2003; 48: 484-94.

田口幸子, 松下央, 川南勝彦. 虎の門病院における悪性腫瘍患者の登録及び予後追跡調査について. 共済医報 2003; 52: 53-7.

川南勝彦, 簗輪眞澄, 岡山明, 早川岳人, 上島弘嗣. 喫煙習慣の全死因, がん, 肺がん死亡への影響に関する研究 NIPPON DATA80. 日本衛生学雑誌 2003; 57: 669-73.

鈴木健修, 大井田隆, 曾根智史, 武村真治, 横山英世, 三宅健夫, 原野悟, 野崎直彦, 元島清香, 須賀雅彦, 井深英治. 本邦における妊婦の睡眠問題に関する疫学的研究. 日本公衆衛生雑誌 2003; 50(6): 526-39.

桜井愛子, 大井田隆, 武村真治, 曾根智史, 鈴木健修, 原野悟. わが国における看護学生, 保健婦学生, 助産婦学生の喫煙実態調査. 厚生学の指標 2003; 50(6): 9-16.

白鞘康嗣, 島田直樹, 中原俊隆, 潮見重毅, 里村一成, 武村真治, 近藤健文. 介護保険導入による市区町村の保健福祉サービスの変容. 日本公衆衛生雑誌 2003; 50(10): 959-69.

梅崎薫, 笠島茂, 関根道和, 成瀬優知, 鏡森定信. 高齢女性の配偶者死別とライフスタイル. 日本公衆衛生雑誌 2003; 50: 293-302.

学術雑誌に発表した総説

曾根智史. わが国における「根拠に基づく公衆衛生」推進の課題. 健康管理 2003; 589: 42-3.

笠島茂. 疾患予防 脳卒中の再発予防. EBM ジャーナル 2003; 4: 64-9.

笠島茂, 福原俊一. 疫学. 薬学図書館 2003; 48: 146-8.

著書

曾根智史. 健康. 平野かよ子, 他編著. 地域看護学. 東京: 建帛社; 2003. p.10-3.

曾根智史, 平野かよ子, 鳩野洋子. 21 世紀の公衆衛生と公衆衛生従事者. 鍋田忠彦, 近藤健文, 編. ヘルスリサーチの新展開 保健・医療の質と効率の向上を求めて. 東京: 東洋経済新報社; 2003. p.107-32.

抄録のある学会報告

川南勝彦, 簗輪眞澄, 岡山明, 上島弘嗣. 喫煙 (習慣と Brinkman 指数) の全死因, がん死亡への影響 (PAF) に関する研究 NIPPON DATA 90. 第 73 回日本衛生学会;

2003.1.24-25; 大分. 日本衛生学雑誌 2003; 58(1): 177.

曾根智史, 田口眞, 中野修治, 堀江正知, 広部一彦. 事業場における在職者の性別死亡率と性・年齢階級別死因 (サンキュー会学術 QQ プロジェクト, 2001 年). 第 76 回日本産業衛生学会; 2003.4.23-26; 山口.

中野修治, 田口眞, 曾根智史, 堀江正知, 広部一彦. 事業場における在職者の死因と健康診断結果との関連 (サンキュー会学術 QQ プロジェクト, 2001 年). 第 76 回日本産業衛生学会; 2003.4.23-26; 山口.

曾根智史. 生活衛生に関する健康教育の動向. 生活衛生対策の新しい動向. 第 62 回日本公衆衛生学会総会; 2003.10.22-24. 京都. (シンポジウム)

曾根智史, 林謙治. 保健医療分野における研究評価のあり方に関する研究 (その 1): 米国 NIH の評価システム. 第 62 回日本公衆衛生学会総会; 2003.10.22-24; 京都. 日本公衆衛生雑誌 2003; 50(10 付): 349.

築瀬有美子, 曾根智史, 大井田隆. 女性の妊娠・出産後の喫煙行動および関連要因. 第 62 回日本公衆衛生学会総会; 2003.10.22-24; 京都.

渡辺晃紀, 曾根智史. 栃木県内の公共施設等の分煙状況 (2002 年 11 月). 第 62 回日本公衆衛生学会総会; 2003.10.22-24; 京都.

八代樹依, 曾根智史. 北海道における精神障害者小規模作業所通所者の喫煙実態調査. 第 62 回日本公衆衛生学会総会; 2003.10.22-24; 京都.

岩永俊博, 平野かよ子, 曾根智史, 畑栄一, 藤原真一郎, 須藤紀子, 佐藤加代子, 渡辺志保, 大井田隆. 保健福祉従事者に対する国及び地方自治体での教育研修のあり方に関する研究—第 1 報—. 第 62 回日本公衆衛生学会; 2003.10.22-24; 京都. 日本公衆衛生雑誌 2003; 50(10 付): 409.

佐藤加代子, 須藤紀子, 平野かよ子, 曾根智史, 畑栄一, 藤原真一郎, 渡辺志保, 岩永俊博, 大井田隆. 保健福祉従事者に対する国及び地方自治体での教育研修のあり方に関する研究—第 2 報—. 第 62 回日本公衆衛生学会; 2003.10.22-24; 京都. 日本公衆衛生雑誌 2003; 50(10 付): 409.

尾崎米厚, 谷畑健生, 曾根智史, 福島哲仁, 嘉悦明彦, 岡本幹三, 岸本拓治, 原口由紀子, 南前恵子, 倉鋪桂子. 青少年雑誌におけるたばこ広告の動向分析. 第 62 回日本公衆衛生学会総会; 2003.10.22-24; 京都.

矢木佑子, 鈴木健修, 横山英世, 三宅健夫, 原野悟, 須賀

雅彦, 井深英治, 曾根智史, 武村真治, 大井田隆. わが国の妊婦の飲酒行動に関する疫学的研究. 第 62 回日本公衆衛生学会総会; 2003.10.22-24; 京都.

青木亜砂子, 武村真治. 地域の健康課題発見から実態把握の段階において保健師が収集・整理する情報の構造. 第 62 回日本公衆衛生学会総会; 2003.10.22-24; 京都.

林謙治, 武村真治, 兵井伸行, 須藤紀子. 諸外国における保健所等保健衛生組織の実態調査研究 (その 1) - 総論 -. 第 62 回日本公衆衛生学会総会; 2003.10.22-24; 京都. 日本公衆衛生雑誌 2003; 50(10 付): 416.

須藤紀子, 兵井伸行, 武村真治, 林謙治. 諸外国における保健所等保健衛生組織の実態調査研究 (その 2) - アメリカの実態 -. 第 62 回日本公衆衛生学会総会; 2003.10.22-24; 京都. 日本公衆衛生雑誌 2003; 50(10 付): 416.

武村真治, 須藤紀子, 兵井伸行, 林謙治. 諸外国における保健所等保健衛生組織の実態調査研究 (その 3) - イギリスの実態 -. 第 62 回日本公衆衛生学会総会; 2003.10.22-24; 京都. 日本公衆衛生雑誌 2003; 50(10 付): 417.

兵井伸行, 武村真治, 須藤紀子, 林謙治. 諸外国における保健所等保健衛生組織の実態調査研究 (その 4) - 韓国の実態 -. 第 62 回日本公衆衛生学会総会; 2003.10.22-24; 京都. 日本公衆衛生雑誌 2003; 50(10 付): 417.

若村智子, 谷口充孝, 原田優人, 中井直治, 大倉睦美, 角谷寛, 岡村城志, 陳和夫, 笠島茂, 福原俊一, 大井元晴. 睡眠時無呼吸症候群の nCPAP 治療がベッドパートナーの QOL に及ぼす影響. 第 28 回日本睡眠学会定期学術集会; 2003.6; 名古屋.

山崎新, 笠島茂, 鈴鴨よしみ, 福原俊一. 世帯年収と健康関連 QOL-SF-36 全国調査から. 第 62 回日本公衆衛生学会総会; 2003.10.22-24; 京都.

その他学術報告 (研究調査報告書含む)

曾根智史. NIH における研究評価. 厚生科学研究研究費補助金厚生科学特別研究事業「保健医療分野における研究評価のあり方に関する研究」(主任研究者: 林謙治) 平成 14 年度総括・分担研究報告書; 2003. p.11-86.

曾根智史. 酒の広告に関する研究. 厚生科学研究研究費補助金健康科学総合研究事業「未成年者の喫煙及び飲酒行動に関連する環境要因についての研究」(主任研究者: 尾崎米厚) 平成 14 年度研究報告書; 2003. p.40-1.

曾根智史. オーストラリアの地理的・歴史的状況と行政機構. 保健・医療システム. 社団法人全日本病院協会医療の質向上委員会編. 「オーストラリアの医療制度」報告書. 2003. p.1-13.

武村真治, 曾根智史, 他. 厚生労働科学研究費補助金健康科学総合研究事業「構造・過程・結果のアプローチからの保健所機能の総合評価に関する研究」(主任研究者: 大井田隆) 平成 14 年度総括研究報告書; 2003.

武村真治. わが国の保健所組織の実態調査. 厚生労働科学研究費補助金厚生労働科学特別研究事業「諸外国における保健所等保健衛生組織の実態調査研究」(主任研究者: 林謙治) 平成 14 年度総括・分担研究報告書; 2003.

武村真治, 曾根智史, 他. 厚生労働科学研究費補助金厚生労働科学特別研究事業「諸外国における保健所等保健衛生組織の実態調査研究」(主任研究者: 林謙治) 平成 14 年度総括・分担研究報告書; 2003.

三宅健夫, 武村真治, 松本利也, 大井田隆. 老人保健法糖尿病健康診査に関する検討. 厚生労働省老人保健事業推進費等補助金老人保健健康増進等事業「各種健康診査の検査手法の状況と今後の在り方」平成 14 年度報告書. 東京: 財団法人日本公衆衛生協会; 2003.

武村真治, 他. 厚生労働科学研究費補助金健康科学総合研究事業「健康危機管理情報の網羅的収集と評価に関する調査研究」(主任研究者: 緒方裕光) 平成 14 年度総括・分担研究報告書; 2003.

笠島茂, 竹上美沙, 黄亦農, 山崎新, 福原俊一. 心拍変動を指標とする温熱環境調整によって睡眠深度を改善する医療技術の開発. 医科学応用研究財団 平成 14 年度報告書.

Research Reports of the Suzuken Memorial Foundation; 2002. 21 巻 p.49-54.

Originals

Suzuki K, Ohida T, Sone T, Takemura S, Yokoyama E, Miyake T, Harano S, Motojima S, Suga M, Ibuka E. The prevalence of restless legs syndrome among pregnant women in Japan and the relationship between restless legs syndrome and sleep problems. Sleep 2003; 26(6): 673-7.

Zhang M, Izumi I, Kagamimori S, Sokejima S, Yamagami T, Liu Z, Qi B. Role of taurine supplementation to prevent exercise-induced oxidative stress in healthy young men. Amino Acids. 2004 (Epub 2003);26:203-7.

Proceedings with Abstracts

Sone T, Ohida T. Smoking behavior among pregnant women in Japan: a nationwide survey, 2002. 12th World Conference on Tobacco or Health; 2003; Helsinki.

Ohida T, Sone T, Osaki Y, Suzuki K, Miyake T. Smoking and sleep problems among Japanese adolescents: A nationwide survey. 131st American Public Health Association Annual Meeting and Exposition; 2003; San Francisco.

疫学部

Department of Epidemiology

学術雑誌に発表した原著論文

鈴木健二, 尾崎米厚, 簗輪眞澄, 和田清, 大井田隆, 土井由利子, 谷畑健生. 未成年者飲酒問題全国調査結果: 1996年と2000年調査の比較. 日本アルコール・薬物医学会雑誌 2003; 38: 425-33.

新城正紀, 川南勝彦, 簗輪眞澄, 坂田清美, 永井正規. 難病患者における保健福祉サービスの利用状況とそのあり方に関する検討. 厚生指標 2003; 50(2): 17-25.

藤田利治, 谷畑健生, 三浦宜彦. 1998年以降の自殺死亡急増の地理的特徴. 厚生指標 2003; 50(10): 27-34.

藤田利治, 大久保千代次, 西田茂樹. 国立保健医療科学院の研究倫理審査. 保健医療科学 2003; 52: 199-216.

藤田利治. 大都市での自殺死亡急増. 保健医療科学 2003; 52(4): 295-301.

渡辺ゆかり, 藤田利治. 二次医療圏との関連からみた福岡県における精神障害者の受療実態. 日本公衆衛生雑誌 2003; 50: 400-13.

谷畑健生. HIV/AIDSをとりまく状況と保健所・保健師の役割. 保健婦雑誌 2003; 59(9): 816-24.

谷畑健生, 藤田利治, 尾崎米厚, 黒沢洋一, 簗輪眞澄, 畑栄一. 自殺と社会背景としての失業. 厚生指標 2003; 50(8): 23-9.

川南勝彦, 簗輪眞澄, 岡山明, 上島弘嗣, NIPPON DATA 80 研究グループ. 喫煙習慣の全死因, がん, 肺がん死亡への影響に関する研究: NIPPON DATA. 日本衛生学雑誌 2003; 57: 669-73.

溝口恭子, 葦止勝磨, 丹後俊郎, 簗輪眞澄. 関東都市部における1歳6か月時から3歳時にかけてのう蝕発生と授乳状況ならびに関連する要因の検討. 日本公衆衛生雑誌 2003; 50: 867-78.

中窪優子, 三砂ちづる. 助産所における会陰裂傷の実態と分娩体験. 日助産会誌 2003; 16(2): 56-68.

学術雑誌に発表した総説

簗輪眞澄. 「養生訓」における酒とたばこ. 高圧ガス 2003; 40(2): 46-7.

簗輪眞澄. たばこ対策枠組条約 Framework Convention for Tobacco Control とは. 高圧ガス 2003; 40(3): 52-3.

簗輪眞澄. たばことアルコールと痴呆. 高圧ガス 2003; 40(4): 52-3.

簗輪眞澄. たばこ税と国民の健康. 高圧ガス 2003; 40(5): 36-7.

簗輪眞澄. 喫煙の疫学; 日本と諸外国の比較. 成人病と生活習慣病 2003; 33: 783-8.

簗輪眞澄, 橘とも子, 水野正一. 感染症流行波の速度. 環 2003; (15): 114-23.

土井由利子. 我が国の睡眠障害の疫学. 現代医療 2003;

35: 91-6.

三砂ちづる. 女性の身体と速度. 環 2003; (15): 164-70
三砂ちづる. 防衛的産科医療 (Defensive obstetrics) を超えるもの. 助産雑誌 2003; 57(6): 488-92.

三砂ちづる. いのちをつないでいく, という選択. 思春期学 2003; 21(1): 75-8.

三砂ちづる. 地域における出産-EBMの視点から. 公衆衛生 2003; 67(3): 174-8.

谷畑健生, 簗輪眞澄. 慢性疲労. からだの科学 2003; (230): 48-9.

著書

藤田利治. 臨床試験の質にかかわる事項. 内藤周幸編. 臨床試験 2003. 東京: 薬事日報社; 2003. p.91-129.

畑栄一, 土井由利子編. 行動科学-健康づくりのための理論と応用. 東京: 南江堂; 2003.

土井由利子. 母子保健の現状と動向. 鈴木庄介・久道茂編. シンプル衛生公衆衛生学 2003年版. 東京: 南江堂; 2003. p.196-203.

フィリス・K・ディヴィス著 三砂ちづる監修. パワーオブタッチ. 大阪: メディカ出版; 2003.

三砂ちづる, 野口真貴子. 第3章集団の健康データ. (翻訳担当) Robert Spasoff 著. 上畑鉄之丞監修. 根拠に基づく健康政策のすすめ方. 東京: 医学書院; 2003. p.71-112.

杉江拓也. 第7編労働衛生. 長谷川慧重, 杉江拓也ほか編. 国民衛生の動向 2003年. 東京: 厚生統計協会; 2003; 50(9): p.296-308.

三砂ちづる. 学術論文投稿時の注意点. 日野原重明, 井村裕夫, 監修. 福井次矢, 編. 看護のための最新医学講座. 第36巻 EBNと臨床研究. 東京: 中山書店; 2003. p.288-301.

抄録のある学会報告

簗輪眞澄, 谷畑健生, 塚本泰司, 利部輝雄, 赤座英之, 野口昌良, 守殿貞夫, 碓井亜, 香川征, 内藤誠二, 熊本悦明. わが国における性感染症の複数種感染の実態. 第13回日本疫学会学術総会; 2003.1.24-25; 福岡. Journal of Epidemiology 2003; 13(1 Suppl): 146.

簗輪眞澄, 谷畑健生, 塚本泰司, 利部輝雄, 赤座英之, 野口昌良, 守殿貞夫, 碓井亜, 香川征, 内藤誠二, 熊本悦明. わが国における性感染症の複数種感染の実態. 第62回日本公衆衛生学会総会; 2003.10.22-24; 京都. 日本公衆衛生雑誌 2003; 50(10付): 835.

簗輪眞澄, 谷畑健生, 塚本泰司, 利部輝雄, 赤座英之, 野口昌良, 守殿貞夫, 碓井亜, 香川征, 内藤誠二, 熊本悦明, 青山旬. わが国における性感染症の若年者の動向. 第62回日本公衆衛生学会総会; 2003.10.22-24; 京都. 日本公衆衛生雑誌 2003; 50(10付): 835.

簗輪眞澄, 谷畑健生, 倉恒弘彦. 慢性疲労症候群および慢性疲労についての地域ベース有病率調査 (研究計画). 第 8 回慢性疲労症候群 (CFS) 研究会; 2003.2.13-14; 米子. 同講演要旨集. p.20.

尾崎米厚, 鈴木健二, 和田清, 山口直人, 簗輪眞澄, 大井田隆, 土井由利子, 谷畑健生, 上畑鉄之丞. 未成年者の喫煙および飲酒行動に関する全国調査, 2000 年度調査報告. 第 13 回日本疫学会学術総会; 2003.1.24-25; 福岡. *Journal of Epidemiology* 2003; 13(1 Suppl): 189.

早藤知恵子, 藤谷知子, 磯貝スエ子, 渡邊泰男, 矢野一好, 諸岡公子, 辻川仁美, 佐藤恭信, 丸山浩一, 窪山泉, 井出多延子, 伊藤拳, 簗輪眞澄. 小規模企業検診受診者のニコチン濃度分布と職場の分煙実態. 第 62 回日本公衆衛生学会総会; 2003.10.22-24; 京都. *日本公衆衛生雑誌* 2003; 50(10 付): 230.

藤田利治. 精神病院での退院率の年次推移と関連要因. 第 13 回日本疫学会学術総会; 2003.1.24-25; 福岡. *Journal of Epidemiology* 2003; 13(1 Suppl): 208.

藤田利治, 谷畑健生, 三浦宜彦. 大都市部での自殺死亡急増. 第 62 回日本公衆衛生学会総会; 2003.10.22-24; 京都. *日本公衆衛生雑誌* 2003; 50(10 付): 176.

藤田利治, 佐藤俊哉. 精神病院における統合失調症の退院率に関連する要因. 第 68 回日本民族衛生学会総会; 2003; 熊本. 同講演集. 2003. p.116-7.

藤巻淑, 片野田耕太, 林邦彦, 藤田利治, 水沼英樹, 鈴木庄亮, 麻生武志. 大規模女性コホート研究におけるホルモン補充療法の利用状況: Japan Nurses' Health Study ベースライン調査中間報告. 第 13 回日本疫学会学術総会; 2003.1.24-25; 福岡. *Journal of Epidemiology* 2003; 13(1 Suppl): 197.

濱野強, 竹島正, 藤田利治, 伊藤弘人. 精神保健サービスの評価とモニタリングに関する研究. 第 62 回日本公衆衛生学会総会; 2003.10.22-24; 京都. *日本公衆衛生雑誌* 2003; 50(10 付): 789.

山下三代子, 藤田利治, 成田友代, 橘とも子, 前田秀雄, 永井恵, 細川えみ子, 小林祐子, 永見宏行. 結核の定期外検診における実態の改善: 緊急事態宣言前後の変化. 第 62 回日本公衆衛生学会総会; 2003.10.22-24; 京都. *日本公衆衛生雑誌* 2003; 50(10 付): 851.

土井由利子, 井上雄一, 簗輪眞澄, 内山真, 大川匡子. Periodic Limb Movement during Sleep (PLMS) に関する疫学研究. 第 13 回日本疫学会学術総会; 2003.1.24-25; 福岡. *Journal of Epidemiology* 2003; 13(1 Suppl): 149.

土井由利子, 簗輪眞澄. 首都圏の一般企業勤労者における主観的睡眠障害と対処行動. 第 10 回日本行動医学会学術総会; 2003.12.6; 東京.

土井由利子. 青壮年期における睡眠障害. 日本睡眠学会第 28 回定期学術集会疫学シンポジウム; 2003.6.13; 名古屋.

土井由利子, 簗輪眞澄. Pittsburgh Sleep Quality Index を用いた睡眠の質の stability に関する研究. 日本睡眠学会

第 28 回定期学術集会; 2003.6.13; 名古屋.

土井由利子. RLS と PLMS の疫学. 日本睡眠学会第 28 回定期学術集会ワークショップ RLS の診断と治療の現状; 2003.6.13; 名古屋.

三砂ちづる, 丹後俊郎, 簗輪眞澄, 林謙治, 田中哲郎, 平野かよ子, 福島富士子, 岡井崇, 前川喜平, 榊原洋一, 竹内正人, 小林秀資. 出産状況がその後の母子の健康 (ADHD) に与える影響, 研究デザイン. 第 13 回日本疫学会学術総会; 2003.1.24-25; 福岡. *Journal of Epidemiology* 2003; 13(1 Suppl): 184.

三砂ちづる, 菅原ますみ, 福島富士子, 竹内正人, 野口真貴子, 丹後俊郎, 榊原洋一, 小林秀資. 出産経験に関する尺度—「変革につながるような出産経験」を定義する試み—第 62 回日本公衆衛生学会総会; 2003.10.22-24; 京都. *日本公衆衛生雑誌* 2003; 50(10 付): 589.

川上桂子, 三砂ちづる, 金鐘栄, 榊原洋一. 乳児の泣きに関する要因について. 第 62 回日本公衆衛生学会総会; 2003.10.22-24; 京都. *日本公衆衛生雑誌* 2003; 50(10 付): 639.

嶋根卓也, 三砂ちづる. 埼玉県の公立中学校における有機溶剤乱用について. 第 62 回日本公衆衛生学会総会; 2003.10.22-24; 京都. *日本公衆衛生雑誌* 2003; 50(10 付): 762.

三砂ちづる, 柳澤秀明, 三宅馨, 福島富士子, 神津圭子, 高岡英夫. 月経血は自分でコントロールできるか?—日本人女性の持っていた知恵—. 第 44 回日本母性衛生学会総会; 2003.10.9-10; 宇都宮. *母性衛生* 2003; 44(3): 184.

川上桂子, 三砂ちづる, 金鐘栄, 榊原洋一. 日本の乳児に colic はみられるか. 第 3 回赤ちゃん学会; 2003.5.31-6.1; 東京.

三砂ちづる, 定森徹, Tayra Angela, Alves Cardoso, Maria Regina. HIV 感染児のケアテイカーの治療薬に関する知識について. 第 44 回日本熱帯医学会・第 18 回日本国際保健医療学会合同大会; 2003.10.10-12; 小倉. *日本熱帯医学会雑誌* 2003; 31 巻増刊 (国際保健医療 18 巻増刊): 263.

Bvulani Malumo Sarai, 加藤則子, 三砂ちづる. ザンビア アルサカ地区における妊産婦死亡について—一口頭剖検を用いたアプローチ—. 第 44 回日本熱帯医学会・第 18 回日本国際保健医療学会合同大会; 2003.10.10-12; 小倉. *日本熱帯医学会雑誌* 2003; 31 巻増刊 (国際保健医療 18 巻増刊): 190.

中窪優子, 三砂ちづる. ブルキナファソにおける FGM (Female Genital Mutilation) 分娩後に裂傷をきたした 4 症例の報告. 第 44 回日本熱帯医学会・第 18 回日本国際保健医療学会合同大会; 2003.10.10-12; 小倉. *日本熱帯医学会雑誌* 2003; 31 巻増刊 (国際保健医療 18 巻増刊): 189.

Tandan Jay Bahadur, 兵井伸行, 三砂ちづる. ネパール西テライにおける日本脳炎の危険因子について ケースコントロール研究の結果より. 第 44 回日本熱帯医学会・第 18 回日本国際保健医療学会合同大会; 2003.10.10-12; 小倉.

日本熱帯医学会雑誌 2003; 31 巻増刊 (国際保健医療 18 巻増刊): 174.

三砂ちづる, 丹後俊郎, 簗輪眞澄, 林謙治, 田中哲郎, 平野かよ子, 福島富士子, 岡井崇史, 前川喜平, 榊原洋一, 竹内正人, 小林秀資. 出産状況がその後の母子の健康 (ADHD 等) に与える影響—研究デザイナー—. 第 13 回日本疫学会学術総会; 2003.1.24-25; 福岡. *Journal of Epidemiology* 2003; 13(1 Suppl): 184.

中窪優子, 三砂ちづる. 助産所における会陰裂傷の実態. 第 17 回日本助産学会学術集会; 2003.3.22-23; 沖縄. 同抄録集. 2003. p.226-7.

谷畑健生, 簗輪眞澄, 倉恒弘彦. わが国における慢性疲労症候群患者の特性を明らかにするための患者対照調査 (研究計画). 第 8 回慢性疲労症候群 (CFS) 研究会; 2003.2.13-14; 米子. 同講演要旨集. 2003. p.20.

谷畑健生, 藤田利治, 畑栄一, 尾崎米厚, 青山旬, 川南勝彦, 簗輪眞澄. 自殺死亡および経済関連指標を検討する. 第 13 回日本疫学会学術総会; 2003.1.24-25; 福岡. *Journal of Epidemiology* 2003; 13(1 Suppl): 206.

村田陽平, 谷畑健生. 公共空間の分煙化に関する研究—たばこ広告と男性. 日本地理学会; 2003.3.29-30; 東京. 地理学評論 2003; 76(3): 757.

上尾豊二, 橋詰博行, 山本晴義, 杉江拓也ほか. 整形外科医の産業医活動活性化に向けての提言. 第 76 回日本整形外科学会学術集会; 2003.5; 金沢. (シンポジウム).

榎本克哉, 竹内浩一郎, 杉江拓也ほか. 中小零細企業の労働安全衛生. 第 51 回日本職業・災害医学会学術大会; 2003.11; 横浜. (シンポジウム).

松田智大, Goyaux N, Thonneau P. カメルーンにおける子宮外妊娠—リプロダクティブヘルスケアシステムの課題. 第 44 回日本熱帯医学会・第 18 回日本国際保健医療学会合同大会; 2003.10.10-12; 小倉. 日本熱帯医学会雑誌 2003; 31 巻増刊 (国際保健医療 18 巻増刊): 187.

松田智大, 柴田まなみ, Philispart N, Diouf AD, Selly K, Thonneau P. セネガル, サンレイ市での出産の現状—TBA との協力における悉皆調査の試み. 第 44 回日本熱帯医学会・第 18 回日本国際保健医療学会合同大会; 2003.10.10-12; 小倉. 日本熱帯医学会雑誌 2003; 31 巻増刊 (国際保健医療 18 巻増刊): 188.

その他学術報告 (研究調査報告書含む)

簗輪眞澄, 主任研究者. 厚生労働科学研究費補助金健康科学総合研究事業「小中学校における喫煙防止教育教材の標準化と評価」課題番号: H13-健康-027. 平成 14 年度研究報告書. 東京: 同研究班; 2003.

簗輪眞澄, 谷畑健生, 他. 厚生労働科学研究費補助金新興・再興感染症研究事業「性感染症の効果的な発生動向調査に関する研究」(主任研究者: 熊本悦明) 平成 14 年度総括研究報告書; 2003.

簗輪眞澄, 藤田利治, 他. カドミウム汚染地域住民におけ

る近位尿細管障害の予後調査 (経過報告)「イタイイタイ病及び慢性カドミウム中毒等に関する総合的研究」(班長: 簗輪眞澄) 平成 14 年度研究班総会資料. 東京: 日本公衆衛生協会; 2003. p.361-5.

川南勝彦, 簗輪眞澄, 他. 難病患者の地域ベース・追跡 (コホート) 研究に関する追跡結果. 厚生労働科学研究費補助金特定疾患対策研究事業「特定疾患の疫学に関する研究班」(主任研究者: 稲葉裕) 平成 14 年度研究業績集. 東京: 同研究班; 2003.

川南勝彦, 簗輪眞澄. 全がん, 肺がん死亡における生活習慣因子 (主に喫煙習慣を中心に) のリスク評価. 厚生労働科学研究費補助金長寿科学研究事業「健康寿命および ADL, QOL 低下に影響を与える要因の分析と健康寿命危険度評価テーブル作成に関する研究; NIPPON DATA 80・90 の 19 年, 20 年追跡調査より」(主任研究者: 上島弘嗣) 平成 14 年度研究報告書. 大津: 同研究班; 2003. p.23-8.

丹後俊郎, 藤田利治, 谷畑健生, 簗輪眞澄, 国包章一, 内山巖男, 田中勝. ダイオキシン類汚染に起因する悪性新生物死亡の超過リスクに関するコホート研究. 厚生労働科学研究費補助金食品・化学物質安全総合研究事業 (主任研究者: 丹後俊郎. 課題番号: H14-食品・科学-21) 平成 14 年度報告書; 2003.

藤田利治. 解剖によらない SIDS 診断の特長についての人口動態調査に基づく比較研究. 厚生科学研究費補助金子ども家庭総合研究事業「乳幼児突然死症候群の診断のためのガイドラインの作成およびその予防と発症率軽減のための研究」(主任研究者: 坂上正道. 課題番号: H14-子ども-002) 平成 14 年度報告書; 2003. p.654-60.

藤田利治, 谷畑健生, 他. 乳幼児突然死についての死体検案書 (死亡診断書) の記載に関する実態調査: 研究計画. 厚生労働科学研究費補助金子ども家庭総合研究事業「乳幼児突然死症候群の診断のためのガイドラインの作成およびその予防と発症率軽減のための研究」(主任研究者: 坂上正道. 課題番号: H14-子ども-002) 平成 14 年度報告書; 2003. p.661-7.

藤田利治, 他. 神経芽細胞腫マスキリーニング・プログラムの疫学評価. 厚生労働科学研究費補助金子ども家庭総合研究事業「マスキリーニングの効率的実施及び開発に関する研究」(主任研究者: 黒田泰弘. 課題番号: H13-子ども-006) 平成 14 年度研究報告書; 2003. p.125-6.

藤田利治, 他. 神経芽細胞腫スクリーニング評価のための全国乳児疫学研究. 厚生労働科学研究費補助金子ども家庭総合研究事業「マスキリーニングの効率的実施及び開発に関する研究」(主任研究者: 黒田泰弘. 課題番号: H13-子ども-006) 平成 14 年度研究報告書; 2003. p.135-40.

藤田利治, 他. 大規模女性コホート研究による生活習慣・女性ホルモン利用と乳癌・子宮癌の関連の検討. 文部科学省特定領域研究ヒトがんの環境・宿主要因に関する疫学的研究 (がん疫学) (研究代表: 林邦彦. 課題番号: 14031101) 平成 14 年度研究報告集録; 2003. p.50-1.

藤田利治. 平成 10 年 (1998 年) 以降の自殺死亡急増: 自殺予防対策のための自殺死亡統計. 「地域における自殺防止対策の取組支援と自殺予防支援者の育成に関する調査研究事業」(主任研究者: 平野かよ子) 平成 14 年度分担研究報告書; 2003.

藤田利治, 谷畑健生, 三浦宜彦, 河口朋子. 1998 年以降の自殺死亡急増の地理的特徴: 自殺にかかわる保健統計資料の整備に関する研究. 「地域における自殺防止対策の取組支援と自殺予防支援者に関する研究」(主任研究者: 平野かよ子) 平成 14 年度報告書; 2003. p.3-12.

藤田利治. 患者調査に基づく精神疾患の保健統計指標の年次推移. 厚生労働科学研究費補助金傷害保健総合研究事業「精神保健サービスの評価とモニタリングに関する研究」(主任研究者: 岩崎榮. 課題番号: H14-障害-008) 平成 14 年度総括・分担報告書; 2003. p.163-201.

藤田利治. 二次医療圏との関連からみた福岡県の中核市精神障害者の受療圏. 厚生労働科学研究費補助金傷害保健総合研究事業「精神保健サービスの評価とモニタリングに関する研究」(主任研究者: 岩崎榮. 課題番号: H14-障害-008) 平成 14 年度総括・分担報告書; 2003. p.203-18.

藤田利治. 精神病院での長期入院にかかわる要因についての統計調査に基づく検討. 厚生労働科学研究費補助金傷害保健総合研究事業「精神保健サービスの評価とモニタリングに関する研究」(主任研究者: 岩崎榮. 課題番号: H14-障害-008) 平成 14 年度総括・分担報告書; 2003. p.219-28.

藤田利治. 精神疾患についての継続入院期間別の退院率の

年次推移. 厚生労働科学研究費補助金傷害保健総合研究事業「精神保健サービスの評価とモニタリングに関する研究」(主任研究者: 岩崎榮. 課題番号: H14-障害-008) 平成 14 年度総括・分担報告書; 2003. p.229-35.

土井由利子. 厚生労働省精神神経疾患研究委託費「睡眠障害の診断・治療ガイドライン研究」(主任研究者: 内山真) 平成 14 年度研究報告書; 2003.

土井由利子. 厚生労働科学研究費補助金新興・再興感染症研究事業「経口細菌感染症の広域的・散発的発生時の実地疫学的調査主張の開発に関する研究」(主任研究者: 中村好一) 平成 14 年度研究報告書; 2003.

三砂ちづる, 主任研究者. 厚生労働科学研究費補助金厚生労働科学特別研究事業「妊娠・出産状況がその後の母子の健康に与える影響に関する研究」平成 14 年度報告書; 2003.

三砂ちづる. 英国 MRC (Medical Research Council) による研究助成, 審査, 評価システムについての予備調査と資料収集. 厚生労働科学研究費補助金厚生労働科学特別研究事業 (主任研究者: 林謙治) 平成 14 年度報告書; 2003.

三砂ちづる. 快適な妊娠・出産を支援する基盤整備に関する研究. 厚生労働科学研究費補助金子ども家庭総合研究事業 (主任研究者: 中村好一) 平成 14 年度報告書; 2003.

三砂ちづる. 途上国での効率的 HIV/AIDS ケアを可能とする地域保健活動. 開発途上国における抗 HIV 多剤併用療法の導入等の医療サービス提供に関する医療経済医学的研究国際協力委託研究 (主任研究者: 木村哲) 平成 14 年度報告書; 2003.

Originals

Qiu D, Mei J, Tanihata T, Kawaminami K, Minowa M. A cohort study on cerebrovascular disease in middle-aged and elderly population in rural areas in Jiangxi province, China. *Journal of Epidemiology* 2003; 13: 149-56.

Osaki Y, Minowa M, Suzuki K, Wada K. Adolescent alcohol use in Japan. *Yonago Acta medica* 2003; 46: 35-43.

Osaki Y, Minowa M, Suzuki K, Wada K. Adolescent smoking behavior in Japan, 1996. *日本アルコール・薬物医学会雑誌* 2003; 38: 483-91.

Doi Y, Inoue Y, Minowa M, Uchiyama M, Okawa M. Periodic limb movements during sleep in Japanese community-dwelling adults. *Journal of Epidemiology* 2003; 13: 259-65.

Doi Y, Minowa M, Tango T. Impact and correlates of poor sleep quality in Japanese white-collar employees. *Sleep* 2003; 26: 379-83.

Doi Y, Minowa M. The factor structure of the GHQ-12 in the Japanese general adult population. *Psychiatry and Clinical Neurosciences* 2003; 57: 379-83.

Doi Y, Minowa M. Gender differences in excessive daytime sleepiness among Japanese workers. *Social Science & Medicine* 2003; 56: 883-94.

Adachi Y, Tanaka H, Kunitsuka K, Takahashi M, Doi Y, Kawakami N, Minowa M. Brief behavioral therapy for sleep-habit improvement in a work place by correspondence. *Sleep and Biological Rhythms* 2003; 1: 133-5.

Miyazaki M, Babazono A, Ishii A, Sugie T, Momose M, Une H, et al. Effects of low birth body mass index and smoking on all-cause mortality among middle-aged and elderly Japanese. *Journal of Epidemiology* 2003; 1: 40-4.

Matsuda T, Remontet L, Grosclaude P, et les membres du réseau Francim et du CépiDC. Incidence des cancers de la vessie en France: évolution entre 1980 et 2000. *Progrès en Urologie* 2003; 13: 602-7.

Sant M, Aareleid T, Berrino F, Bielska-Lasota M, Carli PM, Faivre J, Grosclaude P, Hedelin G, Matsuda T, Moller H, Moller T, Verdecchia A. EURO-CARE-3: Survival of cancer patients cases diagnosed in 1990-94. *Annals of Oncology* 2003; 14: v61-v118.

Proceedings with Abstracts

Fujita T, Miura Y, Mayama T. Database using post-marketing surveillance data. 19th International Conference on Pharmacoepidemiology; Philadelphia,

USA. Pharmacoeepidemiology and Drug Safety 2003; 12(Suppl 1): S175.

Katanoda K, Fujimaki S, Hayashi K, Fujita T, Mizunuma H, Suzuki S, Aso T. Prevalence and user's characteristics of hormone replacement therapy in Japan. 19th International Conference on Pharmacoeepidemiology; Philadelphia, USA. Pharmacoeepidemiology and Drug Safety 2003; 12(Suppl 1): S8-9.

Fujimaki S, Katanoda K, Hayashi K, Fujita T, Mizunuma H, Suzuki S, Aso T. Effect of reproductive period and hormone replacement therapy on breast cancer risk in postmenopausal Japanese women: Japan Nurses' Health Study. 19th International Conference on Pharmacoeepidemiology; Philadelphia, USA. Pharmacoeepidemiology and Drug Safety 2003; 12(Suppl 1): S95-6.

Doi Y, Minowa M, Kagamimori S. Sleep quality as a key indicator assessing health, safety, and quality of life for workers. The 17th Nordic Conference in Social Medicine and Public Health; 2003. 8.15-17: Aarhus, Denmark. Book of abstracts p.44.

Simba A, Doi Y, Minowa M. Cigarette smoking and associated factors among secondary school students in Mwanza, Tanzania. 第13回日本疫学会学術総会; 2003.1.24-25; 福岡. Journal of Epidemiology 2003; 13(1 Suppl): 188.

De Lafontan B, Teissier E, Héry M, Gonzagues L, Cowen D, Marchal C, Cutuli B, Quetin P, Dilhuydy JM,

Campana F, Auvray H, Nguyen TD, Matsuda T. 2ème Traitement Conservateur pour Récidive Locale de Cancer du Sein. XXVes Journées Nationales de la Société Française de Sénologie et de Pathologie Mammaire; 2003 Sep 17-19; Nice, France.

Matsuda T. Fiabilité des informations statistiques médicales —coordination internationale du codage et de l'enregistrement des cancers de la vessie par les registers. Journées Scientifiques Francophone; 2003 Nov 24-26; Tokyo. p.37.

De Lafontan B, Lozano J, Soum F, Matsuda T. Loco-regional relapses and survival after breast-conserving surgery and hypofractionated radiation therapy in elderly women with invasive breast cancer. Analysis of 152 cases. 26th Annual San Antonio Breast Cancer Symposium; 2003 Dec 3-6; San Antonio, Texas, USA. Breast Cancer Research and Treatment 2003; 85(2).

De Lafontan B, Demange L, Héry M, Schvartz C, Eche N, Boneu A, Matsuda T. Thyroid dysfunction following postoperative radiation therapy in patients treated for breast cancer. 26th Annual San Antonio Breast Cancer Symposium; 2003 Dec 3-6; San Antonio, Texas, USA. Breast Cancer Research and Treatment 2003; 85(2).

Malumo S, Misago C, Kato N. Hospital based maternal deaths in Lusaka District, Zambia Jan. to Dec. 2001. The 13th Congress of the Japan Epidemiological Association. Fukuoka; Jan. 2003. p.24-5.

公衆衛生看護部 Department of Public Health Nursing

学術雑誌に発表した原著論文

福島富士子, 守田孝恵, 尾崎米厚, 藤内修二, 柴田真理子, 宮里和子. 市町村母子保健活動への保健所の支援に関する保健所と市町村の認識比. 厚生指針 2003; 50(4): 27-35.

福島富士子, 保条麻紀. 育児中の母親の公園における人間関係とストレス. 地域環境保健福祉研究 2003; 6(2): 14-23.

尾島俊之, 日隈桂子, 福島富士子. 乳幼児健康診査における問診票の効果的活用に関する研究. 地域環境保健福祉研究 2003; 6(2): 24-30.

藤内修二, 尾崎米厚, 福永一郎, 岩室紳也, 糸数公, 犬塚君雄, 植田紀美子, 尾島俊之, 笹井康典, 澁谷いづみ, 田上豊資, 日隅桂子, 櫃本真津, 福島富士子. 市町村母子保健計画の策定プロセスと策定後の変化. 日本公衆衛生雑誌 2003; 50(9): 897-906.

学術雑誌に発表した総説

平野かよ子. 保健師の保健活動の実践とその評価. 日本養護教諭教育学会誌 2003; 6(1): 1-4.

平野かよ子, 山田和子, 島田美喜, 鳩野洋子, 奥田博子. 地域保健における自殺予防へのアプローチ. 公衆衛生 2003; 67(9): 664-6.

山田和子, 平野かよ子. 中小企業労働者の健康状態と事業場・地方自治体における対策. 保健婦雑誌 2003; 59(5): 422-6.

山田和子. 書評「子ども虐待問題百科事典」. 小児保健研究 2003; 62(4): 514.

福島富士子. 妊娠・出産に対する市町村の支援策の変遷と今後の展開. 公衆衛生 2003; 67(3): 197-201.

著書

平野かよ子, 曾根智史, 鳩野洋子. 21世紀の公衆衛生と公衆衛生従事者—わが国の歴史と諸外国の動向を踏まえて—. 鍋田忠彦, 近藤健文, 編. ヘルスリサーチの新展開 保健医療の質と効率の向上を求めて. 東京: 東洋経済新報; 2003. p.107-34.

平野かよ子. 地域看護の考え方. 中西睦子, 監修. TACS シリーズ 10 地域看護学. 東京: 建帛社; 2003. p.2-9.

平野かよ子, 公衆衛生, 中西睦子, 監修, 地域看護学, 東京: 建帛社; 2003. p.23-8.

平野かよ子, 村田ひとみ, 地域でのゴミ処理問題 過疎地域における保健活動, 中西睦子, 監修, 地域看護学, 東京: 建帛社; 2003. p.237-43.

平野かよ子, 地域保健活動と母子保健, 助産学大系第 11 巻, 東京: 日本看護協会出版会; 2003. p.13-427.

佐藤拓代, 編著, 岩佐嘉彦, 北川幸子, 工藤充子, 小坂みち代, 小林美智子, 鈴木敦子, 田村道子, 津崎哲郎, 徳永雅子, 中塚恒子, 中西真弓, 長谷川喜久子, 峯川章子, 山田和子, 山本裕美子, 子ども虐待予防のための地域保健活動マニュアル, 東京: 社会保険研究所; 2002. p.1-128.

山田和子, 地域における母子保健活動, 助産学大系第 11 巻, 地域母子保健, 東京: 日本看護協会出版会; 2003. p.28-46.

山田和子, 地域ケアコーディネーション, TACS シリーズ 10 地域看護学, 東京: 建帛社; 2003. p.142-53.

山田和子, 障害を持つ学童への支援, TACS シリーズ 10 地域看護学, 東京: 建帛社; 2003. p.231-36.

鳩野洋子, エンパワーメント, 国立公衆衛生院, ヘルスプロモーション, プレシード・プロシードモデル, 保健行動モデル, 行動意図モデル, 社会的学習理論, 見藤隆子, 児玉香津子, 菱沼典子, 編集, 看護学事典, 東京: 日本看護協会出版会; 2003. p.57, 208, 21, 286, 598, 609, 623.

Penelope Hawe, Deadrre Degling, Jane Hall, 鳩野洋子, 曾根智史, 訳, ヘルスプロモーションの評価 成果につながる 5 つのステップ, 東京: 医学書院; 2003.

鳩野洋子, ヘルスプロモーション, 中西睦子, 監修, 地域看護学, 東京: 建帛社; 2003. p.35-41.

鳩野洋子, 諸外国における在宅看護, 木下由美子, 編著, 在宅看護論, 第 4 版, 東京: 医歯薬出版; 2003. p.289-94.

福島富士子, プレゼンテーション, TACS シリーズ 10 地域看護学, 東京: 建帛社; 2003. p.87-96.

抄録のある学会報告

平野かよ子, 山田和子, 保健師の保健活動方法論の試み, 地域看護学会; 2003.6.7-8; 横浜.

岩永俊博, 平野かよ子, 他, 保健福祉従事者に対する国及び地方自治体での教育訓練のあり方に関する研究—第 1 報—, 第 62 回日本公衆衛生学会総会; 2003.10.22-24; 京都, 日本公衆衛生雑誌 2003; 50(10 付): 469.

岩永俊博, 平野かよ子, 他, 保健福祉従事者に対する国及び地方自治体での教育訓練のあり方に関する研究—第 2 報—, 第 62 回日本公衆衛生学会総会; 2003.10.22-24; 京都, 日本公衆衛生雑誌 2003; 50(10 付): 469.

樋口広美, 斉藤有子, 白川紀子, 明間幸子, 相馬幸子, 佐野美智子, 渡辺トモ子, 山田和子, 子ども虐待を早期発見・予防するための支援体制の整備に向けて—新津市子ども虐待予防ネットワークの立ち上げ—, 平成 14 年度新潟県公衆衛生関係職員研修会, 2003. 同会講演集, 2003. p.141-3.

山田和子, 平野かよ子, 鳩野洋子, 奥田博子, 島田美喜,

俵麻紀, 大竹ひろ子, 海法澄子, 失業者のメンタルヘルス—ハローワーク来所者への調査より—, 第 62 回日本公衆衛生学会総会; 2003.10.22-24; 京都, 日本公衆衛生雑誌 2003; 50(10 付): 901.

岩瀬亜紀子, 山田和子, 虐待の早期発見・早期対応における保健所, 市町村の役割—支援実態調査より—, 第 62 回日本公衆衛生学会総会; 2003.10.22-24; 京都, 日本公衆衛生雑誌 2003; 50(10 付): 579.

穂積明子, 梁瀬有美子, 八代樹依, 五月女幸子, 大森千草, 岩永俊博, 畑栄一, 山田和子, 緒方裕光, 協働を目指したワークショップの課題と可能性 第 1 報 ワークショップ練習前後の変化, 第 62 回日本公衆衛生学会総会; 2003.10.22-24; 京都, 日本公衆衛生雑誌 2003; 50(10 付): 744.

大森千草, 穂積明子, 梁瀬有美子, 五月女幸子, 八代樹依, 岩永俊博, 畑栄一, 山田和子, 緒方裕光, 協働を目指したワークショップの課題と可能性 第 2 報 ワークショップ実施に向けての提言, 第 62 回日本公衆衛生学会総会; 2003.10.22-24; 京都, 日本公衆衛生雑誌 2003; 50(10 付): 344.

鳩野洋子, 関戸好子, 岡本玲子, 鈴木浩子, 要介護状態予防が必要な対象の状態像, 第 8 回日本老年看護学会学術集会; 2003.11.7-8; 神戸, 同講演集, p.89.

鳩野洋子, 岡本玲子, 関戸好子, 要介護状態予防が必要な対象の状態像—専門職がとらえるリスクの高い状態像について—, 第 62 回日本公衆衛生学会総会; 2003.10.22-24; 京都, 日本公衆衛生雑誌 2003; 50(10 付): 693.

眞崎直子, 鳩野洋子, 島田美喜, 保健事業評価に関する研究—保健所企画調整機能および市町村支援機能の視点から—, 第 62 回日本公衆衛生学会総会; 2003.10.22-24; 京都, 日本公衆衛生雑誌 2003; 50(10 付): 961.

渡辺志保, 岩永俊博, 鳩野洋子, 杉浦裕子, 藤本真弓, 三好ゆかり, 糖尿病予防対策事業における自己評価ツール作成の試み—第 2 報—, 第 7 回日本健康福祉政策学会学術大会; 2003. 1129-30; 出雲, 同大会講演集, 2003. p.23.

湯浅昌代, 野山修, 岩永俊博, 鳩野洋子, 渡辺志保, 田中良明, 地域づくり型保健活動に関する保健師のエンパワーメント評価尺度の開発, 第 7 回日本健康福祉政策学会学術大会; 2003. 1129-30; 出雲, 同大会講演集, 2003. p.24.

福島富士子, 思春期支援の対策と現状および指標にみる今後の課題—飲酒・喫煙・薬物乱用を中心に—, 第 22 回日本思春期学会総会学術集会; 2003.8.16-19; 京都.

福島富士子, 岩室紳也, 守田孝恵, 市町村母子保健計画書の数量的分析による計画書改訂の評価—評価指標の開発—, 第 22 回日本思春期学会総会学術集会; 2003.8.16-19; 京都.

稲葉洋美, 渡辺幸子, 福島富士子, 薬物教育における小学校教員の指導の実態と意識 (その 1), 第 22 回日本思春期学会総会学術集会; 2003.8.16-19; 京都.

藤内修二, 岩室紳也, 福島富士子, 地域における健やか親子 21 の推進に関する研究 (第 7 報)—母子保健計画書の有用性—, 第 22 回日本思春期学会総会学術集会;

2003.8.16-19；京都。

岩室紳也，福島富士子．地域における健やか親子 21 の推進に関する研究（第 8 報）－思春期保健のプロセス分析－．第 22 回日本思春期学会総会学術集会；2003.8.16-19；京都。

日隈桂子，尾崎米厚，福島富士子．地域における健やか親子 21 の推進に関する研究（第 9 報）－計画の評価と見直し－．第 22 回日本思春期学会総会学術集会；2003.8.16-19；京都。

糸数公，藤内修二，福島富士子．地域における健やか親子 21 の推進に関する研究（第 10 報）－県型保健所の役割－．第 22 回日本思春期学会総会学術集会；2003.8.16-19；京都。

三砂ちづる，菅原すみ，福島富士子，竹内正人，野口真貴子，丹後俊郎，榊原洋一，小林秀資．出産経験に関する尺度－「変革につながるような出産経験」を定義する試み－第 62 回日本公衆衛生学会総会；2003.10.22-24；京都．日本公衆衛生雑誌 2003；50(10 付)：589。

三砂ちづる，丹後俊郎，簗輪眞澄，林謙治，田中哲郎，平野かよ子，福島富士子，岡井崇，前川喜平，榊原洋一，竹内正人，小林秀資．出産状況がその後の母子の健康（ADHD）に与える影響，研究デザイン．第 13 回日本疫学会学術総会；2003.1.24-25；福岡．Journal of Epidemiology 2003；13(1 Suppl)：184。

その他学術報告（研究調査報告書含む）

平野かよ子，守田孝恵．これからの地域保健福祉対策に從事する保健師の活動のあり方に関する研究．厚生労働科学研究費補助金健康科学総合研究事業「総合的な地域保健サービスの提供体制に関する研究」（主任研究者：北川定謙）平成 14 年度分担研究報告書；2003。

平野かよ子，総括研究者．「地域における自殺防止対策と自殺防止支援に関する研究」平成 14 年度研究報告書；2003。

平野かよ子．公衆衛生従事者の教育研修のあり方の検討－旧国立公衆衛生院の教育研修の見直しを通して－．厚生労働科学研究費補助金健康科学総合研究事業「保健福祉従事者に対する国及び地方自治体での教育研修のあり方に関する研究」（主任研究者：岩永俊博）平成 14 年度分担研究報告書；2003。

山本裕美子，上野昌江，山田和子，折井由美子，長池敦子．子どもの虐待の援助における保健師の支援内容の明確化と保健師へのサポート．科学研究費補助金「子ども虐待における保健師の在宅支援の有効性に関する研究」（研究代表者：上野昌江）基盤研究 C(2)平成 12 年～14 年度研究成果報告書；2003．p.13-20。

上野昌江，山田和子．子どもの虐待の援助における保健師の支援内容の明確化と保健師へのサポートシステム構築の探求．科学研究費補助金「子ども虐待における保健師の在宅支援の有効性に関する研究」（研究代表者：上野昌江）基盤研究 C(2)平成 12 年～14 年度研究成果報告書；2003．p.1-93。

青木豊，大石時子，北川明子，工藤充子，近藤直司，佐藤

拓代，田中ひろ子，中原裕美，福島道子，細谷たき子，前橋信和，丸山恭子，山田和子．地域保健総合推進事業「乳幼児を虐待する養育者への支援技術の普及に関する検討事業」平成 14 年度報告書；2003．p.1-183。

鳩野洋子．オーストラリアの保健衛生組織．厚生労働科学研究費補助金厚生労働科学特別研究事業「諸外国における保健所等保健衛生組織の実態調査研究」（主任研究者：林謙治）平成 14 年度総括研究報告書；2003．p.91-103。

鳩野洋子，主任研究者．厚生労働科学研究費補助金長寿科学総合研究事業「要介護状態予防が必要な対象把握に対する研究」平成 14 年度研究報告書；2003。

鳩野洋子．諸外国の地域保健における評価の状況．厚生労働科学研究費補助金政策科学推進研究事業「地域保健活動の政策評価に関する研究」（研究代表者：島田美喜）平成 14 年度研究報告書；2003．p.27-41。

鳩野洋子，島田美喜，岡部明子，飯吉令枝，齊藤智子，岡本玲子，中山貴美子，長畑多代，佐藤由美．保健師がかかわる要介護度の低い事例のニーズとケアマネジメント．科学研究費補助金「要介護状態の予防に向けたケアマネジメント技法の体系化に関する研究－介護保険制度と連動する保健技法（介入方法）の開発に焦点をあてて」（研究代表者：岡本玲子）基盤研究 C(2)平成 12 年～13 年度研究成果報告書；2003．p.15-25。

長江弘子，水野正之，福井小夜子，千葉由美，鳩野洋子，大田加代．厚生労働省医療関係者養成確保対策費補助金事業看護政策立案のための基盤整備推進事業「高度な医療ケアを必要とする患者を在宅へ移行する退院調整看護のあり方に関する検討」（研究代表者：柏木聖代）平成 14 年度報告書；2003．p.91-103。

福島富士子，主任研究者．厚生労働科学研究費補助金子ども家庭総合研究事業「市町村母子保健計画書の数量的分析による計画書改訂の評価」平成 14 年度研究報告書；2003。

福島富士子．東京ウィメンズプラザ助成事業「地域は今－市町村母子保健活動の現場から－女性の身体の知恵の伝承について考える」平成 14 年度報告書；2003．p.24-28。

福島富士子．厚生労働科学研究費補助金子ども家庭総合研究事業「健やか親子 21」推進のために，「地域における『健やか親子 21』の推進に関する研究」（主任研究者：藤内修二）平成 14 年度研究報告書；2003。

福島富士子．厚生労働科学研究費補助金厚生労働科学特別研究事業「妊娠・出産状況がその後の母子の健康に与える影響に関する研究」（主任研究者：三砂ちづる）平成 14 年度報告書；2003。

視聴覚資料やデジタル媒体などによる研究成果

平野かよ子，山田和子，守田孝恵，奥田博子，監修．地域での協働とネットワーク化，保健師のためのビデオシリーズ④，国民健康保険中央会，2003。

生涯保健部

Department of Health Promotion and Research

学術雑誌に発表した原著論文

田中哲郎, 市川光太郎, 山田至康. 救命救急センターにおける小児の三次救急の現状. 日本小児救急医学会雑誌 2003; 2: 17-21.

市川光太郎, 山田至康, 田中哲郎. 小児科クリニック及び病院小児科実習研修経験者の小児医療及び小児救急医療に対する意識調査. 日本小児救急医学会雑誌 2003; 2: 23-6.

田中哲郎. 小児救急医療充実のための緊急処方箋—IT 技術を用いた小児救急支援システム案について. 日本小児救急医学会雑誌 2003; 2: 3-4.

田中哲郎, 石井博子, 内山有子. 保護者の望む小児救急医療体制. 日本小児救急医学会雑誌 2003; 1: 1-3.

田中哲郎, 石井博子, 内山有子. 幼児安全教育プログラムの試作と評価. 保育と保健 2003; 2: 75-83.

田中哲郎. 小児の入院医療費の現状と推移. 小児科臨床 2003; 8: 1727-36.

田中哲郎. 小児の外来医療費の現状と推移. 小児科臨床 2003; 9: 1903-10.

田中哲郎. 小児救急と小児科医不足. 小児科臨床 2003; 10: 2079-91.

田中哲郎. 遠隔診療技術利用による小児救急医療サポートの可能性. 小児科臨床 2003; 11: 2215-21.

田中哲郎. 「事故防止」も公衆衛生の重要課題である. 公衆衛生 2003; 12: 946-50.

田中哲郎. 小児救急と女性医師の労働環境. 日本小児科学会雑誌 2003; 11: 1478-85.

市川光太郎, 山田至康, 田中哲郎, 菅野好史, 戸叶正義. IT 器機を用いた小児救急医療遠隔支援体制の検討. 日本小児救急医学会雑誌 2003; 1: 17-20.

品川靖子, 品川隆, 畑栄一, 加藤則子. 低出生体重児における身体発育と乳歯萌出に関する縦断研究. 小児保健研究 2003; 62(1): 57-64.

加藤則子, 北村邦夫, 望月友美子, 大井田隆. 全国における思春期外来ならびに思春期相談窓口の設置状況に関する調査結果. 思春期学 2003; 21(3): 238-90.

加藤則子, 飯森裕一. 胎児超音波計測と乳児身体計測の縦断的観察. Auxology 2003; 9: 14-5.

小林正子, 加藤則子, 東郷正美. 双生児の思春期発育の時系列解析. Auxology 2003; 9: 22-5.

加藤則子, 飯森裕一. 胎児超音波計測値と乳児身体計測値との関連. Auxology 2003; 9: 92-5.

学術誌に発表した総説

石井博子, 田中哲郎. 保育施設での事故防止と発生時の対応. チャイルドヘルス 2003; 6(2): 87-93.

田中哲郎. 小児科医と子どもの事故防止. 高知県小児科医学会報 2003; 15: 3-13.

田中哲郎. 家庭内の事故防止. 日本医師会雑誌特別号 2003; 12: s380.

加藤則子. 母子健康手帳の活用法. 周産期医学 2003; 33(1): 9-12.

加藤則子. ふたごの育児. チャイルドヘルス 2003; 6(3): 167-70.

加藤則子. 出生体重に関連する母体側要因 環境要因, 経済要因. 周産期医学 2003; 33(6): 693-6.

加藤則子. 母子保健活動と生活習慣病予防. 思春期学 2003; 21(4): 353-6.

小林正子. 身体計測値の有効活用—子どもの心身状態を反映する身長・体重その 1. 子どもと発育発達 2003; (4): 254-5.

小林正子. 身体計測値の有効活用—子どもの心身状態を反映する身長・体重その 2. 子どもと発育発達 2003; (5): 338-9.

小林正子. 太ることと・やせること身体組成. 子どもと発育発達 2003; (3): 176-8.

小林正子. 肥満は夏休みにはじまる. 子どもと発育発達 2003; (2): 114-6.

小林正子. 発育リズム. 子どもと発育発達 2003; (1): 42-3.

著書

田中哲郎. 新子どもの事故防止マニュアル. 改訂第 3 版. 東京: 診断と治療社; 2003.

加藤則子. 発育. 他. 今野喜清, 他, 編. 学校教育辞典. 東京: 教育出版; 2003.

加藤則子. 新しい乳幼児発育曲線とその使い方. 平山宗宏, 監修. 新しい『母子健康手帳』とその利用. 東京: 母子衛生研究会; 2003. p.18-24.

加藤則子. 地域母子保健と疫学. 青木康子, 他, 編. 助産学大系第 3 版. 第 11 巻 地域母子保健. 東京: 日本看護協会出版会; 2003. p.47-76.

佐藤加代子. 学童期・思春期の栄養と食生活. 高野陽, 高橋種昭, 大江秀夫, 染谷理絵, 水野清子, 原田節子, 佐藤加代子, 編. 小児栄養: 子どもの栄養と食生活 (第 3 版改訂). 東京: 医歯薬出版; 2003. p.7-149.

佐藤加代子. 障害をもつ小児の食事と食生活. 高野陽, 高橋種昭, 大江秀夫, 染谷理絵, 水野清子, 原田節子, 佐藤加代子, 編. 小児栄養: 子どもの栄養と食生活 (第 3 版改訂). 東京: 医歯薬出版; 2003. p.175-94.

小林正子. III 章 2 節 身体の発育発達と教育. 木村龍雄, 代表者. 教職課程における教育内容・方法の開発研究. 大阪: 学校保健の会; 2003. p.50-70.

小林正子. 学校保健. 高野陽, 柳川洋, 加藤忠明, 編. 母子保健マニュアル 第 5 版. 東京: 南山堂; 2004. p.79-85.

小林正子. 思春期保健. 高野陽, 柳川洋, 加藤忠明, 編. 母子保健マニュアル 第 5 版. 東京: 南山堂; 2004. p.87-93.

須藤紀子. 栄養教育の国際的動向. 岸田典子, 菅淑江, 編.

ウエルネス栄養教育・栄養指導論 第2版. 東京: 医歯薬出版; 2003. p.36-42.

須藤紀子. 遠い過去の食事の思い出. 田中平三, 監訳. 食事調査のすべて 栄養疫学. 第2版. 東京: 第一出版; 2003. p.163-9.

抄録のある学会報告

田中哲郎. ワークショップ小児救急医療—その充実に小児科医は何をなすべきか—. 第106回日本小児科学会学術集会; 2003.4.9-11; 福岡.

内山有子, 石井博子, 田中哲郎. 最近の乳幼児突然死症候群 (SIDS) の動向. 第9回日本 SIDS 学会; 2003.3.7-8; 北九州.

石井博子, 田中哲郎. 保護者の望む小児救急医療体制. 第17回日本小児救急医学会; 2003.6.21-22; さいたま.

内山有子, 石井博子, 田中哲郎, 市川光太郎, 山田至康. 救命救急センターにおける小児の三次救急の現状. 第17回日本小児救急医学会; 2003.6.21-22; さいたま.

山田至康, 市川光太郎, 田中哲郎. 大学小児科医の医療環境に対する意識調査. 第17回日本小児救急医学会; 2003.6.21-22; さいたま.

草川功, 羽鳥文麿, 田中哲郎, 平田倫生. 市民への小児心肺蘇生法の普及についての検討(1)保護者への意識調査. 第17回日本小児救急医学会; 2003.6.21-22; さいたま.

羽鳥文麿, 田中哲郎, 草川功, 平田倫生. 市民への小児心肺蘇生法の普及についての検討(2)実技講習会の教育効果と習熟度調査. 第17回日本小児救急医学会; 2003.6.21-22; さいたま.

羽鳥文麿, 田中哲郎, 草川功. 市民への小児心肺蘇生法の普及についての検討(3)実習項目別の理解度調査. 第17回日本小児救急医学会; 2003.6.21-22; さいたま.

田久浩志, 田中哲郎. 二次医療圏毎の小児救急医療体制の評価. 第41回日本病院管理学会; 2003.10.30-31; 東京.

内山有子, 石井博子, 田中哲郎. 幼児の事故防止安全教育. 第50回日本学校保健学会; 2003.11.2-3; 神戸.

石井博子, 内山有子, 田中哲郎. 幼児安全教育プログラムの試作と評価. 第62回日本公衆衛生学会総会; 2003.10.22-24; 京都.

内山有子, 石井博子, 亀井美登里, 田中哲郎. 都道府県における子どもを事故で亡くした保護者への精神的サポートの現状. 第62回日本公衆衛生学会総会; 2003.10.22-24; 京都.

石井博子, 内山有子, 田中哲郎. 幼児安全教育プログラムの評価. 第50回日本小児保健学会; 2003.11.13-15; 鹿児島.

内山有子, 石井博子, 亀井美登里, 田中哲郎. 子どもを事故で亡くした保護者への精神的サポートに関する検討. 第50回日本小児保健学会; 2003.11.13-15; 鹿児島.

加藤則子. 双胎の出生時の体格に関する検討 (1995 年～1999 年). 日本双生児研究学会第17回学術講演会; 2003.1.25; 大阪. 同講演集. 2003. p.19.

加藤則子, 飯森裕一. 胎児超音波計測値と乳児身体計測値との関連. 第106回日本小児科学会学術集会; 2003.4.9-11; 福岡. 日本小児科学雑誌 2003; 107(2): 411.

加藤則子. 双胎の出生時の体格に関する検討 (1995 年～1999 年). 第39回日本新生児学会総会; 2003.7.13-15; 郡山. 日本新生児学会雑誌 2003; 39(2): 344.

加藤則子, 内山有子, 田中哲郎. 児童, 生徒および幼児の年齢別身長別 BMI に関する検討. 第22回日本思春期学会総会; 2003.8.16-19; 京都. 同学術集会抄録集. 2003. p.91.

加藤則子, 小林正子, 小林秀資. 中学, 高校生の行動の偏りの項目間の相互関係に関する検討. 第62回日本公衆衛生学会総会; 2003.10.22-24; 京都. 日本公衆衛生雑誌 2003; 50(10 付): 625.

加藤則子, 内山有子. 双胎の出生時の体格に関する検討 (1995 年～1999 年). 第50回日本小児保健学会; 2003.11.13-15; 鹿児島. 同講演集. 2003. p.254-5.

平松知子, 中田恵津子, 家永紀子, 佐藤加代子, 他3名. 災害時に備えた高齢者, 在宅療養者の食生活支援ネットワーク化への取り組み. 第50回日本栄養改善学会; 2003.9.16-18; 倉敷. 栄養学雑誌 2003; 50(5): 297.

岩永俊博, 平野かよ子, 曾根智史, 畑栄一, 藤原真一郎, 須藤紀子, 佐藤加代子, 渡邊志保, 大井田隆. 保健福祉従事者に対する国及び地方自治体での教育研修のあり方に関する研究—第1報—. 第62回日本公衆衛生学会総会; 2003.10.22-24; 京都. 日本公衆衛生雑誌 2003; 50(10 付): 409.

佐藤加代子, 須藤紀子, 平野かよ子, 曾根智史, 畑栄一, 藤原真一郎, 渡邊志保, 岩永俊博, 大井田隆. 保健福祉従事者に対する国及び地方自治体での教育研修のあり方に関する研究—第2報—. 第62回日本公衆衛生学会総会; 2003.10.22-24; 京都. 日本公衆衛生雑誌 2003; 50(10 付): 409.

鎌内ミチ子, 加藤和子, 佐藤加代子. 高度肥満児の保健指導技術開発の試み—第1報—生活改善教育モデルプログラムの開発. 第62回日本公衆衛生学会総会; 2003.10.22-24; 京都. 日本公衆衛生雑誌 2003; 50(10 付): 607.

加藤和子, 鎌内ミチ子, 佐藤加代子. 高度肥満児の保健指導技術開発の試み—第2報—生活改善教育モデルプログラムの開発. 第62回日本公衆衛生学会総会; 2003.10.22-24; 京都. 日本公衆衛生雑誌 2003; 50(10): 608.

石川紀子, 佐藤加代子, 田中寛, 岡部司, 竹下生子. 低出生体重児の栄養指導のあり方を考える. 第62回日本公衆衛生学会総会; 2003.10.22-24; 京都. 日本公衆衛生雑誌 2003; 50(10): 613.

須藤紀子, 曾根和枝, 杉浦泰夫, 西田美佐, 佐藤加代子, 吉池信男. ラオス北部の1山村における離乳に関する調査. 第50回日本小児保健学会; 2003.11.13-15; 鹿児島. 同講演集. 2003. p.510-1.

小林正子, 岡智康, 中村安秀, 高石昌弘. 育児支援や健康づくりのための母子健康手帳の効果的活用に関する研究. 第

62 回日本公衆衛生学会総会；2003.10.22-24；京都。日本公衆衛生雑誌 2003；50(10)：648.

小林正子，高石昌弘，三木とみ子，他。母子健康手帳と学校健康手帳の役割と活用に関する研究。第 50 回日本学校保健学会；2003.11.2-3；神戸。同講演集。2003. p.362-3.

斎藤久美，船越一恵，小林正子，他。小学生のボディ・イメージについての一考察。第 50 回日本学校保健学会；2003.11.2-3；神戸。同講演集。2003. p.126-7.

小林正子，中村安秀。母子健康手帳のさらなる活用に関する研究－保育園・幼稚園保護者の意見から－。第 50 回小児保健学会；2003.11.13-15；鹿児島。同講演集。2003. p.664-5.

林謙治，武村真治，兵井伸行，須藤紀子。諸外国における保健所等保健衛生組織の実態調査研究（その 1）－総論－。第 62 回日本公衆衛生学会総会；2003.10.22-24；京都。日本公衆衛生雑誌 2003；50(10 付)：416.

須藤紀子，兵井伸行，武村真治，林謙治。諸外国における保健所等保健衛生組織の実態調査研究（その 2）－アメリカの実態－。第 62 回日本公衆衛生学会総会；2003.10.22-24；京都。日本公衆衛生雑誌 2003；50(10 付)：416.

武村真治，須藤紀子，兵井伸行，林謙治。諸外国における保健所等保健衛生組織の実態調査研究（その 3）－イギリスの実態－。第 62 回日本公衆衛生学会総会；2003.10.22-24；京都。日本公衆衛生雑誌 2003；50(10 付)：417.

兵井伸行，武村真治，須藤紀子，林謙治。諸外国における保健所等保健衛生組織の実態調査研究（その 4）－韓国の実態－。第 62 回日本公衆衛生学会総会；2003.10.22-24；京都。日本公衆衛生雑誌 2003；50(10 付)：417.

その他学術報告（研究調査報告書含む）

田中哲郎。小児救急医療充実のための IT 技術を用いた遠隔診療による診療サポートシステムの検討。厚生労働科学研究費補助金医療技術評価総合研究事業「21 世紀における小児救急医療のあり方に関する研究」（主任研究者：田中哲郎）平成 14 年度研究報告書；2003. p.8-14.

田中哲郎，市川光太郎，山田至康，菅野好史，戸叶正義，俵邦夫，他。IT を用いた遠隔診療による小児救急支援システムの技術的課題についての検討。厚生労働科学研究費補助金医療技術評価総合研究事業「21 世紀における小児救急医療のあり方に関する研究」（主任研究者：田中哲郎）平成 14 年度研究報告書；2003. p.15-23.

田中哲郎，石井博子。保護者の望む小児救急医療体制。厚生労働科学研究費補助金医療技術評価総合研究事業「21 世紀における小児救急医療のあり方に関する研究」（主任研究者：田中哲郎）平成 14 年度研究報告書；2003. p.24-28.

田中哲郎，市川光太郎，山田至康。小児二次救急体制未整備医療圏にある救急告示病院施設長の小児救急支援システムに対する考え方。厚生労働科学研究費補助金医療技術評価総合研究事業「21 世紀における小児救急医療のあり方に関する研究」（主任研究者：田中哲郎）平成 14 年度研究報告書；2003. p.29-33.

田中哲郎。小児患者の特性と医療費の現状と推移。厚生労働科学研究費補助金医療技術評価総合研究事業「21 世紀における小児救急医療のあり方に関する研究」（主任研究者：田中哲郎）平成 14 年度研究報告書；2003. p.45-75.

田中哲郎，市川光太郎，山田至康，石井博子。小児科女性医師の勤務・育児環境に関する調査。厚生労働科学研究費補助金医療技術評価総合研究事業「21 世紀における小児救急医療のあり方に関する研究」（主任研究者：田中哲郎）平成 14 年度研究報告書；2003. p.76-98.

山田至康，市川光太郎，田中哲郎。臨床研修指定病院の研修医に対する意識調査。厚生労働科学研究費補助金医療技術評価総合研究事業「21 世紀における小児救急医療のあり方に関する研究」（主任研究者：田中哲郎）平成 14 年度研究報告書；2003. p.126-133.

田中哲郎，市川光太郎，山田至康。救命救急センターにおける小児の三次救急の現状。厚生労働科学研究費補助金医療技術評価総合研究事業「21 世紀における小児救急医療のあり方に関する研究」（主任研究者：田中哲郎）平成 14 年度研究報告書；2003. p.134-.

田中哲郎，市川光太郎，安藤昭和。子どもの事故防止プログラム－北九州地域における事故防止介入研究－。厚生労働科学研究補助金子ども家庭総合研究事業「子どもの事故防止と市町村への事故対策支援に関する研究」（主任研究者：田中哲郎）平成 14 年度研究報告書；2003.

田中哲郎，石井博子，市川光太郎。郵送用事故防止パンフレットの作成と保護者の考え方。厚生労働科学研究補助金子ども家庭総合研究事業「子どもの事故防止と市町村への事故対策支援に関する研究」（主任研究者：田中哲郎）平成 14 年度研究報告書；2003.

田中哲郎，内山有子，石井博子，亀井美登里，梅田勝。都道府県別の事故の現状。厚生労働科学研究補助金子ども家庭総合研究事業「子どもの事故防止と市町村への事故対策支援に関する研究」（主任研究者：田中哲郎）平成 14 年度研究報告書；2003.

田中哲郎，佐原康之，梅田勝。わが国に適した事故サーベイランス方法についての検討。厚生労働科学研究補助金子ども家庭総合研究事業「子どもの事故防止と市町村への事故対策支援に関する研究」（主任研究者：田中哲郎）平成 14 年度研究報告書；2003.

田中哲郎，石井博子，内山有子。幼児安全教育プログラムの評価。厚生労働科学研究補助金子ども家庭総合研究事業「子どもの事故防止と市町村への事故対策支援に関する研究」（主任研究者：田中哲郎）平成 14 年度研究報告書；2003.

内山有子，石井博子，亀井美登里，田中哲郎。子どもを事故でなくした保護者への精神的なサポートについての検討。厚生労働科学研究補助金子ども家庭総合研究事業「子どもの事故防止と市町村への事故対策支援に関する研究」（主任研究者：田中哲郎）平成 14 年度研究報告書；2003.

田中哲郎。二次医療圏毎の小児救急の現状調査－平成 14 年再調査結果－。厚生労働科学研究補助金「二次医療圏毎の

小児救急医療体制の現状等の評価に関する研究」平成 14 年度報告書；2003；5-11.

田中哲郎. 小児救急医療充実に必要な小児科医数の試算－二次医療圏毎に整備する可能性－. 厚生労働科学研究補助金医療技術評価総合研究事業「二次医療圏毎の小児救急医療体制の現状等の評価に関する研究」(主任研究者：田中哲郎) 平成 14 年度研究報告書；2003. p.12-22.

田中哲郎, 石井博子, 内山有子. 二次医療圏別の小児救急体制に関連する医師数・医療施設・救急体制・人口の検討. 厚生労働科学研究補助金医療技術評価総合研究事業「二次医療圏毎の小児救急医療体制の現状等の評価に関する研究」(主任研究者：田中哲郎) 平成 14 年度研究報告書；2003. p.23-43.

田中哲郎, 市川光太郎, 山田至康. 小児救急体制の充実に對する都道府県担当者の考え方. 厚生労働科学研究補助金医療技術評価総合研究事業「二次医療圏毎の小児救急医療体制の現状等の評価に関する研究」(主任研究者：田中哲郎) 平成 14 年度研究報告書；2003. p.44-50.

加藤則子, 主任研究者. 文部科学省科学研究費補助金「多胎児における妊娠期間別体重及び身長基準値の試作」平成 13～14 年度 基盤研究 c2 報告書；2003.

加藤則子. 研究の背景と意義(既存統計から). 児童環境づくり等総合調査研究事業「地域における児童の危機管理に関する調査研究」(主任研究者：詫間晋平) 平成 14 年度報告書. こども未来財団；2003. p.4-5.

加藤則子. シンガポールの保健衛生組織. 厚生労働科学研究費補助金厚生労働科学特別研究事業「諸外国における保健所等保健衛生組織の実態調査研究」(主任研究者：林謙治) 平成 14 年度総括研究報告書；2003. p.83-90.

加藤則子, 小林正子. 中学・高校生の行動の偏りの項目間の相互関係に関する研究. 厚生労働科学研究費補助金こころの健康科学研究事業「思春期における暴力行為の原因究明と対策に関する研究」(主任研究者：小林秀資) 平成 14 年度研究報告書；2003. p.151-63.

加藤則子. 0 歳から 20 歳までの身体発育基準. 厚生労働科学研究費補助金厚生労働科学特別研究事業「健康診査等指針の策定に関する調査研究」(主任研究者：久道茂) 平成 14 年度研究報告書；2003. p.31-3.

川口毅, 石本寛子, 天野奥津江, 加藤則子. 健康診断後の事後指導のあり方に関する研究. 厚生労働科学研究費補助金厚生労働科学特別研究事業「健康診査等指針の策定に関する調査研究」(主任研究者：久道茂) 平成 14 年度研究報告書；2003.

加藤則子. Microsoft Excel を用いた身体計測値のプロット方法に関する一案. 厚生労働科学研究子ども家庭総合研究事業「乳幼児から思春期まで一貫したこどもの健康管理のための母子健康手帳の活用に関する研究」(主任研究者：小林

正子) 平成 14 年度報告書；2003. p.134-6.

佐藤加代子, 石川紀子, 田中寛, 竹下生子, 岡部司. 育児不安軽減にむけた低出生体重児の栄養指導に関する研究. (主任研究者：板橋家頭夫) 平成 14 年度厚生科学研究. 子ども家庭総合研究事業, 育児不安の軽減に向けた低出生体重児の栄養のあり方に関する研究報告書. 2003；340-344

佐藤加代子, 伊藤幸子, 羽崎泰男, 近藤朗, 他. 厚生労働省地域保健推進特別事業高度肥満児の保健指導技法開発事業－神奈川県平塚保健福祉事務所・高度肥満児生活改善対策検討会委員. 「子どもの元気を育てる取組み－」平成 12 年度～14 年度報告書；2003. p.1-79.

佐藤加代子, 他. 平塚保健福祉事務所地域生活対策推進協議会委員. 給食施設緊急時対応マニュアル. 神奈川県平塚保健事務所・地域食生活対策推進協議会；2003. p.1-20.

佐藤加代子, 他. 厚木保健福祉事務所・地域生活対策推進協議会委員. 災害時に備えて, 高齢者・在宅療養者のための食生活ガイド. 神奈川県厚木保健事務所・地域食生活対策推進協議会；2003. p.1-51.

須藤紀子, 佐藤加代子. 中学・高校生の朝食摂取と午前中の自覚症状に関する調査. 厚生労働科学研究費補助金こころの健康科学研究事業「思春期における暴力行為の原因究明と対策に関する研究」(主任研究者：小林秀資) 平成 14 年度研究報告書；2003. p.9-82.

岩永俊博, 須藤紀子, 藤原真一郎, 渡邊志保, 久松由東, 畑栄一, 佐藤加代子. 厚生労働科学研究費補助金健康科学総合研究事業「保健福祉従事者に対する国及び地方自治体での教育研修のあり方に関する研究」(主任研究者：岩永俊博) 平成 14 年度分担研究報告書；2003. p.7-38.

小林正子. 厚生労働科学研究補助金子ども家庭総合研究事業「乳幼児から思春期まで一貫した子どもの健康管理のための母子健康手帳の活用に関する研究」(主任研究者：小林正子) 平成 14 年度総括研究報告書；2003. p.3-8.

小林正子. 母子健康手帳のさらなる活用に関する研究. 厚生労働科学研究補助金子ども家庭総合研究事業「乳幼児から思春期まで一貫した子どもの健康管理のための母子健康手帳の活用に関する研究」(主任研究者：小林正子) 平成 14 年度総括研究報告書；2003. p.9-83.

須藤紀子, 兵井伸行, 林謙治. アメリカ合衆国の保健衛生組織. 厚生労働科学研究費補助金厚生労働科学特別研究事業「諸外国における保健所等保健衛生組織の実態調査研究」(主任研究者：林謙治) 平成 14 年度総括研究報告書；2003. p.8-24.

須藤紀子, 佐藤加代子, 岩永俊博, 他. 公衆栄養コース修了者のまとめ. 厚生労働科学研究費補助金健康科学総合研究事業「保健福祉従事者に対する国及び地方自治体での教育研修のあり方に関する研究」(主任研究者：岩永俊博) 平成 14 年度分担研究報告書；2003. p.11-38

Proceedings with Abstracts

Tanaka T, Ishii H, Uchiyama Y, Umeda M, Kamei M.

The prevention of childhood injuries in the home in Japan. The Fourth European Convention in Safety

Promotion and Injury Control; April 2003; Paris, France.

Uchiyama Y, Tanaka T, Ishii H, Ikemi Y, Osaka F. Non-fatal childhood injury in Japan. The Fourth European Convention in Safety Promotion and Injury Control; April 2003; Paris, France.

Ishii H, Tanaka T, Uchiyama Y, Kobayashi I. Evaluation of Japanese home safety 100 checklist. The Fourth European Convention in Safety Promotion and Injury Control; April 2003; Paris, France.

Sudo N, Sekiyama M, Watanabe C, Ohtsuka R. Gender difference in food and energy intakes in Bangladeshi villages under arsenic hazard. The Fifth International Conference on Dietary Assessment Methods; January 2003; Chiang Rai, Thailand. Proceedings. E2.22.

Sudo N, Tanaka T. Accidents in childhood and adolescence. The fourth European Convention in Safety Promotion and Injury Control; April 2003; Paris, France. Proceedings. p.80.

福祉サービス部

Department of Health and Social Services

学術雑誌に発表した原著論文

筒井孝子, 東野定律. 介護保険制度実施後の痴呆性高齢者に対する在宅の家族介護の実態. 東京保健科学学会誌 2003; 5(4): 244-57.

筒井孝子, 東野定律. 急性期病棟の看護業務実態と患者の病態 (第3報) - 在院日数30日以内の患者群の年齢階層別, 疾病別, 入・退院時の状態比較 -. 病院管理 2003; 40(2): 39-50.

筒井孝子. 地域福祉権利擁護事業に携わる「専門員」の連携活動の実態と「連携活動評価尺度」の開発 (上). 社会保険旬報 2003; (2183): 18-24.

筒井孝子. 地域福祉権利擁護事業に携わる「専門員」の連携活動の実態と「連携活動評価尺度」の開発 (下). 社会保険旬報 2003; (2184): 24-8.

種田綾, 東野定律, 新田収, 筒井孝子, 中嶋和夫. 学齢脳性麻痺児の母親におけるニーズの構造. 東京保健科学学会誌 2003; 6(3): 224-30.

筒井孝子. 第三者評価における介護サービスの質と評価の意義. 訪問看護と介護 2003; 8(2): 95-102.

学術誌に発表した総説

増田雅暢. 少子化対策を考える. 社会保険旬報 2003; (2161): 24-30.

増田雅暢. 医療保険制度改革を考える. 社会保険旬報 2003; (2163): 14-20.

増田雅暢. 連立政権と介護保険法. 法の苑 2003; 41: 8-19.

増田雅暢. 社会保険制度改革と介護保険制度の見直し. 経営協 2003; 235: 7-10.

筒井孝子. 介護サービスの質の評価. 日本醫事新報 2003; (4122): 113-4.

著書

増田雅暢, 菊池馨実, 共編著. 介護リスクマネジメント. 東京: 旬報社; 2003年4月.

増田雅暢. 介護保険見直しの争点. 京都: 法律文化社; 2003年7月.

増田雅暢. 第9章 保健・医療. 三浦文夫, 編. 図説高齢

者白書 2003 年度版. 東京: 全国社会福祉協議会; 2003 年 11 月. p.110-121.

筒井孝子. 長寿科学振興財団, 編. 健やかに老いるために 2002 長寿科学総合研究の成果から. 東京: 長寿科学振興財団; 2003.3. p.48-9.

岩澤和子, 筒井孝子, 監修. 看護必要度 - 看護サービスの新たな評価基準. 東京: 日本看護協会出版会; 2003 年 8 月.

筒井孝子. 「看護必要度」の研究と応用 新しい看護管理システムのために. 東京: 医療文化社; 2003 年 10 月.

秋元美世, 大島巖, 芝野松次郎, 藤村正之, 森本佳樹, 筒井孝子, 編. 現代社会福祉辞典. 東京: 有斐閣; 2003 年 11 月.

抄録のある学会発表

増田雅暢. 介護保険の地域福祉政策と評価. 第26回日本計画行政学会; 2003.9.20-21; 仙台.

東野定律, 筒井澄栄, 筒井孝子. 地域福祉権利擁護事業における基幹的社会福祉協議会と介護保険担当課との連携の実態 - 全国基幹的社会福祉協議会「地域福祉権利擁護事業」実態調査の回収率 -. 日本地域福祉学会第17回大会; 2003.6.6-7; 高知. 同学会要旨集. 2003. p.249-50.

筒井孝子, 東野定律. 介護保険制度実施後の痴呆性高齢者に対する在宅の家族介護の実態. 日本社会福祉学会第51回全国大会; 2003.10.11-3; 大阪. 同学会要旨集. 2003. p.227.

筒井孝子. 東野定律. 地域保健・地域福祉活動における保健医療福祉専門職の連携活動を評価する尺度の開発. 第62回日本公衆衛生学会総会; 2003.10.22-24; 京都. 日本公衆衛生雑誌 2003; 50(10 付): 707.

筒井孝子, 東野定律. 特定集中治療室における「看護の集中度」評価尺度開発に関する研究 - 入室患者の状態と提供された看護内容別時間 -. 第41回日本病院管理学会学術総会; 2003.10.30-1; 東京. 同学会抄録集. 2003. p.227-8.

筒井孝子. 介護サービスにおける権利擁護の行政的評価に関する研究. 平成15年度厚生科学研究長寿科学総合研究成果発表会; 2003.12.10-1; 東京. 同発表会抄録集. 2003. p.1.

その他学術報告（研究調査報告書含む）

筒井孝子，主任研究者．厚生労働科学研究費補助金医療技術総合研究事業「急性期入院医療における医療および看護の集中度を基礎とした患者分類方法に関する研究」平成 14 年度研究報告書；2003.

筒井孝子．厚生科学研究費補助金長寿科学総合研究事業「介護サービスにおける権利擁護の行政的評価に関する研究」（主任研究者：大井田隆）平成 14 年度研究報告書；2003.

筒井孝子．厚生科学研究費補助金長寿科学総合研究事業「介護サービスにおける権利擁護の行政的評価に関する研究」（主任研究者：大井田隆）平成 12～14 年度総合研究報告書；2003.

筒井孝子．地域保健総合推進事業「保健師の質の向上に関

するヒアリング調査事業」平成 14 年度報告書；2003.

筒井孝子，山内豊明，主任研究者．厚生省保健局医療課による委託事業「看護必要度導入に関する調査研究」平成 14 年度報告書；2003.

筒井孝子，池本美香，牛丸聡，倉元直樹，戸瀬信之，永瀬伸子，他．日本における教育サービスの評価－Transparency と Accountability の確保のために－．日本自転車振興会補助事業「少子・高齢化社会における日本の選択～教育，福祉と経済の戦略」（委員長：西村和雄）平成 14 年度研究委員会報告書；2003. p.55-69.

筒井孝子，池田省三，浦坂純子，柴尾慶次，菅原弘子，関庸一，他．「天津市介護保険サービスの質の向上に関する研究事業」平成 14 年度報告書；2003 年 6 月.

Originals

Higashino S, Tsutsui T, Kirino M, Yajima Y, Kim Y, Nakajima K. Development of the family caregiver burden inventory(FCBI). International Journal of Welfare for the Aged 2003; 9: 3-14.

Proceedings with Abstracts

Higashino S, Tsutsui T. Research related to the

evaluation of long-term care service under the Long-term Care Insurance System -Changes in long-term care service provided to seniors presenting symptoms of dementia before and after the implementation of long-term care insurance-. The 7th Asia Oceania Regional Congress of Gerontology Congress Program; 2003 Nov 24-28; Tokyo. 2003. p.84.

口腔保健部

Department of Oral Health

学術雑誌に発表した原著論文

越田美穂子，青山旬．既存資料を利用した 2 歳児歯科健診事業の効果評価．厚生指標 2003；50(3)：21-7.

堀江博，青山旬．奈良県内の事業所における事業所規模と産業看護職の確保が産業歯科保健活動や喫煙対策に及ぼす影響．厚生指標 2003；50(11)：1-7.

神森秀樹，葭原明弘，安藤雄一，宮崎秀夫．健常高齢者における咀嚼能力が栄養摂取に及ぼす影響．口腔衛生学会雑誌 2003；53：13-22.

高野尚子，葭原明弘，安藤雄一，小川祐司，廣富敏伸，山賀孝之，花田信弘，宮崎秀夫．高齢者の根面う蝕の有病状況と歯冠う蝕との関連．口腔衛生学会雑誌 2003；53：592-9.

学術誌に発表した総説

安藤雄一，青山旬，花田信弘．口腔が健康状態に及ぼす影響と歯科保健医療．保健医療科学 2003；52(1)：23-33.

安藤雄一．メンテナンスの科学．The Quintessence 2003；22：1018-30.

花田信弘，安藤雄一．歯を残すことは「養生訓」につながるか 厚生科学研究 ―これまでの成果，そして今後の展望―．8020（はち・まる・にい・まる）2003；2：24-31.

安藤雄一．科学院レポート 科学院機関誌『保健医療科学』における口腔保健の特集．日本歯科評論 2003；(730)：22-4.

石井拓男，青山旬，安藤雄一，鳥山佳則．歯周疾患の経済的評価について．日本歯科評論．2003；63(8)：94-100.

青山旬．統計情報 3 平均婚姻年齢 その 2 ～同じ年生まれの状況は？ 公衆衛生情報 2003；33(3)：中綴じ 1-3.

青山旬．統計情報 6 管理栄養士の市町村常勤配置の都道府県格差を考えるー市区町村常勤配置率からー．公衆衛生情報．2003；33(6)：中綴じ 1-3.

青山旬．歯科診療所は日没まで診療しているのか？ 公衆衛生情報 2003；33(8)：中綴じ 1-3.

青山旬．国民の健康状態は？ー調査方法が異なる調査の結果を見比べるー．公衆衛生情報 2003；33(12)：中綴じ 1-3.

今井奨．キシリトールなどの効果は？ 日本歯科評論 2003；63(9)：13-5.

今井奨．あなたの質問に答えます（No.11）．歯科衛生士 2003；27：72-3.

今井奨．あなたの質問に答えます（No.14）．歯科衛生士 2003；28：84-5.

花田信弘，今井奨．エビデンスに基づいた歯周疾患の治療と予知への対応 唾液を用いた臨床検査の可能性について 本特集の意図するもの．日本歯科評論 2003；63(8)：53-4.

桐村和子，佐藤勉，野村義明，泉福英信，花田信弘．エビデンスに基づいた歯周疾患の治療と予知への対応，唾液を用いた臨床検査の可能性について 歯周疾患診断への唾液検査の導入．日本歯科評論 2003；63(8)：63-8.

花田信弘，森本基，宮武光吉．ICSII（WHO 第 2 回国際共同研究）報告書の概要/概論と研究の論点．日本歯科評論 2003；63(4)：180-6.

花田信弘, 森本基, 宮武光吉. ICSII (WHO 第2回国際共同研究) 報告書の概要/研究仮説の設定と方法論. 日本歯科評論 2003; 63(5): 188-92.

花田信弘, 森本基, 宮武光吉. ICSII (WHO 第2回国際共同研究) 報告書の概要/調査対象国と調査地区 (その1). 日本歯科評論 2003; 63(6): 186-91.

花田信弘, 森本基, 宮武光吉. ICSII (WHO 第2回国際共同研究) 報告書の概要/調査対象国と調査地区 (その2). 日本歯科評論 2003; 63(7): 192-6.

花田信弘, 森本基, 宮武光吉. ICSII (WHO 第2回国際共同研究) 報告書の概要/口腔保健に関わる各種統計の国際比較. 日本歯科評論 2003; 63(8): 188-92.

花田信弘, 森本基, 宮武光吉. ICSII(WHO 第2回国際共同研究)報告書の概要/医療制度の国際比較. 日本歯科評論 2003; 63(9): 174-8.

花田信弘, 森本基, 宮武光吉. ICSII (WHO 第2回国際共同研究) 報告書の概要/口腔保健に関する医療制度の国際比較. 日本歯科評論 2003; 63(11): 184-90.

花田信弘, 森本基, 宮武光吉. ICSII (WHO 第2回国際共同研究) 報告書の概要/口腔保健行動の国際比較. 日本歯科評論 2003; 63(12): 174-80.

花田信弘, Matin K. 口腔におけるバイオフィルムと全身疾患. The Bone 2003; 17(4): 345-50.

花田信弘, 小林修平. 口腔と全身の健康-8020 研究の現状. 栄養学レビュー (Nutrition Reviews 日本語版) 2003; 45: 67-72.

安藤雄一. 歯科保健における地域診断. ヘルスサイエンス・ヘルスケア 2003; 3: 34-8.

花田信弘. 社会契約論と我が国の公衆衛生政策. ヘルスサイエンス・ヘルスケア 2003; 3: 20-3.

著書

青山旬, 分担執筆. 第2編患者, 第3編歯科保健, 第4編医療. 瀬上清貴, 橋本修二, ほか編. 図説国民衛生の動向 2003. 東京: 厚生統計協会; 2003. p.65, 78, 80-85.

西沢俊樹, 監修, 花田信弘, 今井奨, 西原達次, 編集. 分子生物学歯科小事典. 東京: 口腔保健協会; 2003.

今井奨, 食品によるう蝕予防. 花田信弘, 監修. 今井奨, 西沢俊樹, 福島和雄, 武笠英彦, 編集. ミュータンスレンサ球菌の臨床生物学 臨床家のためのマニュアル. 東京: クインテッセンス出版; 2003. p.192-203.

野村義明, 花田信弘. バイオフィルムの検出技術. 花田信弘, 監修. 今井奨, 西沢俊樹, 福島和雄, 武笠英彦, 編集. ミュータンスレンサ球菌の臨床生物学 臨床家のためのマニュアル. 東京: クインテッセンス出版; 2003. p.48-53.

井田博久, 花田信弘, 佐藤勉, 由川英二. ミュータンスレンサ球菌選択培地の改良と新検査システムの確立. 花田信弘, 監修. 今井奨, 西沢俊樹, 福島和雄, 武笠英彦, 編集. ミュータンスレンサ球菌の臨床生物学 臨床家のためのマニュアル. 東京: クインテッセンス出版; 2003. p.62-80.

花田信弘. ミュータンスレンサ球菌の感染防止と除菌によるう蝕予防. 花田信弘, 監修. 今井奨, 西沢俊樹, 福島和雄, 武笠英彦編集. ミュータンスレンサ球菌の臨床生物学 臨床家のためのマニュアル. 東京: クインテッセンス出版; 2003. p.184-91.

安藤雄一. う蝕予防による経済効果. 花田信弘, 監修. 今井奨, 西沢俊樹, 福島和雄, 武笠英彦, 編集. ミュータンスレンサ球菌の臨床生物学 臨床家のためのマニュアル. 東京: クインテッセンス出版; 2003. p.220-31.

安藤雄一, 野村義明. う蝕予防の国内における動向. 花田信弘, 監修. 今井奨, 西沢俊樹, 福島和雄, 武笠英彦, 編集. ミュータンスレンサ球菌の臨床生物学 臨床家のためのマニュアル. 東京: クインテッセンス出版; 2003. p.250-70.

武内博朗, 金子昇, 野村義明, 花田信弘. う蝕のリスク診断: 唾液検査によってリスクはどこまでわかるか. 別冊 Quintessence Year Book 2003 現代の治療指針, 全治療分野とカリオロジー. 東京: クインテッセンス出版; 2003. p.106-7.

花田信弘. 除菌治療の考え方: 歯周治療におけるパラダイムシフトのために. 鴨井久一, 河田克之, 岩田哲也, 武内博朗, 編. ペリオ, この疾患にこの治療法の新展開. デンタルダイヤモンド増刊号 28(400). 東京: デンタルダイヤモンド社; 2003. p.108-11.

武内博朗, 花田信弘. 除菌治療の考え方: 歯周病のリスク低減治療. 鴨井久一, 河田克之, 岩田哲也, 武内博朗, 編. ペリオ, この疾患にこの治療法の新展開. デンタルダイヤモンド増刊号 28(400). 東京: デンタルダイヤモンド社; 2003. p.1215.

鴨井久一, 花田信弘. 唾液に含まれている酵素の検査. 歯科衛生士のための歯周治療検査読本. 東京: クインテッセンス出版; 2003. p.86-9.

花田信弘. 口臭について知っておきたい基礎知識. 宮崎秀夫, 八重垣健, 編. 口臭ケア: 要介護者の快適な生活のために. 東京: 医歯薬出版; 2003. p.32-9.

花田信弘. 福岡県はトップグループだった. 竹原直道, 編. 口腔保健活動の現状と展開 現場レポート 福岡県からひろがる取り組み. 福岡: 海鳥社; 2003. p.14-21.

花田信弘, 豊島義博. う蝕, 保存クリニカルガイド. 東京: 医歯薬出版; 2003. p.317-27.

花田信弘. 歯科保健行動. 伊達ちぐさ, 松村康弘, 編. 管理栄養士講座, 公衆衛生学. 東京: 建帛社; 2003. p.99-101.

花田信弘. 歯周病. 福井次矢, 小林修平, 編. 管理栄養士講座, 臨床医学概論. 東京: 建帛社; 2003. p.77-9.

花田信弘, 訳. う蝕に関する生体の修飾因子 う蝕の診断とリスク予測 実践編. Axelsson, Per, 著. 高江洲義矩, 監訳. 東京: クインテッセンス出版; 2003. p.95-146.

抄録のある学会報告

堀江博, 青山旬. 奈良県の事業所における事業所規模と産業看護職の確保が産業歯科保健活動や喫煙対策に及ぼす影

響. 第 14 回日本口腔衛生学会近畿・中国・四国地方会; 2003.7; 岡山.

青山旬, 軽部裕代, 市川裕美子, 小松崎明, 大内章嗣, 福田雅臣, 尾崎哲則, 安井利一, 末高武彦, 宮武光吉. 健康日本 21 地方計画における地域歯科保健計画の項目・内容の分析. 第 52 回日本口腔衛生学会総会; 2003.9.25-27; 北九州. 口腔衛生学会雑誌 2003; 53 (4 講演集): 512.

大山篤, 安藤雄一, 青山旬, 長田斉, 豊島義博, 野村義明, 深井穫博, 山田善裕, 秋本和宏, 相田潤, 斎藤健志, 高德幸男, 岩瀬達雄, 佐々木健, 大石憲一. 「地域歯科保健データバンク」構築の試み. 第 52 回日本口腔衛生学会総会; 2003.9.25-27; 北九州. 口腔衛生学会雑誌 2003; 53 (4 講演集): 513.

福田雅臣, 青山旬, 軽部裕代, 市川裕美子, 尾崎哲則, 安井利一, 末高武彦, 宮武光吉. 健康日本 21 地方計画における歯の健康指標の評価. 第 62 回日本公衆衛生学会総会; 2003.10.22-24; 京都. 日本公衆衛生雑誌 2003; 50(10 付): 289.

阿彦忠之, 佐伯和子, 青山旬, 麻原きよみ, 阿部絹子, 小林政子, 白田千代子, 林宏一, 村田昌子. 新任期の地域保健従事者の現任教育に関する実態調査 (第 1 報: 医師). 第 62 回日本公衆衛生学会総会; 2003.10.22-24; 京都. 日本公衆衛生雑誌 2003; 50(10 付): 433.

青山旬, 白田千代子, 佐伯和子, 阿彦忠之, 麻原きよみ, 阿部絹子, 小林政子, 林宏一, 村田昌子. 新任期の地域保健従事者の現任教育に関する実態調査 (第 2 報: 歯科医師, 歯科衛生士). 第 62 回日本公衆衛生学会総会; 2003.10.22-24; 京都. 日本公衆衛生雑誌 2003; 50(10 付): 433.

佐伯和子, 麻原きよみ, 村田昌子, 小林政子, 青山旬, 阿彦忠之, 阿部絹子, 白田千代子, 林宏一. 新任期の地域保健従事者の現任教育に関する実態調査 (第 3 報: 保健師). 第 62 回日本公衆衛生学会総会; 2003.10.22-24; 京都. 日本公衆衛生雑誌 2003; 50(10 付): 434.

林宏一, 阿部絹子, 佐伯和子, 青山旬, 麻原きよみ, 阿彦忠之, 小林政子, 白田千代子, 村田昌子. 新任期の地域保健従事者の現任教育に関する実態調査 第 4 報 管理栄養士・栄養士. 第 62 回日本公衆衛生学会総会; 2003.10.22-24; 京都. 日本公衆衛生雑誌 2003; 50(10 付): 434.

大峰秀樹, 志賀正三, 鈴木明夫, 山本光昭, 青山旬. 定期歯科健康診査定着事業の実施結果について. 第 62 回日本公衆衛生学会総会; 2003.10.22-24; 京都. 日本公衆衛生雑誌 2003; 50(10 付): 291.

安藤雄一, 大山篤, 山田善裕, 青山旬, 深井穫博, 長田斉, 大石憲一, 佐々木健, 相田潤. 「地域歯科保健データバンク」構築の試み. 第 62 回日本公衆衛生学会総会; 2003.10.22-24; 京都. 日本公衆衛生雑誌 2003; 50(10 付): 793.

谷畑健生, 簗輪眞澄, 塚本泰明, 利部輝雄, 赤座英之, 野口昌良, 守殿貞夫, 香川征, 内藤誠二, 熊本悦明, 青山旬. わが国における性感染症の若年者の動向. 第 62 回日本公衆衛生学会総会; 2003.10.22-24; 京都. 日本公衆衛生雑誌

2003; 50(10 付): 835.

鶴本明久, 深井穫博, 安藤雄一, 川口陽子, 高江洲義矩. フッ化物洗口プログラム普及に関する構造モデル. 第 52 回日本口腔衛生学会総会; 2003.9.25-27; 北九州. 口腔衛生学会雑誌 2003; 53 (4 講演集): 481.

野村義明, 石井拓男, 池主憲夫, 米満正美, 岡田真人, 安藤雄一, 他. テキストマイニングによる住民参加型の歯科保健事業の実態基礎調査の分析. 第 52 回日本口腔衛生学会総会; 2003.9.25-27; 北九州. 口腔衛生学会雑誌 2003; 53 (4 講演集): 441.

石井拓男, 池主憲夫, 米満正美, 岡田真人, 安藤雄一, 大内善嗣, 他. 住民参加型地域保健活動事業における NPO 法人との連携に関する研究. 第 52 回日本口腔衛生学会総会; 2003.9.25-27; 北九州. 口腔衛生学会雑誌 2003; 53 (4 講演集): 440.

佐々木健, 安藤雄一, 筒井昭仁, 藤好未陶, 中村譲治, 松岡奈保子, 他. ヘルスプロモーション自由集会に参加した本学会員は質的調査研究をどのように捉えているか. 第 52 回日本口腔衛生学会総会; 2003.9.25-27; 北九州. 口腔衛生学会雑誌 2003; 53 (4 講演集): 423.

安藤雄一, 高德幸男, 峯田和彦, 葭原明弘, 宮崎秀夫, 市町村における歯科保健計画策定の支援を目的としたモデル調査事業の有用性. 第 52 回日本口腔衛生学会総会; 2003.9.25-27; 北九州. 口腔衛生学会雑誌 2003; 53 (4 講演集): 420.

野村義明, 石井拓男, 池主憲夫, 米満正美, 岡田真人, 安藤雄一, 他. 住民参加型保健活動事業の成功要因の分析. 第 52 回日本口腔衛生学会総会; 2003.9.25-27; 北九州. 口腔衛生学会雑誌 2003; 53 (4 講演集): 394.

今井奨. シンポジウム 口腔保健における臨床検査技術の最前線 う蝕臨床検査技術の現状と問題点. 第 52 回日本口腔衛生学会総会; 2003.9.25-27; 北九州. 口腔衛生学会雑誌 2003; 53 (4 講演集): 305-9. (シンポジウム).

薄井由枝, 今井奨, 樋出守世, 西沢俊樹, 花田信弘, 植松宏. *Actinomyces viscosus* と *Actinomyces naeslundii* による象牙質脱灰の経時的変化. 第 52 回日本口腔衛生学会総会; 2003.9.25-27; 北九州. 口腔衛生学会雑誌 2003; 53 (4 講演集): 350.

鴨田剛司, 今井敏夫, 佐藤勉, 樋出守世, 西沢俊樹, 今井奨, 花田信弘. 人工口腔装置における *S. mutans* および *S. sobrinus* のう蝕原性要因の比較. 第 52 回日本口腔衛生学会総会; 2003.9.25-27; 北九州. 口腔衛生学会雑誌 2003; 53 (4 講演集): 351.

花田信弘. シンポジウム 「バイオフィームと口腔疾患」 バイオフィームとう蝕. 第 17 回 Bacterial Adherence & Biofilm 学術集会; 2003.7; 岡山. (シンポジウム)

武内博朗, 井田亮, 野呂浩美, 早川浩生, 奥田健太郎, 由川英二, 野村義明, 泉福英信, 花田信弘. 3DS (Dental Drug Delivery System) によるミュータンスレンサ球菌の臨床的除菌法の問題点と対策. 第 52 回日本口腔衛生学会総会;

2003.9.25-27; 北九州. 口腔衛生学会雑誌 2003; 53 (4 講演集): 354.

野村義明, 西川原総生, 田中とも子, 北田加代美, 佐藤勉, 鶴本明久, 花田信弘. イギリスの歯磨剤. 第 52 回日本口腔衛生学会総会; 2003.9.25-27; 北九州. 口腔衛生学会雑誌 2003; 53 (4 講演集): 395.

田中とも子, 北田加代美, 野村義明, 泉福英信, 佐藤勉, 花田信弘, 桐村和子, 鴨井久一. 唾液を用いた歯周疾患診断のために臨床検査の可能性. 第 3 報. 疫学診断応用のためのアンケート調査結果の分析. 第 52 回日本口腔衛生学会総会; 2003.9.25-27; 北九州. 口腔衛生学会雑誌 2003; 53 (4 講演集): 400.

中村諭, 佐藤勉, 泉福英信, 花田信弘, 由川英二, 井田博久. 定期的な口腔ケアを実施している特別養護老人ホーム入所者 (4 施設) における口腔微生物検出状況. 第 52 回日本口腔衛生学会総会; 2003.9.25-27; 北九州. 口腔衛生学会雑誌 2003; 53 (4 講演集): 414.

岡田淳一, 松久保隆, 杉原直樹, 小林義昌, 山内幸司, 花田信弘. モノクローナル抗体を応用した *S. mutans* の迅速検出キットの評価. 第 52 回日本口腔衛生学会総会; 2003.9.25-27; 北九州. 口腔衛生学会雑誌 2003; 53 (4 講演集): 445.

北田加代美, 田中とも子, 野村義明, 泉福英信, 佐藤勉, 花田信弘, 桐村和子, 鴨井久一. 唾液を用いた歯周疾患診断のための臨床診断の可能性. 第 2 報. 歯周疾患治療に対する予後因子の解析. 第 52 回日本口腔衛生学会総会; 2003.9.25-27; 北九州. 口腔衛生学会雑誌 2003; 53 (4 講演集): 490.

野村義明, 田中とも子, 北田加代美, 泉福英信, 花田信弘, 佐藤勉, 桐村和子, 鴨井久一. 唾液を用いた歯周疾患診断のための臨床診断の可能性. 第 1 報. 基準値設定のための解析. 第 52 回日本口腔衛生学会総会; 2003.9.25-27; 北九州. 口腔衛生学会雑誌 2003; 53 (4 講演集): 491.

野村義明, 花田信弘, 鶴本明久, 熊谷崇. データマイニングによる齲蝕発症予測モデルの構築. 第 52 回日本口腔衛生学会総会; 2003.9.25-27; 北九州. 口腔衛生学会雑誌 2003; 53 (4 講演集): 492.

竹腰正隆, 前田史子, 矢野明. ウイルス中和ヒト抗体の植物での生産の試み. 第 51 回日本ウイルス学会学術集会・総会; 2003.10.27-29; 京都. 同講演集. 2003. p.110.

矢野明, 西澤俊樹. 経鼻ペプチドワクチンおよび経鼻ペプチドアジュバントに関して. 第 7 回日本ワクチン学会学術集会; 2003.10.18-19; 名古屋. 同講演集. 2003. p.39.

矢野明, 小野塚温子, マティン・カイルール, 三輪尚克, 今井奨, 花田信弘, 西澤俊樹. アジュバントを必要としないペプチド抗原の設計方法に関して. 第 76 回日本細菌学会総会; 2003.4.1-3; 熊本. 2003. 日本細菌学会雑誌 2003; 58: 264.

小野塚温子, 矢野明, マティン・カイルール, 三輪尚克, 今井奨, 花田信弘, 西澤俊樹. 鼻腔免疫用ペプチドアジュバ

ントに関して. 第 76 回日本細菌学会総会; 2003.4.1-3; 熊本. 2003. 日本細菌学会雑誌 2003; 58: 263.

花田信弘. ミュータンスレンサ球菌の伝播, 感染とその対策. 第 118 回日本歯科保存学会 2003 年度春季学会; 2003.6.5-6; 松戸. 日本歯科保存学会雑誌 2003; 46 (Spring Issue): 2. (特別講演)

花田信弘, シンポジウム「急性期の歯周病をどう捉えるか」: 成り立ち—微生物の観点から. 第 12 回日本口腔感染症学会総会; 2003.11.29; 東京. 同プログラム・講演抄録. p14.

西牟田守, 児玉直子, 森國英子, 吉武裕, 宮崎秀夫, 花田信弘. 尿ミネラル測定による高齢者のミネラル不足判定法. 第 21 回日本マグネシウム研究会総会; 2001.11.17; 京都.

西川原総生, 野村義明, 花田信弘, 千田彰. 簡易キットを用いた歯蝕原性菌の検出. 第 63 回愛知学院大学歯学会学術大会; 2003.12; 名古屋. 愛知学院大学歯学会誌 2003; 41: p.572.

その他学術報告 (研究調査報告書含む)

安藤雄一, 主任研究者. 厚生労働科学研究補助金健康科学総合研究事業「歯科保健水準を系統的に評価するためのシステム構築に関する研究」. 課題番号 H13-健康-005. 平成 14 年度総括・分担報告書; 2003.

安藤雄一, 豊島義博, 筒井昭仁, 宮崎秀夫. フロリデーション (水道水フッ化物添加) に関するシステムティックレビューの検討. 厚生労働科学研究費補助金医療技術評価総合研究事業「歯科疾患の予防技術・治療評価に関するフッ化物応用の総合的研究」(主任研究者: 高江洲義矩. 課題番号 H12-医療-003) 平成 14 年度研究報告書; 2003. p.251-68.

鶴本明久, 深井穂博, 安藤雄一, 川口陽子. フッ化物洗口プログラム普及のための構造モデル—MIDORI モデルによる分析—. 厚生労働科学研究費補助金医療技術評価総合研究事業「歯科疾患の予防技術・治療評価に関するフッ化物応用の総合的研究」(主任研究者: 高江洲義矩. 課題番号 H12-医療-003) 平成 14 年度研究報告書; 2003. p.232-50.

石井拓男, 安藤雄一, 青山旬, 鳥山佳則. 歯周疾患の予防, 歯周疾患の経済的評価に関する研究 —市町村における 11 年間の老人保健事業の実施状況と歯科医療費データの関連—. 厚生労働科学研究費補助金医療技術評価総合研究事業「歯周疾患の予防技術・治療評価に関する研究」(主任研究者: 鴨井久一) 平成 14 年度総括・分担研究報告書; 2003. p.98-109.

才藤栄一, 園田茂, 鈴木美保, 花田信弘, 安藤雄一, 野村義明, 他. 「歯科治療による高齢者の身体機能の改善」に関する研究. 厚生労働科学研究費補助金医療技術評価総合研究事業「口腔保健と全身的健康状態の関係について」(主任研究者: 小林修平. 課題番号 H13-医療-001) 平成 14 年度総括・分担研究報告書; 2003. p.202-33.

飯嶋理, 柳川忠廣, 中村宗達, 安藤雄一. 8020 に向けて. 歯科診療所における歯周病予防管理機能の促進に関する歯科医師調査. 8020 推進財団 平成 14 年度 8020 公募研究事

業研究報告書；2003. p.61-74.

安藤雄一, フッ化物, 調査研究「母子保健改善のための微量栄養素欠乏に関する援助研究」報告書 母と子の微量栄養素欠乏をなくすために ―小さじ一杯で育まれる母子の健康―, 国際協力事業団国際協力総合研究所；2003. p.81-3.

青山旬, 平成 14 年度厚生統計研究「地域における新たな保健指標の作成に関する検討」研究報告書；2003. p.1-66.

青山旬, 3. 健康日本 21・歯の健康―現状と目標値― 1) 歯の喪失防止. 8020 資料集(編集:末高武彦)；2003. p.13-20.

青山旬, 白田千代子, 結果 2) 歯科医師, 5) 歯科衛生士, 平成 14 年度地域保健総合推進事業「地域保健従事者資質向上検討会のための調査研究報告書」；2003.

青山旬, 結果 6) 放射線技師, 理学療法士, 作業療法士, 精神保健福祉士, 他, 平成 14 年度地域保健総合推進事業「地域保健従事者資質向上検討会のための調査研究報告書」；2003.

青山旬, 地域歯科保健計画目標の到達可能性の推計, 厚生労働科学研究費補助金健康科学総合研究事業「健康日本 21・歯の健康における健康指標の開発とその評価に関する研究」(主任研究者:宮武光吉)；2003. p.29-33.

今井奨, 人工口腔装置による食材, 食品の機能性評価方法の確立, 厚生労働科学研究費補助金食品・化学物質安全総合研究事業「特定保健用食材の安全性および有用性に関する研究」(主任研究者:花田信弘) 平成 14 年度総括・分担研究報告書；2003. p.14-21.

花田信弘, 今井奨, ミュータンスレンサ球菌に及ぼす乳成分の抗菌効果について, 平成 14 年度委託研究報告書；2003.

花田信弘, 今井奨, ビール関連素材の口腔保健機能に関する研究, 平成 14 年度委託研究報告書, 2003.

矢野明, 創薬等ヒューマンサイエンス総合研究事業若手研究者奨励研究「植物による医療用タンパク質生産系開発に関する研究」平成 14 年度報告書；2003. p.1-3.

江藤亜紀子, 創薬等ヒューマンサイエンス総合研究事業若手研究者奨励研究「口腔感染症への臨床応用を目的とした抗菌ペプチドの定量系の確立」課題番号 KH53120 平成 14 年度報告書；2003.

花田信弘, 口腔微生物と全身の健康に関する研究, 厚生労働科学研究費補助金医療技術評価総合研究事業「口腔保健と全身的健康状態の関係について」(主任研究者:小林修平, 課題番号 H13-医療-001) 平成 14 年度総括・分担研究報告書, 千葉:小林修平；2003. p.234-315.

花田信弘, 主任研究者, 厚生労働科学研究費補助金食品・化学物質安全総合研究事業「特定保健用食材の安全性および有用性に関する研究」(課題番号 H13-生活-038) 平成 14 年度総括・分担研究報告書, 東京:花田信弘；2003.

花田信弘, 歯周膿瘍関連菌の唾液からの検出, 日本学術振興会科学研究費補助金・基盤研究(A)(1)「唾液を用いた歯周病検査の開発」(主任研究者:栗原英見, 課題番号 12357014) 平成 12・13 年度展開研究成果報告書, 広島:栗原英見；2003. p.615.

視聴覚資料やデジタル媒体などによる研究成果

青山旬, 分担執筆, 図説国民衛生の動向 2003 CD-ROM 版, 東京:厚生統計協会；2002.

Originals

Takano N, Ando Y, Yoshihara A, Miyazaki H. Factors associated with root caries incidence in an elderly population. Community Dent Health 2003; 20: 217-22.

Senpuku H, Sogame A, Inoshita E, Tsuha Y, Miyazaki H, Hanada N. Systemic diseases in association with microbial species in oral biofilm from elderly requiring care. Gerontology 2003 ; 49 : 301-9.

Inaba D, Minami K, Kamasaka H, Kuriki T, Imai S, and Yonemitsu M. Intraoral effects of phosphoryl-oligosaccharide calcium on remineralization of enamel lesions. J Dental Health 2003; 53: 8-12.

Yano A, Onozuka A, Matin K, Imai S, Hanada N, Nisizawa T. RGD motif enhances immunogenicity and adjuvanticity of peptide antigens following intranasal immunization. Vaccine 2003 ; 22 : 237-43.

Tada A, Watanabe T, Yokoe H, Hanada N, Tanzawa H. Relationship between the number of remaining teeth and physical activity in community-dwelling elderly. Arch Gerontol Geriatr 2003; 37: 109-17.

Morita E, Narikiyo M, Yano A, Nishimura E, Igaki H, Sasaki H, Terada M, Hanada N, Kawabe R. Different

frequencies of *Streptococcus anginosus* infection in oral cancer and esophageal cancer. Cancer Sci 2003; 94: 492-6.

Kawashima M, Hanada N, Hamada T, Tagami J, Senpuku H. Real-time interaction of oral streptococci with human salivary components. Oral Microbiol Immunol 2003; 18: 220-5.

Nakao R, Hanada N, Asano T, Hara T, Abdus Salam M, Matin K, Shimazu Y, Nakasone T, Horibata S, Aoba T, Honda M, Amagasa T, Senpuku H. Assessment of oral transmission using cell-free human immunodeficiency virus-1 in mice reconstituted with human peripheral blood leucocyte. Immunology 2003; 109: 271-82.

Matin K, Senpuku H, Hanada N, Ozawa H, Ejiri S. Bone regeneration by recombinant human bone morphogenetic protein-2 around immediate implants: a pilot study in rats. Int J Oral Maxillofac Implants 2003; 18: 211-7.

Yoshihara A, Hanada N, Miyazaki H. Association between serum albumin and root caries in community-dwelling older adults. J Dent Res 2003; 82: 218-22.

Fujita M, Into T, Yasuda M, Okusawa T, Hamahira S,

Kuroki Y, Eto A, Nisizawa T, Morita M, Shibata K. Involvement of leucine residues at positions 107, 112, and 115 in a leucine-rich repeat motif of human toll-like receptor 2 in the recognition of diacylated lipoproteins and lipopeptides and *Staphylococcus aureus* peptidoglycans. *J Immunol* 2003; 171: 3675-83.

Proceedings with Abstracts

Imai S, Matsunaga M, Kanda T, Nishizawa T, Hanada N. Inhibitory effect of hop bract polyphenols against artificial biofilm formation and enamel demineralization by mutans streptococci. 81st General Session of the International Association for Dental Research (IADR); 2003 June.25-28; Göteborg, Sweden. *J Dent Res* 2003; 82 (Special Issue B): B-70.

Minami K, Inaba D, Kamasaka H, Imai S, Yonemitsu M. Intra-oral effect of phosphoryl-oligosaccharide calcium (POs-Ca) on remineralization of enamel and dentin. 81st General Session of the International Association for Dental Research (IADR); 2003 June.25-28; Göteborg, Sweden. *J Dent Res* 2003; 82 (Special Issue B): B-138.

Kamasaka H, Inaba D, Minami K, Kuroki Y, To-o K, Nishimura T, Kuriki T, Imai S, Yonemitsu M. Assessment of enamel remineralization using whole saliva collected from children by chewing gum containing calcium salt of phosphoryl-oligosaccharides (POs-Ca). 81st General Session of the International Association for Dental Research (IADR); 2003 June.25-28; Göteborg, Sweden. *J Dent Res* 2003; 82 (Special Issue B): B-139.

Yoshihara A, Hanada N, Miyazaki H. A longitudinal study of the relationship between periodontal disease and bone mineral density in community-dwelling older adults. 81st General Session of the International Association for Dental Research (IADR); 2003 June.25-28; Göteborg, Sweden. *J Dent Res* 2003; 82 (Special Issue B): B-38.

Arakawa T, Ishizaki T, Hayman RE, Hanada N, Senpuku H. Interaction of small crystal form of hydroxyapatite with mutans streptococci. 81st General Session of the International Association for Dental Research (IADR); 2003 June.25-28; Göteborg, Sweden. *J Dent Res* 2003; 82 (Special Issue B): B-81.

Senpuku H, Tsuha Y, Salam MA, Hanada N. Relation of *Streptococcus mutans* on the tooth surface in microgravity. 81st General Session of the International Association for Dental Research (IADR); 2003 June.25-28; Göteborg, Sweden. *J Dent Res* 2003; 82 (Special Issue B): B-81.

Nakao R, Amagasa T, Aoba T, Hanada N, Senpuku H. Assessment of oral transmission using cell-free HIV in

mouse models reconstituted with human peripheral blood leukocytes. 81st General Session of the International Association for Dental Research (IADR); 2003 June.25-28; Göteborg, Sweden. *J Dent Res* 2003; 82 (Special Issue B): B-220.

Nomura Y, Tsurumoto A, Hanada N, Kumagai T. Dental caries prediction model by data-mining. 81st General Session of the International Association for Dental Research (IADR); 2003 June.25-28; Göteborg, Sweden. *J Dent Res* 2003; 82 (Special Issue B): B-271.

Tsuha Y, Salam MA, Hanada N, Kurosaki N, Senpuku H. DRB1 Genotypes associated with indication of the inhibiting antibody to *Streptococcus mutans* in humans. 81st General Session of the International Association for Dental Research (IADR); 2003 June. 25-28; Göteborg, Sweden. *J Dent Res* 2003; 82 (Special Issue B): B-271.

Motegi M, Takagi Y, Sato T, Tanaka T, Hanada N, Senpuku H. The current status of oral transmission of *S. mutans* from mother to 3-year-old child in Japan. 81st General Session of the International Association for Dental Research (IADR); 2003 June.25-28; Göteborg, Sweden. *J Dent Res* 2003; 82 (Special Issue B): B-360.

Salam MA, Tsuha Y, Nakao R, Matsumoto N, Hanada N, Senpuku H. Human T-cell responses to oral biofilm bacteria in humanized NOD/SCID mice. 81st General Session of the International Association for Dental Research (IADR); 2003 June.25-28; Göteborg, Sweden. *J Dent Res* 2003; 82 (Special Issue B): B-378.

Yoshihara A, Watanabe R, Nishimura M, Hanada N, Miyazaki H. The relationship between dental disease and nutrient values in the elderly. 52nd Annual Meeting, Japanese Association for Dental Research (JADR); 2003 Dec. 1-2; Osaka. *J Dent Res* 2003; 82 (Special Issue C): C-424.

Aoyama H. Health interview survey and its application to a health policy. International Conference of National Health Interview Survey; 2003 Dec. 12-13; Taipei, ROC. 2003. p.42-55.

Matin K, Yano A, Rahmatullah I, Chowdhury TZ, Zaman S, Tagami J, Hanada N. Quantification of oral streptococci in saliva of Bangladeshi school children to evaluate caries risk. 10th Asian Conference on diarrhoeal diseases and nutrition (Theme: Improving Child Health and Nutrition); 2003 Dec.; Dhaka. 2003. p.140.

Yano A, Maeda F, Takekoshi M. Expression of the anti-HBs human IgG in tobacco suspension cultures. 7th International Congress of Plant Molecular Biology; 2003 June.; Barcelona. Proceedings. 2003. p.379.

生活環境部

Department of Environmental Health

学術雑誌に発表した原著論文

山神真紀子, 大場和生, 大野隆史, 北瀬勝, 酒井哲男, 渡辺征夫. 二酸化硫黄の大気中平均濃度と推定排出量との関係から見かけの空間希釈容量の試算 [名古屋市での9年間のデータから]. 大気環境学会誌 2003; 38: 13-25.

渡辺征夫, 工藤雅子, 寺島千晶, 山崎一彦, 秋田良子, 古野正浩, 他. 焼却炉排ガス中のクロロフェノール類の液体クロマトグラフィーによる連続測定, (1)採取・分析条件の検討と凝縮水捕集型/自動連続測定装置の開発. 環境化学 2003; 13: 739-52.

学術誌に発表した総説

大久保千代次, 杉山英男, 山口一郎, 緒方裕光. 国立保健医療科学院における放射線・放射能に関する研究と教育. 保健物理 2003; 38: 211-5.

福田篤志, 安井清, 岩館美晴, 坂本康夫, 山口一郎. Phosphorus-32 を用いた冠状動脈血管内放射線治療における従事者被曝-臨床において活用できる防護法について. 日本放射線技術学会雑誌 2003; 59(8): 921-6.

著書

大久保千代次. 超低周波電磁界の健康リスク評価の動向. 上野照剛, 編. 生体と電磁界. 東京: 学会出版センター; 2003. p.295-321.

大久保千代次. 電磁界のリスクに関する対話の確立 (和訳). WHO 国際電磁界プロジェクト. ジュネーブ: WHO; 2003.

渡辺征夫. 大気試料の採取・前処理方法. 竹内均, 監修. 地球環境調査計測事典 第2巻 陸域編 2. 東京: フジテクノシステム; 2003. p.939-49.

医療放射線管理測定マニュアル編集委員会 (山口一郎). 医療放射線管理測定マニュアル. 東京: 医療放射線防護連絡協議会; 2003.

抄録のある学会発表

岡野英幸, 大久保千代次. ミリテスラレベルの静磁場が高血圧自然発症ラットに及ぼす影響. 日本生体磁気学会大会; 2003.5.30-31; 池田, 大阪. 日本生体磁気学会誌 2003; 16号 特別号 (第18回論文集): 72-3.

本間恭二, 森田充彦, 志田卓, 牛山明, 大久保千代次, 安村和彦, 他. ビスホスホネート投与による腫瘍血管透過性への影響. 日本機械学会第15回バイオエンジニアリング学術講演会; 2003.1.21-22; 大阪.

森田充彦, 本間恭二, 志田卓, 牛山明, 大久保千代次, 安村和彦, 他. 腫瘍血管新生によって形成された微小血管の3次元形態解析. 日本機械学会第15回バイオエンジニアリング学術講演会; 2003.1.21-22; 大阪.

谷下一夫, 本間恭二, 竹松浩二, 安村和彦, 牛山明, 大久保千代次. 腫瘍血管の物質移動のバイオメカニクス. 第28回日本微小循環学会総会; 2003.2.13-14; 東京. (ワークショップ) 第28回日本微小循環学会総会プログラム抄録集. 2003. p.45.

廣田彰吾, 増田宏, 牛山明, 大久保千代次, 和氣加奈子, 渡辺聡一, 他. 電磁波慢性暴露の脳軟膜微小循環動態に及ぼす影響. 第28回日本微小循環学会総会; 2003.2.13-14; 東京. 第28回日本微小循環学会総会プログラム抄録集. 2003. p.64.

牛山明, 増田宏, 大久保千代次. 超低周波電磁界暴露による移植脳腫瘍の増殖および血管新生に及ぼす影響. 第28回日本微小循環学会総会; 2003.2.13-14; 東京. 第28回日本微小循環学会総会プログラム抄録集. 2003. p.75.

森田充彦, 本間恭二, 志田卓, 谷下一夫, 牛山明, 大久保千代次, 他. 腫瘍血管新生によって構築された微細血管の3次元形態解析. 第28回日本微小循環学会総会; 2003.2.13-14; 東京. 第28回日本微小循環学会総会プログラム抄録集. 2003. p.75.

牛山明, 増田宏, 大久保千代次. 商用周波電磁界暴露の脳腫瘍微小循環に及ぼす生体顕微鏡の影響評価. 電気学会マグネティクス研究会; 2003.1.27-28; 弘前. 同論文集. 2003. p.27-30.

杉山英男, 福本敦, 桑原千雅子, 柴田尚, 寺田宙, 加藤文男. キノコのCs高濃縮性とアルカリおよびアルカリ土類元素の存在. 日本薬学会第123年会; 2003.3.27-29; 長崎. 同要旨集 3. 東京: 日本薬学会; 2003. p.173.

桑原千雅子, 福永菜穂, 横山香, 福本敦, 柴田尚, 杉山英男, 加藤文男. キノコ生息基質より分離した放線菌とそのCs高度耐性変異株におけるCs取込へのpHならびにアルカリ元素存在の影響. 第123年会日本薬学会; 2003.3.27-29; 長崎.

米谷民雄, 福島浩人, 渡辺均, 手島玲子, 磯村公郎, 杉山英男, 池淵秀治, 佐藤英郎. 放射性物質試験法 ICP/質量分析法によるプルトニウムの定量. 第123年会日本薬学会; 2003.3.27-29; 長崎.

後藤智美, 伊藤裕子, 岡尚男, 斉藤勲, 松本浩, 永瀬久光, 杉山英男, 大久保千代次, 中澤裕之. LC/MS/MS による果実中カーバメート系農薬のハイスループット分析. 日本食品衛生学会第86回学術講演会; 2003.10; 盛岡.

寺田宙, 緒方裕光, 杉山英男, 横浜検疫所輸入食品・検疫検査センター, 神戸検疫所輸入食品・検疫検査センター. 国立保健医療科学院における食品中の放射能調査・評価. 第40回全国衛生化学技術協議会年会; 2003.11.13-14; 和歌山. 同講演集. 和歌山: 第40回全国衛生化学技術協議会年会事務局; 2003. p.80-1.

福田篤志, 安井清, 岩館美晴, 坂本康夫, 山口一郎, 富樫

厚彦. Flat Panel Detector 搭載型血管造影装置に表示される線量計算値の不確かさの評価. 第 59 回日本放射線技術学会学術大会; 2003.4.11-13; 横浜. 同予稿集. 東京: 日本放射線技術学会; 2003. p.146-7.

諸澄邦彦, 山口一郎, 小林育夫. アンギオ-CT における術者の被曝線量測定と評価. 日本保健物理学会第 37 回研究発表会; 2003.6.16-17; 千葉. 同講演要旨集. 千葉: 日本保健物理学会; 2003. p.31.

山口一郎, 緒方裕光. 皮下組織に残留した放射性同位元素による皮膚被曝線量のモンテカルロ法を用いた推計. 日本保健物理学会第 37 回研究発表会; 2003.6.16-17; 千葉. 同講演要旨集. 千葉: 日本保健物理学会; 2003. p.129.

山口一郎, 古井滋, 岡崎正敏, 中村仁信, 坂本力, 石口恒男, 竹部英紀, 諸澄邦彦. IVR における患者被曝その低減策の検討. 第 15 回関東 IVR 学会; 2003.7.12; 東京. 同抄録集. 東京: 関東 IVR 研究会; 2003. p.22.

山岸正文, 真田茂, 古井滋, 岡崎正敏, 中村仁信, 坂本力, 石口恒男, 竹部英紀, 諸澄邦彦, 山口一郎. IVR 実施 4 施設における患者の被曝線量. 第 60 回日本放射線技術学会学術大会; 2003.10.10-12; 秋田. 同予稿集. 東京: 日本放射線技術学会; 2003. p.1044.

福田篤志, 北林啓太郎, 岩館美晴, 山口一郎, 越田吉郎. Flat Panel Detector 搭載型血管造影装置における冠状動脈造影用円形マスクの評価. 第 60 回日本放射線技術学会学術大会; 2003.10.10-12; 秋田. 同予稿集. 東京: 日本放射線技術学会; 2003. p.1085.

上田規靖, 諸澄邦彦, 山口一郎. モンテカルロ法を利用した皮膚表面線量計算プログラムの有用性の検証. 第 60 回日本放射線技術学会学術大会; 2003.10.10-12; 秋田. 同予稿集. 東京: 日本放射線技術学会; 2003. p.1085.

山口一郎. 放射線診療における患者の放射線曝露量の変動についての検討. 第 62 回日本公衆衛生学会総会; 2003.10.22-24; 京都. 日本公衆衛生雑誌 2003; 50(10 付): 536.

諸澄邦彦, 山口一郎, 倉品祐二, 丹羽由輝代. 機能性色素を用いた IVR における患者被ばく線量の推定. 日本放射線安全管理学会第 2 回学術大会; 2003.12. 3-5; つくば. 同予稿集. つくば: 日本放射線安全管理学会; 2003. p.40.

山口一郎. 放射線治療における医療法による安全規制の課題. 第 1 回化学放射線治療科学研究会 (平成 15 年度弥生会研究会); 2003.12.15-16; 東京. 同発表要旨集 (UTNL-R-0432). 東京: 東京大学大学院工学系研究科付属原子力工学研究施設; 2003.

諸澄邦彦, 山口一郎, 倉品祐二, 丹羽由輝代. 機能性色素を用いた IVR における患者被ばく線量の推定. 日本放射線安全管理学会第 2 回学術大会; 2003.12.3-5; つくば. 同大会予稿集. つくば: 日本放射線安全管理学会; 2003. p.40.

山神真紀子, 大野隆史, 渡辺征夫. [湿式/乾式] 測定機の入れ替えに伴う大気常時監視データの不連続性の要因解析. 第 44 回大気環境学会; 2003.9.24-26; 京都. 同要旨集. 2003.

p.357.

渡辺征夫, 内山真由美, 工藤雅子, 小室藍子, 泉克幸. 都市大気中の含酸素有機化合物の連続測定法の開発. 第 44 回大気環境学会; 2003.9.24-26; 京都. 同要旨集. 2003. p.406.

パティニ マドシリ, 渡辺征夫. 制御型炉システムを用いた練炭燃焼に伴う汚染物の排出係数の推定. 第 44 回大気環境学会; 2003.9.24-26; 京都. 同要旨集. 2003. p.587.

渡辺征夫, 工藤雅子, 山崎一彦, 倉田泰人, 唐牛聖文, 後藤純雄. 廃棄物焼却炉からのクロロフェノール類などの塩素系有機化合物の排出実態. 第 44 回大気環境学会; 2003.9.24-26; 京都. 同要旨集. 2003. p.643.

松村徹, 後藤純雄, 佐才秀平, 社本博司, 山内慎, 泥谷真樹, 遠藤治, 渡辺征夫, 他. 大気浮遊粉じん中ダイオキシン類濃度の経年変化について. 第 12 回環境化学討論会; 2003.6.25-27; 新潟. 同講演要旨集. 2003. p.270-1.

渡辺征夫, 池口孝, 後藤純雄, 小野寺佑夫, 泉克幸, 倉田泰人. 廃棄物焼却炉の排ガス中のダイオキシン類制御のためのクロロフェノール類およびガス状総有機ハロゲン化合物の連続監視手法および排出抑制システムの開発. 第 3 回廃棄物処理等科学研究発表会; 2003.12.1-4; 東京. 同成果発表抄録集. p.15-7.

清水啓右, 下ヶ橋雅樹, 遠藤治, 後藤純雄, 酒井康行, 迫田章義. 肺胞細胞の気液界面培養と肝細胞を用いた SPM の包括的バイオアッセイ. 化学工学会第 68 年会; 2003.3.23; 東京. 同講演要旨集. p.22-3.

松村徹, 後藤純雄, 遠藤治, 渡辺征夫, 田辺潔, 松下秀鶴, 他. 大気浮遊粉じん中ダイオキシン類濃度の経年変化について. 第 12 回環境化学討論会; 2003.6.25-27; 新潟. 同講演要旨集. p.270-1.

高木敬彦, 影山志保, 中島大介, 遠藤治, 麻野間正晴, 後藤純雄, 他. 土壌変異原性測定時におけるクロロフィル類の影響について. 第 12 回環境化学討論会; 2003.6.25-27; 新潟. 同講演要旨集. p.566-7.

大久保忠利, 遠藤治, 林哲仁, 後藤純雄, 高木敬彦, 加藤幸彦, 他. マイクロサスペンション法とブレインキューション法による陽性対照試料の変異原性の比較. 第 32 回日本環境変異原学会; 2003.11.26-28; 津. 同要旨集 p.93.

石井瑠里, 中島大介, 江副優香, 遠藤治, 小野寺佑夫, 後藤純雄, 他. S. typhimurium TL210 株を用いる発光 umu 試験における発光因子について. 第 32 回日本環境変異原学会; 2003.11. 26-28; 津. 同要旨集 p.95.

影山志保, 高木敬彦, 光崎研一, 遠藤治, 中島大介, 後藤純雄, 他. 粒径別に分けた土砂試料の変異原性. 第 32 回日本環境変異原学会; 2003.11.26-28; 津. 同要旨集 p.99.

岡田裕子, 小谷野道子, 角田真澄, 遠藤治, 後藤純雄, 松下秀鶴, 他. 東京都内・近郊居住者の個人曝露及び室内外空気浮遊粒子 (PM_{2.5}) 中の多環芳香族炭化水素濃度. 平成 15 年度室内環境学会総会; 2003.12.18-19; 東京. 同講演集 p.126-7.

その他学術報告（研究調査報告書含む）

大久保千代次, 牛山明, 増田宏, 厚生労働科学研究費補助金がん予防等健康科学総合研究事業「電磁界の白血球及び免疫系機能に及ぼす影響に関する研究」（主任研究者：大久保千代次）平成 14 年度事業実績報告書；2003.

大久保千代次, 牛山明, 増田宏, 廣田彰吾, 環境省地球環境保全等試験研究費（公害防止等試験研究費）補助金「生体内脳微小循環動態観察システムを用いた商用周波数帯電磁界の全身暴露影響評価に関する研究」（主任研究者：大久保千代次）平成 14 年度環境保全研究成果集；2003.

杉山英男, 寺田宙, 横浜検疫所輸入食品・検疫検査センター, 神戸検疫所輸入食品・検疫検査センター, 輸入食品の放射能調査研究, 文部科学省放射能調査研究費「輸入食品の放射能調査研究」（主任研究者：杉山英男）第 45 回環境放射能調査研究成果論文抄録集（平成 14 年度）, 東京：文部科学省；2003. p.112-3.

杉山英男, 寺田宙, 加藤文男, 桑原千雅子, 文部科学省放射能調査研究費「陸生食物への核種の移行・蓄積と土壌有機体に関する研究」（主任研究者：杉山英男）第 45 回環境放射能調査研究成果論文抄録集（平成 14 年度）, 東京：文部科学省；2003. p.16-7.

杉山英男, 他, 衛生試験法 飲食物試験法 放射性物質試験法 プルトニウム (Pu), 日本薬学会第 123 年会環境・衛生部会資料；2003. p.11-2.

山口一郎, IVR における医療放射線防護の規制のあり方に関する研究, 厚生労働科学研究費補助金医薬安全総合研究事業「放射線診療における患者と術者の安全性確保についての研究」（主任研究者：古井滋, 課題番号：H14-医薬-009）平成 14 年度研究報告書, 東京：古井滋；2003. p.11-43.

山口一郎, IVR における医療被ばくと防護策の実態把握に関する研究, 厚生労働科学研究費補助金医薬安全総合研究事業「放射線診療における患者と術者の安全性確保についての研究」（主任研究者：古井滋, 課題番号：H14-医薬-009）平成 14 年度研究報告書, 東京：古井滋；2003. p.44-63.

山口一郎, 他, IVR における術者被ばくと防護策の実態把握に関する研究, 厚生労働科学研究費補助金医薬安全総合研究事業「放射線診療における患者と術者の安全性確保についての研究」（主任研究者：古井滋, 課題番号：H14-医薬-009）平成 14 年度研究報告書, 東京：古井滋；2003. p.64-73.

山口一郎, 放射線管理の Q&A 記録, 帳簿の電子媒体による保存に関する通知について, 医療放射線防護 NEWSLETTER 2003；36：138.

山口一郎, 診療用放射線照射器具の安全管理の徹底について, 医療放射線防護 NEWSLETTER 2003；36：122-4.

山口一郎, 放射線医療監視のポイント 知っておくべきこと 医療放射線立入検査の意義とその役割, 医療放射線防護 NEWSLETTER 2003；36：15-22.

山口一郎, 放射線規制法令の改正に向けて－国際免除レベルの法令への取り入れ－, 日本アイソトープ協会放射線取扱主任者部会主任者ニュース 2003；9：4-7.

渡辺征夫, 主任研究者, 廃棄物処理等科学研究補助制度事業「廃棄物焼却炉の排ガス中のダイオキシン類制御のためのクロロフェノール類およびガス状総有機ハロゲン化合物の連続監視手法および排出抑制システムの開発」平成 14 年度研究報告書, 東京：環境省；2003.

渡辺征夫, 主任研究者, 地球環境保全等試験研究補助制度事業「浮遊粒子状物質及び有害大気汚染物質対策の導入における意志決定のための調査研究」平成 14 年度環境省総合研究プロジェクト別環境保全研究成果集, 東京：環境省；2003. p.7-1～7-45.

後藤純雄, 中島大介, 江副優香, 田辺潔, 渡辺征夫, 遠藤治, 石井忠浩, 環境省地球環境保全等試験研究費（公害防止等試験研究費）補助金「生物評価試験による浮遊粒子状物質の長期曝露モニタリングに関する研究」（主任研究者：後藤純雄）平成 14 年度環境省総合研究プロジェクト別環境保全研究成果集, 東京：環境省；2003. p.62-1～62-18.

松下秀鶴, 房家正博, 雨谷敏史, 大浦健, 遠藤治, 小野光広, 他, 公害健康被害補償予防協会委託業務「PM2.5 個人曝露計測用サンプラーの開発に関する研究, 生活環境中の粒子状物質等による個人曝露測定手法の開発に関する研究」（主任研究者：松下秀鶴）報告書, 東京：財団法人日本環境衛生センター；2003. p.25-37.

遠藤治, 雨谷敏史, 小野光広, 個人曝露及び室内外空気の実態調査 一粒子中の多環芳香族炭化水素濃度一, 公害健康被害補償予防協会委託業務「生活環境中の粒子状物質等による個人曝露測定手法の開発に関する研究」（主任研究者：松下秀鶴）報告書, 東京：財団法人日本環境衛生センター；2003. p.401-61.

小野光広, 遠藤治, 個人曝露濃度, 一般家庭室内外空気の実態調査 一粒子濃度及び揮発性アルデヒド類, アルキルベンゼン類, 有機ハロゲン化合物濃度一, 公害健康被害補償予防協会委託業務「生活環境中の粒子状物質等による個人曝露測定手法の開発に関する研究」（主任研究者：松下秀鶴）報告書, 東京：財団法人日本環境衛生センター；2003. p.463-517.

安枝浩, 雨谷敏史, 遠藤治, 小野光広, 松下秀鶴, 室内空気中, および寝具表面, 皮膚表面のダニ, ネコアレルギー計測手法の開発とその評価, 公害健康被害補償予防協会委託業務「生活環境中の粒子状物質等による個人曝露測定手法の開発に関する研究」（主任研究者：松下秀鶴）報告書, 東京：財団法人日本環境衛生センター；2003. p.529-72.

後藤純雄, 中島大介, 江副優香, 田辺潔, 渡辺征夫, 遠藤治, 他, 環境省地球環境保全等試験研究費（公害防止等試験研究費）補助金「生物評価試験による浮遊粒子状物質の長期曝露モニタリングに関する研究」（主任研究者：後藤純雄）, 平成 14 年度環境保全成果集；2003. p.1-18.

麻野間正晴, 遠藤治, 後藤純雄, 渡辺徹志, 世良暢之, 若林敬二, 他, 環境省委託業務「環境中の変異原性物質に関する調査研究」（主任研究者：若林敬二）, 平成 14 年度結果報告書, 東京：財団法人日本公衆衛生協会；2003. p.1-95.

Originals

Okano H, Ohkubo C. Anti-pressor effects of whole body exposure to static magnetic field on pharmacologically induced hypertension in conscious rabbits. *Bioelectromagnetics* 2003 ; 24: 139-47.

Okano H, Ohkubo C. Effects of static magnetic fields on plasma levels of angiotensin II and aldosterone associated with arterial blood pressure in genetically hypertensive rats. *Bioelectromagnetics* 2003; 24: 403-12.

Fukumura D, Ushiyama A, Duda DG, Xu L, Tam J, Chatterjee VKK, et al. Paracrine Regulation of Angiogenesis and adipocyte differentiation during In Vivo adipogenesis. *Circ Res* 2003; 93(9); e88-97.

Kuwahara C, Fukumoto A, Shibata H, Sugiyama H, Kato F. Uptake and distribution of ¹³⁷Cs and stable Cs by microorganisms isolated from mushroom substrata in the Japanese forests. *International Symposium on Radioecology and Environmental Dosimetry*; 2003. p.290-5.

Fukuda A, Kitabayashi K, Iwadate Y, Yamaguchi I. Exposure doses of interventional cardiologist during intracoronary radiotherapy with phosphorus-32. *Radioisotopes* 2003; 52(7): 327-34.

Yamaguchi I, Ohba H. Monte Carlo calculation of external dose rate around a radionuclide reservoir tank using EGS4. *Radiation Safety Management* 2003 ; 2(1): 29-32.

Endo O, Sugita K, Goto S, Amagai T, Matsushita H. Mutagenicity of size-fractioned airborne particles collected with Andersen Low Pressure Impactor. *Journal of Health Science* 2003; 49: 22-7.

Books

Ohkubo C, Okano H. In : Rosch P, Markov M., editors. *Clinical Application of Bioelectromagnetics Medicine*. New York: Marcel Dekker Inc.; 2003. p.563-91.

Ushiyama A, Masuda H, Ohkubo C. Effects of subchronic exposure to extremely low frequency electromagnetic fields on tumor growth and angiogenesis in the mouse cranial window. In: Asano M, Miura S. editors. *Microcirculation annual*. 2003; 19. Tokyo: Nihon-Igakukan; 2003. p.101-2.

Morita A, Honma K, Shida S, Ushiyama A, Ohkubo C, Yasumura K, et al. Three-dimensional morphometry of microvessels constructed in tumor angiogenesis. In: Asano M, Miura S. editors. *Microcirculation annual*. 2003; 19. Tokyo: Nihon-Igakukan; 2003. p49-50.

Okano H, Ohkubo C. Anti-pressor effects of whole body exposure to static magnetic field on spontaneous

hypertensive rats. In : Asano M, Miura S. editors. *Microcirculation annual*. 2003; 19. Tokyo: Nihon-Igakukan; 2003. p103-4.

Proceedings with Abstracts

Ohkubo C. Effects of static magnetic fields on spontaneous hypertensive rats. In: *Abstracts of the 5th Asian Congress for Microcirculation 2003*; 2003 February 20-22; Manila, Philippines. 2003. (Symposium)

Ohkubo C. Biological and health effects of radiofrequency electromagnetic fields. In: *Abstracts of the 5th Asian Congress for Microcirculation 2003*; 2003 February 20-22; Manila, Philippines. 2003. (Symposium)

Okano H, Ohkubo C. Effects of static magnetic fields on blood pressure in spontaneous hypertensive rats. In: *Abstract book of the 25th Annual Meeting of the Bioelectromagnetics Society*; 2003 Jun 22-27; Maui, U.S.A. 2003. p.175.

Okano H, Ohkubo C. Effects of local exposure to a static magnetic field on pharmacologically modulated blood pressure in rabbits. In: *Abstract book of the 25th Annual Meeting of the Bioelectromagnetics Society*; 2003 Jun 22-27; Maui, U.S.A. 2003. p.176.

Okano H, Ohkubo C. Effects of static magnetic fields with mT levels on microcirculation and blood pressures in experimental animals. In : *Abstract book of the 25th Annual Meeting of the Bioelectromagnetics Society*; 2003 Jun 22-27; Maui, U.S.A. 2003. p.160. (Symposium)

Ushiyama A, Masuda H, Ohkubo C. Effects of subchronic exposure to extremely low frequency electromagnetic fields on the cranial microcirculation in the brain tumor bearing mouse. In : *Abstract book of the 25th Annual meeting of Bioelectromagnetic Society*; 2003 Jun 22-27; Maui, U.S.A. 2003. p.89.

Ushiyama A, Ohkubo C. Effects of whole body exposure to 50Hz electromagnetic fields on the intramicrovascular leukocyte adhesion in mice. In : *Abstract book of the International Conference on Non-Ionizing Radiation at UNITEN (ICNIR2003), Electromagnetic Fields and Our Health*; 2003 Oct 20-22; Kuala Lumpur, Malaysia. 2003. Masuda H, Ushiyama A, Wake K, Watanabe S, Taki M, Ohkubo C. Acute effects of local exposure to radio-frequency electromagnetic fields with a loop antenna on the cerebral microcirculation in rats. In : *Abstract book of the 3rd International EMF Seminar*; 2003 Oct 13-17; Guilin, China. 2003.

Masuda H, Hirota S, Ushiyama A, Wake K, Watanabe S, Taki M, et al. In vivo evaluation of exposure effects to radio-frequency electromagnetic fields on the cerebral

circulation in rats. In: The Blood-Brain Barrier (BBB) Workshop of COST281-Potential health Implications from Mobile Communication Systems; 2003 Nov 2-6; Reims, Germany. 2003. p.28-9.

Masuda H, Hirota S, Ushiyama A, Wake K, Watanabe S, Yamanaka Y, Taki M, Ohkubo C. Sub-chronic effects of local exposure to Radio-frequency electromagnetic fields with loop antenna on the cerebral microcirculation in rats. In: Abstract book of the 6th International Congress of the European Bioelectromagnetics Association; 2003 Nov 13-15; Budapest, Hungary. 2003. p.63.

Lagroye I, Veyret B, Gannes FL, Thuroczy G, Neubauer G, Ohkubo C, et al. Multicenter replication study of the blood brain barrier neurodegenerations study conducted in Sweden. In: Abstract book of the 6th International Congress of the European Bioelectromagnetics Association; 2003 Nov 13-15; Budapest, Hungary. 2003. p.219.

Masuda H, Sanchez S, Dulou PE, Haro E, Anane B, Veyret B. Effect of 2-hour acute exposure to GSM-900 or -1800 microwaves on the skin of "hairless" rats. In: Abstract book of the 25th Annual Meeting of the Bioelectromagnetics Society; 2003 June 22-27; Maui, USA. 2003. p.115.

Masuda H, Sanchez S, Dulou PE, Haro E, Anane B, Veyret B. Effect of 12-week chronic exposure to GSM-900 or -1800 microwaves on the skin of "hairless" rats. In: Abstract book of the 25th Annual Meeting of the Bioelectromagnetics Society; 2003 June 22-27; Maui, USA. 2003. p.178.

Sanchez S, Masuda H, Taxile M, Billaudel B, Dulou P, Haro E, Lagroye I, Veyret B. Ornithine decarboxylase (ODC) activity in skin keratinocytes after exposure to GSM signals of hairless rats. In: Abstract book of the 6th International Congress of the European Bioelectromagnetics Association; 2003 Nov 13-15; Budapest, Hungary. 2003. p.222.

Masuda H, Hirota S, Ushiyama A, Wake K, Watanabe S, Yamanaka Y, Taki M, Ohkubo C. Intravital-microscopic evaluation of exposure effects to radio-frequency electromagnetic fields on the cerebral circulation in rats. Workshop and MCM of COST281-Potential health Implications from Mobile Communication Systems; 2003 Nov 15-16; Budapest: Hungary.

Sugiyama H, Fukumoto A, Kuwahara C, Shibata H, Terada H, Kato F. Cesium accumulation by mushroom and microorganism. In: Abstracts of the Sixth International Conference on Methods and Applications of Radioanalytical Chemistry-MARC VI; 2003 April 7-11; Kailua-Kona, USA; 2003. p.160.

Sugiyama H, Terada H, Fukumoto A, Kuwahara C, Shibata H, Kato F. Characteristics of cesium accumulation in mushroom and microorganism. In: Abstract of the 12th International Congress of Radiation Research; 2003 August 17-22; Brisbane, Australia. International Association of Radiation Research; 2003. p.198.

Kato F, Fukumoto A, Kuwahara C, Sugiyama H. Characteristics of Cs accumulation in actinomycetes isolated from mushroom substrata. 16th International Symposium on Environmental Biogeochemistry; 2003 Sep 1-4; Aomori, Japan. 2003. p.120

Kuwahara C, Fukumoto A, Shibata H, Sugiyama H, Kato F. Uptake and distribution of ^{137}Cs and stable Cs by microorganisms isolated from mushroom substrata in the Japanese forest. Abstracts of The International Symposium on Radioecology and Environmental Dosimetry; 2003 Oct 22-24; Rokkasho, Japan. 2003. p.59

Kobayashi J., Kizu R., Sugiyama H. Distribution and Variation of Aluminum in Environment, 6th plant-Soil Interactions at Low pH Symposium; 2003 Aug 2; Sendai, Japan. 2003. p.112.

Yamaguchi I. The Monte Carlo Method for Calculating the External Dose Rate around a Radionuclide Reservoir Tank in a nuclear medicine facility. In: Proceedings of the Tenth EGS4 Users' Meeting in Japan; 2003; Tsukuba. KEK Proceedings 2003-15; 2003. p.120-7.

Watanabe I, Kudo M, Yamasaki K, Kurata Y, Goto S. Long-term monitoring of chlorophenols in the flue gas from waste incinerators by two types of sequential automated-analytical instrument using HPLC/ECD. In: Book of 2003 Pittsburgh Conference; A Global Technical Conference & Exposition; 2003 March 9-14; New Orleans U.S.A. 2003. p.600.

Watanabe I. Progress of GC analysis for volatile organic compounds (VOCs) in air and flue gas. In: Abstract of the 2003 Korea-Japan Symposium on Gas Chromatography; 2003 Oct.16-18; Seoul, Korea. 2003. p.72-5.

Sugita K, Asada S, Endo O, Goto S, Ishii T. Dioxin in fractionated particle using Andersen/lowpressure impactor. In: Abstracts of the 8th International Conference on Atmospheric Sciences and Applications to Air Quality; 2003.3.11-13; Tsukuba. 2003. p.264.

Ezoe Y, Goto S, Endo O, Koyano M, Watanabe I, Tanabe K, et al. Polycyclic aromatic hydrocarbons concentrations of airborne particles in urban air over the past 20 years. In: Abstracts of the 19th International Symposium on Polycyclic Aromatic Compounds; 2003; Amsterdam, Netherlands. 2003. p.133.

Nakajima D, Sugita K, Ohkubo T, Goto S, Endo O,

Yajima H, et al. Gas/particle and size distribution of polycyclic aromatic hydrocarbons in ambient air. In: Abstracts of the 19th International Symposium on

Polycyclic Aromatic Compounds; 2003; Amsterdam, Netherlands. 2003. p.135.

建築衛生部

Department of Architectural Hygiene and Housing

学術雑誌に発表した原著論文

横山真太郎, 月館司, 青木徹, 西願栄二, 内見裕聡, 池田耕一, 飯田孝夫. 北海道における屋内ラドンとラドン短寿命娘核種濃度の測定結果. 室内環境学会誌 2003; 6(1): 9-18.

大澤元毅, 池田耕一, 林基哉, 桑沢保夫, 真鍋純, 中林由行. 2000 年全国実態調査に基づく化学物質による住居空気汚染の状況. 日本建築学会環境系論文集 2003; (566): 65-71.

吉野博, 天野健太郎, 食琴田望, 松本麻里, 池田耕一, 野崎淳夫, 角田和彦, 北条祥子, 石川哲. シックハウスにおける居住環境の実態と健康に関する調査研究. 日本建築学会環境系論文集 2003; (567): 57-64.

塩津弥佳, 佐藤重幸, 池田耕一. 入居前の単身者用ワンルームマンションおよび世帯用マンションの室内有機化学物質濃度の全戸調査. 日本建築学会環境系論文集 2003; (573): 71-9.

吉田拓正. 道路交通騒音の市街地建物群による超過減衰量の検討. 日本音響学会誌 2003; 59: 655-8.

筒井智恵美, 鈴木晃, 阪東美智子. 介護保険制度における住宅改修の事業評価に関する研究－自立支援からみた改修内容の妥当性と主観的満足感－. 日本在宅ケア学会誌 2003; 7(1): 31-9.

柳宇, 三浦邦夫, 池田耕一. 空調用ダクト清掃効果の簡易評価法の開発. 日本建築学会環境系論文集 2003; (569): 27-31.

学術誌に発表した総説

池田耕一. シックハウス問題に対する国の対応. 臨床環境医学 2003; 12(2): 74-89.

池田耕一. ダクト内付着物質の実態と健康障害. 建築設備と配管工事 2003; 41(2): 36-43.

池田耕一. 居住環境の空気質基準. 空気清浄 2003; 40(5): 54-9.

鈴木晃. 福祉における住宅あるいは居住の意義と福祉職固有の役割－自立支援をキーワードとして－. 月刊福祉 2003; 86(2): 12-7.

鈴木晃. バリアフリーと住宅の安全. 保健の科学 2003; 45(2): 105-11.

鈴木晃. 介護保険の住宅改修はうまくいっているか－高齢者の住環境整備をめぐる課題. 建築とまちづくり 2003; (310): 10-3.

鈴木晃. 介護保険の住宅改修の課題－住宅バリアフリー化情報提供システムの開発－. ベース設計資料. 2003; (119): 42-5.

三浦邦夫, 柳宇. 空調設備における抗菌性能の試験方法と

評価指標の提案. 建築設備士 2003; 35(1): 47-50.

柳宇, 三浦邦夫. ダクト内汚染を簡易に測定・評価できる「デジタル画像法」とその実証試験. 建築設備と配管工事 2003; 41(2): 44-8.

三浦邦夫, 柳宇. ダクト内堆積粒子量の測定・評価法. 画像ラボ 2003; 14(4): 105-8.

著書

池田耕一. カビの発生について. 日本建築学会, 編. 建築紛争ハンドブック. 東京: 丸善; 2003. 第 I 編, 第 16 章, 第 4 項, p.346-50.

池田耕一. シックハウス症候群と湿気問題. 紀谷文樹, 編. 建築環境設備学 新訂版. 東京: 彰国社; 2003. 第 V 編, 第 4 章, p.262-4.

鈴木晃. 高齢者の自立支援と住環境整備. 児玉桂子, 鈴木晃, 田村静子, 編. 高齢者が自立できる住まいづくり. 東京: 彰国社; 2003. p.8-15.

鈴木晃. 介護保険時代の住環境整備への提言. 児玉桂子, 鈴木晃, 田村静子, 編. 高齢者が自立できる住まいづくり. 東京: 彰国社; 2003. p.143-51.

鈴木晃. 二世帯住宅の都市住宅問題的背景. 日本土地法学会, 編. 土地バブル経済の法学的課題. 東京: 有斐閣; 2003. p.156-66.

抄録のある学会発表

中木口智, 吉岡誠記, 船越隆展, 横山真太郎, 濱田靖弘, 中村真人, 窪田英樹, 池田耕一. 特別養護老人ホーム及び老人保健施設の全国調査. 空気調和・衛生工学会 北海道支部第 37 回学術講演会; 2003. 同講演論文集. 2003. p.55-7.

吉野博, 村上周三, 赤林伸一, 倉淵隆, 加藤信介, 田辺新一, 池田耕一, 大澤元毅, 澤地孝男, 福島明, 足立真弓. 先進諸国を対象とした住宅の必要換気量の基準に関する調査. 平成 15 年度空気調和・衛生工学会学術講演会; 2003; 松江. 同講演論文集. 2003. p.1317-20.

池田耕一, 射場本忠彦, 坪田祐二, 小松俊彦, 齋藤學, 中山幹男, 齊藤恵子, 山寺静子, 木ノ本雅通. 低湿度室内におけるウイルス活性に関する研究. 平成 15 年度空気調和・衛生工学会学術講演会; 2003; 松江. 同講演論文集. 2003. p.1901-04.

柳宇, 山崎省二, 塩津弥佳, 池田耕一. 医療施設における室内浮遊微生物に関する研究. 平成 15 年度空気調和・衛生工学会学術講演会; 2003; 松江. 同講演論文集. 2003. p.1917-20.

塩津弥佳, 池田耕一. 医療施設における室内空気調査, (第2報) 開院後の室内空気調査結果について. 平成15年度空気調和・衛生工学会学術講演会; 2003; 松江. 同講演論文集. 2003. p.1925-8.

坂上恭助, 岡田誠之, 池田耕一. 排水ガスの有害・不快性に関する研究. その1 ホテルの排水槽内排水・排水ガス. 2003年度日本建築学会大会; 2003.9.5-7; 名古屋. 同学術講演梗概集 環境工学Ⅱ D-2 分冊. 2003. p.479-80.

足立真弓, 吉野博, 村上周三, 赤林伸一, 倉淵隆, 加藤信介, 田辺新一, 池田耕一, 大澤元毅, 澤地孝男, 福島明. 先進各国における住宅の必要換気量の基準に関する調査. 2003年度日本建築学会大会; 2003.9.5-7; 名古屋. 同学術講演梗概集 環境工学Ⅱ D-2 分冊. 2003. p.803-4.

柳宇, 塩津弥佳, 池田耕一, 松村年郎. 総合病院内空気中黄色ブドウ球菌汚染の実態. 2003年度日本建築学会大会; 2003.9.5-7; 名古屋. 同学術講演梗概集 環境工学Ⅱ D-2 分冊. 2003. p.837-8.

朴俊錫, 池田耕一. 木質建材におけるホルムアルデヒド放散量と真菌成長の関係に関する研究. 2003年度日本建築学会大会; 2003.9.5-7; 名古屋. 同学術講演梗概集 環境工学Ⅱ D-2 分冊. 2003. p.839-40.

黒田健一, 光田, 吉野博, 池田耕一. 高齢者施設の居室における臭気の特徴と対策に関する研究. 2003年度日本建築学会大会; 2003.9.5-7; 名古屋. 同学術講演梗概集 環境工学Ⅱ D-2 分冊. 2003. p.851-2.

塩津弥佳, 池田耕一. IAPOC 主催講習会で実施したアンケート調査に見るシックハウス防止に関する建築業界の動向. 2003年度日本建築学会大会; 2003.9.5-7; 名古屋. 同学術講演梗概集 環境工学Ⅱ D-2 分冊. 2003. p.863-4.

天野健太郎, 鈴木憲高, 野崎淳夫, 石川哲, 吉野博, 飯田望, 角田和彦, 松本麻里, 池田耕一, 北條祥子. シックハウスにおける室内空気質と居住者の健康状況に関する調査研究, その7, 3ヶ年の調査概要と化学物質濃度の測定結果. 2003年度日本建築学会大会; 2003.9.5-7; 名古屋. 同学術講演梗概集 環境工学Ⅱ D-2 分冊. 2003. p.901-2.

松本麻里, 天野健太郎, 鈴木憲高, 野崎淳夫, 石川哲, 吉野博, 飯田望, 角田和彦, 池田耕一, 北條祥子. シックハウスにおける室内空気質と居住者の健康状況に関する調査研究, その8 シックハウス事例の長期追跡調査. 2003年度日本建築学会大会; 2003.9.5-7; 名古屋. 同学術講演梗概集 環境工学Ⅱ D-2 分冊. 2003. p.903-4.

塩津弥佳, 松村年郎, 柳宇, 池田耕一. 医療施設におけるホルムアルデヒドの経時変化と作業者曝露に関する考察. 2003年度日本建築学会大会; 2003.9.5-7; 名古屋. 同学術講演梗概集 環境工学Ⅱ D-2 分冊. 2003. p.917-8.

長谷川あゆみ, 武田菊男, 藤本英治, 村上雅志, 池田耕一, 塩津弥佳. 室内空気中のフタル酸エステル類の調査, その2, 調査結果の解析. 平成15年度室内環境学会総会; 2003; 東京. 同講演集. 2003. p.140-5.

柳宇, 池田耕一, 阿部恵子. カピセンサーによる空調シス

テム内微生物生育環境評価の可能性に関する検討. 平成15年度室内環境学会総会; 2003; 東京. 同講演集. 2003. p.240-1.

林恭一, 鈴木晃. 診療所のバリアフリー化の試み (第3報). 第62回日本公衆衛生学会総会; 2003.10.22-24; 京都. 日本公衆衛生雑誌 2003; 50(10 付): p.501.

筒井智恵美, 鈴木晃, 阪東美智子. 利用者の改修に関する主観的満足感の達成モデル—介護保険の住宅改修事業評価—その1—. 第62回日本公衆衛生学会総会; 2003.10.22-24; 京都. 日本公衆衛生雑誌 2003; 50(10 付): p.743.

鈴木晃, 阪東美智子, 筒井智恵美. 自立支援からみた住宅改修の妥当性に関する評価—介護保険の住宅改修事業評価—その2—. 第62回日本公衆衛生学会総会; 2003.10.22-24; 京都. 日本公衆衛生雑誌 2003; 50(10 付): p.681.

柳宇, 池田耕一, 塩津弥佳, 山崎省二. 病院内浮遊微生物粒子濃度の実態調査. 日本防菌防黴学会第30回年次大会; 2003; 大阪. 同要旨集. 2003. p.89.

三浦邦夫, 高塚威, 柳宇. 抗菌処理を施したコイルの性能評価. 平成15年度空気調和・衛生工学会学術講演会; 2003; 松江. 同講演論文集; 2003. p.1905-8.

高塚威, 三浦邦夫, 坂本数彦, 神戸正純, 清水晋, 柳宇. 空調用ダクト内付着粉塵量の簡易測定法による評価. 平成15年度空気調和・衛生工学会学術講演会; 2003; 松江. 同講演論文集; 2003. p.1945-48.

山崎省二, 仲田幸博, 八太豊, 三上壮介, 清水晋, 大廻和彦, 狩野文雄, 高鳥浩介, 柳宇, 池田耕一. 空調用ダクトクリーニングの評価方法に関する研究. 第30回建築物環境衛生管理全国大会; 2003. 同抄録集. 2003. p.28-9.

阪東美智子, 大崎元, 中島明子. 寄せ場型地域 (山谷, 釜ヶ崎) における野宿者への居住支援 (その1) 釜ヶ崎地域における生活保護による生活再建の現状と課題. 2002年度関東支部研究発表会; 2003.3.6-8; 東京. 日本建築学会関東支部研究報告集Ⅱ, 第73号. 2003. p.301-4.

大崎元, 阪東美智子, 中島明子. 寄せ場型地域 (山谷, 釜ヶ崎) における野宿生活者への居住支援 (その2) 山谷地域における簡易宿泊所の経営者意識動向と実態. 2002年度関東支部研究発表会; 2003.3.6-8; 東京. 日本建築学会関東支部研究報告集Ⅱ, 第73号. 2003. p.305-8.

糟谷佐紀, 米田郁夫, 阪東美智子, 多淵敏樹. 車いす使用者の操作能力を考慮した住宅整備指針の構築. 平成15年度日本建築学会近畿支部研究発表会; 2003.6.20-21; 大阪. 平成15年度日本建築学会近畿支部研究報告集. 2003. p.217-20.

糟谷佐紀, 米田郁夫, 阪東美智子, 多淵敏樹. 車いすによる段差通過時の駆動力に関する指標化. 日本福祉のまちづくり学会 第6回全国大会; 2003.7.17-18; 高山. 同梗概集. 2003. p.36-42.

糟谷佐紀, 米田郁夫, 多淵敏樹, 岡野生也, 篠山潤一, 山本直樹, 安田孝司, 阪東美智子, 他. 車いす操作における段差抵抗の尺度化に関する研究. 第18回リハ工学カンファレ

ンス；2003.8.28-30；栃木. 同講演論文集. 2003. p.3-4.

米田郁夫, 糟谷佐紀, 多淵敏樹, 篠山潤一, 山本直樹, 岡野生也, 安田孝司, 馬場琴子, 阪東美智子, 他. 手動車いすのハンドリム位置と操作性に関する定量的評価. 第18回リハ工学カンファレンス；2003.8.28-30；栃木. 同講演論文集. 2003. p.117-8.

大崎元, 中島明子, 阪東美智子. 寄せ場型地域ー山谷, 釜ヶ崎ーにおける野宿生活者への居住支援その4 山谷における地域資源としての簡易宿泊所活用の課題. 2003 年度日本建築学会大会；2003.9.5-7；名古屋. 同学術講演梗概集 F-1 分冊. 2003. p.1303-4.

阪東美智子, 大崎元, 中島明子. 寄せ場型地域における地域再生とホームレスの人々への居住支援の可能性その5 ホームレスの人々の居住歴からみた居住保障の課題. 2003 年度日本建築学会大会；2003.9.5-7；名古屋. 同学術講演梗概集 F-1 分冊. 2003. p.1305-6.

阪東美智子, 鈴木晃. 「健康日本 21」地方計画における環境整備と行政連携の課題. 第62回日本公衆衛生学会総会；2003.10.22-24；京都. 日本公衆衛生雑誌 2003；50(10 付)：p.353.

糟谷佐紀, 米田郁夫, 阪東美智子, 末田統, 奥英久. 段差通過時の手動車いす駆動力に関する指標化. 第3回福祉工学シンポジウム；2003.11.8-9；東京. 同アブストラクト集. 2003. p.25-8.

米田郁夫, 糟谷佐紀, 阪東美智子, 末田統, 奥英久. 縦断勾配が手動車いすの走行操作に及ぼす影響の定量的評価. 第3回福祉工学シンポジウム；2003.11.8-9；東京. 同アブストラクト集. 2003. p.47-50.

その他学術報告（研究調査報告書含む）

塩津弥佳, 池田耕一, 大澤元毅, 吉野博. 医療機関におけるパッシブサンプラーを用いた揮発性有機化合物濃度調査. 日本建築学会技術報告集 2003；(18)：181-6.

池田耕一. 室内オゾン濃度の現状と環境基準. 社団法人日

本空気清浄協会オゾン利用空気浄化システム検討専門委員会報告書. 2003. 第14章, p.84-5.

柳宇, ほか6名. 建築確認時審査の検討部会. 厚生労働科学研究費補助金厚生労働科学特別研究事業「建築物の衛生的維持管理手法に関する研究」（主任研究者：目黒克己）平成14年度報告書；2003. 第1章, p.6-32. 第7章, p.106-12.

山崎省二, 池田耕一, 柳宇, 塩津弥佳. 厚生労働科学研究費補助金厚生労働科学特別研究事業. 「医療機関における室内空気質に関する研究」（主任研究者：松村年郎）平成14年度報告書；2003. p.44-62.

柳宇. 日本建築学会基準（案）. 日本建築学会環境工学委員会・空気環境小委員会. 2003. p.21-9.

阪東美智子. 廃棄物行政と住民参加. NIRA 公共政策研究セミナー第1回「廃棄物問題にみる新しい自治のかたちー公的問題と私人の参加ー」（リーダー：加藤隆一）. NIRA セミナー報告書 No.2002-01；2003. p.8-20.

中島朋子, 大崎元, 阪東美智子, 平山洋介. 寄せ場型地域ー山谷, 釜ヶ崎ーにおける野宿生活者への支援ー「自立」支援と結合した居住支援の課題ー. 住宅総合研究財団研究助成事業「寄せ場型地域ー山谷, 釜ヶ崎ーにおける野宿生活者への支援ー「自立」支援と結合した居住支援の課題ー」（主査：中島明子. 課題番号：0118）. 住宅総合研究財団 研究年報 No.29 2002年版；2003. p.253-64.

阪東美智子. 動作に着目した住宅空間設計のガイドラインに関する研究（その1）ー車いす使用者の操作能力を考慮した住宅整備指針の構築（第二報）. 兵庫県委託研究「動作に着目した住宅空間設計のガイドラインに関する研究ー車いす使用者の操作能力を考慮した住宅整備指針の構築」（研究代表者：糟谷佐紀）. 兵庫県立福祉のまちづくり工学研究所報告集 平成14年度；2003. p.119-26

阪東美智子. ホームレス問題と市民社会. 聖教新聞；2003. 10.12 日曜版. 文化面（p.7）特集

Originals

Park JS, Ikeda K. Database system, AFODAS/AVODAS, on indoor air organic compounds in Japan. Indoor Air 2003; 13 (Suppl. 6): 35-41.

Bando M, Yoneda I, Kasuya S, Sueda O, Ide M. Proposal of floor design indicator based on the quantitative evaluation of driving the manual wheelchair. In: Craddock G, McCormack L, Reilly R, Knops H, editors. AAATE'03. Assistive Technology Research Series, Vol.11, Assistive Technology - Shaping the Future; Amsterdam, Berlin, Oxford, Tokyo, Washington DC: IOS Press; 2003. p.127-31.

Yoneda I, Kasuya S, Bando M, Sueda O, Ide M, Oku H, et al. Quantitative evaluation and analysis of influences of floor conditions and position of rear wheels on

maneuvering the manual wheelchair. In: Craddock G, McCormack L, Reilly R, Knops H, editors. AAATE'03. Assistive Technology Research Series, Vol.11, Assistive Technology - Shaping the Future; Amsterdam, Berlin, Oxford, Tokyo, Washington DC: IOS Press; 2003. p.147-51.

Kasuya S, Yoneda I, Bando M, Sueda O, Ide M, Oku H, et al. Study on developing the new criterion of level differences for the wheelchair. In: Craddock G, McCormack L, Reilly R, Knops H, editors. AAATE'03. Assistive Technology

Proceedings with Abstracts

Ikeda K. Trends in Japanese IAQ Research. In: Proceedings for Shanghai 2003 HVAC Forum in China &

Japan; 2003. 2003. p.59-63.

Ikeda K, Park JS. Long-term formaldehyde and VOCs concentrations in Japanese homes. In: Proceedings of 2003 International Symposium on Indoor Air Quality and Health Hazard; 2003. 2003.p. 28-35.

Ikeda K, Murakami S. Current status of political measures taken by Japanese government against indoor air chemical pollution problems in Japan. In: Proceedings of 2003 International Symposium on Indoor Air Quality and Health Hazard; 2003. 2003. p.300-3.

Ikeda K, Matsumura T, Shiotsu M, Yanagi U. Relation between volatile organic compound concentrations and ventilation rates in Japanese hospitals. In: Proceedings for the 7th International Symposium on Ventilation for Contaminant Control; 2003. 2003. p.425-9.

Shiotsu M, Ikeda K. Survey on the VOCs concentration in hospitals using a passive sampler method. In: Proceedings for the 7th International Conference on

Healthy Buildings; 2003. 2003. p.494-459.

Ikeda K, Ibamoto T, Komatsu T, Saito M, Nakayama M, Saito K, Yamadera S, Kinomoto M, Tsubota Y. Experimental study on activities of the virus in low humidity indoor environments. In: Proceedings for the 7th International Conference on Healthy Buildings; 2003. 2003. p. 637-42.

Yoshino H, Ikeda K, Nozaki A, Amano K, Wada J, Iida N, Suzuki N, Matsumoto M. Study of ventilation performance and indoor air quality in eight sick houses. In: Proceedings for the 7th International Conference on Healthy Buildings; 2003. 2003. p.43-8.

Amano K, Yoshino H, Ikeda K, Nozaki A, Iida N, Matsumoto M, Suzuki N, Kakuta K, Hojo S, Ishikawa S. Field survey of indoor chemical pollution and health hazards in sick houses. In: Proceedings for the 7th International Conference on Healthy Buildings; 2003. 2003. p. 55-60.

水道工学部

Department of Water Supply Engineering

学術雑誌に発表した原著論文

国包章一, 森一晃, 佐野進. 給水装置の高度化に伴う給配水システムへの影響の検討. きゅうすい工事 2003; 4(1): 27-30.

森一晃, 国包章一, 青木光. 給水装置の高度化に伴う給配水システムへの影響の検討. きゅうすい工事 2003; 4(2): 18-23.

国包章一, 青木光, 赤井寿充. 鉛製給水管からの鉛の溶出とその影響因子に関する基礎的実験. きゅうすい工事 2003; 4(2): 24-30.

学術雑誌に発表した総説

国包章一. 水道における鉛問題と今後の課題. 水道公論 2003; 39(4): 28-30.

国包章一. 水道水質基準の改正とその考え方. ファルマシア 2003; 39: 970-3.

国包章一. 水道水質基準の改正と水道水の安全性. 環境浄化技術 2003; 2(10): 7-12.

谷津龍太郎, 国包章一. 日米における水道水質管理の現状と今後の方向—日米水道水質管理及び下水道技術に関する政府間会議の記録—. 水道協会雑誌 2003; 72(10): 36-50.

国包章一. 水道水の安全性. 環境安全 2003; 99: 3-6.

著書

国包章一 (編集委員長). 水道用語辞典第二版. 東京: 日本水道協会; 2003.

国包章一. 化学的・微生物学的安全性を求めて水道水の安全性—リスク管理の強化—「新しい水質基準項目と基準値」

の施行に向けて. 八坂哲雄, 他著. 21世紀安全科学最前線. 東京: 東京教育情報センター; 2003. p.55-71.

吉見洋, 国包章一, 古武家喜成, 中島淳. 陸水圏・沿岸海域データ編. 茅陽一, 監修. 2004/2005 環境年表. 東京: オーム社; 2003. p.109-175.

抄録のある学会報告

西村哲治, 安藤正典, 相澤貴子, 浅見真理, 島崎大, 国包章一, 眞柄泰基. 水道水源水域における 1,4-ジオキサンの実態. 第 37 回日本水環境学会年会; 2003.3.4-6; 熊本. 同講演集. 2003. p.352.

相澤貴子, 西村哲治, 安藤正典, 浅見真理, 島崎大, 国包章一, 眞柄泰基. 水道水源水域における MTBE の実態調査. 第 37 回日本水環境学会年会; 2003.3.4-6; 熊本. 同講演集. 2003. p.353.

黒木隆, 伊藤雅喜, 国包章一. ナノろ過によるアンチモン処理に及ぼす共存物質の影響. 第 54 回全国水道研究発表会; 2003.5.14-16; 名古屋. 同講演集. 2003. p.192-3.

赤井寿充, 森一晃, 国包章一. 鉛給水管からの鉛の溶出に関する基礎的検討. 第 54 回全国水道研究発表会; 2003.5.14-16; 名古屋. 同講演集. 2003. p.466-7.

古賀誠一, 森一晃, 国包章一. 浄水器等による水質汚染リスクに関する検討. 第 54 回全国水道研究発表会; 2003.5.14-16; 名古屋. 同講演集. 2003. p.474-5.

齋藤正樹, 秋葉道宏, 国包章一. 不飽和高級脂肪酸による *Phormidium tenue* の 2-MIB 産生抑制. 第 54 回全国水道研究発表会; 2003.5.14-16; 名古屋. 同講演集. 2003. p.528-9.

宮川徹也, 西村哲治, 安藤正典, 秋葉道宏. 水道水におけ

る同化性有機炭素の調査. 第 54 回全国水道研究発表会; 2003.5.14-16; 名古屋. 同講演集. 2003. p.554-5.

小田リサ, 菊池伸江, 島崎大, 国包章一, 相澤貴子. アクリルアミドモノマーの高感度分析方法および凝集処理における挙動に関する検討. 第 54 回全国水道研究発表会; 2003.5.14-16; 名古屋. 同講演集. 2003. p.580-1.

相澤貴子, 鎌田素之, 島崎大, 伊藤雅喜. 水道水源における残留農薬の監視プライオリティーに関する研究. 第 54 回全国水道研究発表会; 2003.5.14-16; 名古屋. 同講演集. 2003. p.618-9.

鎌田素之, 島崎大, 伊藤雅喜, 相澤貴子. 活性炭処理性を考慮した水道における残留農薬の評価. 第 54 回全国水道研究発表会; 2003.5.14-16; 名古屋. 同講演集. 2003. p.620-1.

国包章一. 新しい水供給と水利用システム—課題と今後の展望—. 第 3 回環境技術研究協会研究発表会; 2003.6.13; 大阪. 環境技術 2003; 32: 818-20. (特別講演)

国包章一. 水道水のサンプリング・評価と水質検査計画. 第 38 回日本環境化学会講演会; 2003.9.5; 東京. 同講演集. 2003. p.7-13.

鎌田素之, 島崎大, 相澤貴子, 伊藤誠治, 内田秀明. LC/MS を用いた水道水源における解離性有機リン系農薬とその分解物の一斉分析法の開発. 第 6 回日本水環境学会シンポジウム; 2003.9.18-19; 神戸. 同講演集. 2003. p.74-5.

国包章一. 水道水中の腐植物質. 第 6 回日本水環境学会シンポジウム; 2003.9.18-19; 神戸. 同講演集. 2003. p.263-4.

金志勲, 許春蓮, 千葉信男, 西村修, 秋葉道弘, 西村哲治, 安藤正典. ダム湖及び流入河川における同化性有機炭素の動態. 日本水処理生物学会第 40 回大会; 2003.11.19-21; 熊本. 日本水処理生物学会誌 2003; 別巻(23): 16.

押見誠則, 藤本尚志, 鈴木昌治, 秋葉道宏, 国包章一. 湖沼から分離した細菌によるかび臭藻類 *Phormidium tenue* の抑制効果. 日本水処理生物学会第 40 回大会; 2003.11.19-21; 熊本. 日本水処理生物学会誌 2003; 別巻(23): 17.

その他学術報告 (研究調査報告書含む)

国包章一, 伊藤雅喜. 規制項目等有害元素による地下水高濃度汚染実態解明と修復技術に関する研究. 平成 14 年度環境省環境保全成果集; 2003.

国包章一, 伊藤雅喜, 秋葉道宏. 湖沼・貯水池におけるかび臭等の発生予測と制御に関する研究. 平成 14 年度環境省環境保全成果集; 2003.

国包章一, 島崎大. 環境省地球環境保全等試験研究費「水道水源水域等における親水性かつ難分解性有機化学物質の動態と水道のリスク評価ならびに制御に関する研究」. 平成 14 年度環境保全成果集; 2003.

国包章一, 島崎大. 日本水道協会「酸化消毒剤注入量の低減化に関する研究」. 研究報告書 (3 年間のまとめ); 2003.

国包章一, 秋葉道弘. クリプトスポリジウム及びジアルジアの診断, 治療及び疫学に関する研究. 厚生労働科学研究費

補助金新興・再興感染症研究事業「水道水のクリプトスポリジウム等による汚染に係る健康リスク評価及び管理に関する研究」平成 14 年度総括・分担研究報告書 (主任研究者: 国包章一); 2003.

国包章一, 秋葉道弘. クリプトスポリジウム及びジアルジアの診断, 治療及び疫学に関する研究. 厚生労働科学研究費補助金新興・再興感染症研究事業「水道水のクリプトスポリジウム等による汚染に係る健康リスク評価及び管理に関する研究」平成 12~14 年度総合研究報告書 (主任研究者: 国包章一); 2003.

国包章一, 森一晃, 伊藤雅喜, 秋葉道弘, 島崎大. 厚生労働科学研究費補助金健康科学総合研究事業「地理情報システムを用いた水道原水の保全に関する研究」(主任研究者: 国包章一.) 平成 14 年度研究報告書; 2003.

森一晃. 水有効利用のための給水システム構築に関する研究. 厚生労働科学研究費補助金健康科学総合研究事業「家屋内での水有効利用と環境負荷低減に資する給水システム構築に関する研究」(主任研究者: 中村文雄.) 平成 14 年度研究報告書; 2003. p.7-67.

伊藤雅喜, 島崎大. 水道における残留農薬の検出実態調査と今後の監視のあり方に関する研究. 厚生労働科学研究費補助金食品・安全総合研究事業「WHO 飲料水水質ガイドライン改訂等に対応する水道における化学物質等に関する研究」(主任研究者: 眞柄泰基.) 平成 14 年度研究報告書; 2003. p.11-190.

伊藤雅喜, 国包章一. 重金属分科会. 厚生労働科学研究費補助金食品・安全総合研究事業「WHO 飲料水水質ガイドライン改訂等に対応する水道における化学物質等に関する研究」(主任研究者: 眞柄泰基.) 平成 14 年度研究報告書; 2003. p.191-264.

秋葉道弘. 一般有機物分科会. 厚生労働科学研究費補助金食品・安全総合研究事業「WHO 飲料水水質ガイドライン改訂等に対応する水道における化学物質等に関する研究」(主任研究者: 眞柄泰基.) 平成 14 年度研究報告書; 2003. p.265-326.

国包章一. 消毒副生成物分科会. 厚生労働科学研究費補助金食品・安全総合研究事業「WHO 飲料水水質ガイドライン改訂等に対応する水道における化学物質等に関する研究」(主任研究者: 眞柄泰基.) 平成 14 年度研究報告書; 2003. p.327-376.

国包章一. サンプリング方法分科会. 厚生労働科学研究費補助金食品・安全総合研究事業「WHO 飲料水水質ガイドライン改訂等に対応する水道における化学物質等に関する研究」(主任研究者: 眞柄泰基.) 平成 14 年度研究報告書; 2003. p.377-403.

国包章一. 鉛分科会. 厚生労働科学研究費補助金食品・安全総合研究事業「WHO 飲料水水質ガイドライン改訂等に対応する水道における化学物質等に関する研究」(主任研究者: 眞柄泰基.) 平成 14 年度研究報告書; 2003. p.405-40.

国包章一, 主任研究者. 厚生労働科学研究費補助金食品・

化学物質安全総合研究事業「水道におけるフタル酸ジ-2-エチルヘキシルの濃縮機構等に関する研究」平成 14 年度総括・分担研究報告書；2003.

国包章一. 厚生労働科学研究費補助金食品・化学物質安全総合研究事業「水道におけるダイオキシン類の実態等の解明に関する研究」(主任研究者, 眞柄泰基) 平成 14 年度研究報告書；2003.

国包章一. ごみ焼却施設由来の土壌中ダイオキシン類の曝露評価に関する研究. 厚生労働科学研究費補助金食品・化学

物質安全総合研究事業「ダイオキシン類汚染に起因する悪性新生物死亡の超過リスクに関するコホート研究」(主任研究者: 丹後俊郎) 平成 14 年度研究報告書；2003. p.41-53.

国包章一. ごみ焼却施設周辺の湖沼低質年代評価に関する研究. 厚生労働科学研究費補助金食品・化学物質安全総合研究事業「ダイオキシン類汚染に起因する悪性新生物死亡の超過リスクに関するコホート研究」(主任研究者: 丹後俊郎) 平成 14 年度研究報告書；2003. p.55-64.

Originals

Hu J, Cheng S, Aizawa T, Terao Y, Kunikane S. Products of aqueous chlorination of 17 β -estradiol and their estrogenic activities. Environmental Science and Technology 2003; 37(24): 5665-70.

Proceedings with Abstracts

Kim HS, Akiba M, Kunikane S. The effects of turbidity and coagulation dose on the removal of cryptosporidium

oocysts in drinking water treatment. In: Proceedings of the International Water Association Asian Waterqual 2003; 2003 Oct 20-22; Bangkok, Thailand. 2003. p. 207.

Simazaki D, Asami M, Aizawa T, Kunikane S, Magara Y. Approaches of residual chlorine reduction in drinking water distribution in Japan. Proceedings of the International Water Association Asian Waterqual 2003; 2003 Oct 20-22; Bangkok, Thailand. 2003. p.212.

施設科学部

Department of Facility Sciences

学術雑誌に発表した原著論文

山田理紗, 中山茂樹, 笥淳夫, 西村秋生. 精神科急性期病棟の病室利用に関する研究, 精神科急性期医療を対象とする病棟の建築計画的な研究(1). 病院管理 2003 ; 40(1) : 15-22.

井上由起子, 小滝一正, 大原一興. まちづくり活動への参加と地域生活の変容に関する考察, 高齢期における地域生活に関する研究その 2. 日本建築学会計画系論文集 2003 ; (565) : 121-8.

井上由起子, 大原一興, 藤岡泰寛, 炭谷晃男. コミュニティケアと循環型生活ネットワーク, 自発的コミュニティにおけるノンフォーマルケアの考察. 住宅総合建築財団研究年報 2003 ; (29) : 181-92.

井上由起子, 笥淳夫. 全国調査からみた回復期リハビリテーション病棟の実態に関する考察, 回復期リハビリテーション病棟のあり方に関する研究その 1. 日本建築学会計画系論文集 2003 ; (571) : 55-61.

毛利志保, 井上由起子, 谷口元. 小規模生活単位型特別養護老人ホームにおけるケア体制を踏まえた空間特性に関する研究. 日本建築学会計画系論文集 2003 ; (572) : 41-7.

学術雑誌に発表した総説

笥淳夫. 第 7 回日本・フィンランド医療福祉施設セミナー. 病院建築 2003 ; (138) : 32.

笥淳夫. 名古屋大学医学部附属病院遺伝子…再生医療センター. 病院建築 2003 ; (138) : 8-9.

笥淳夫. 安全性に配慮した施設環境の再点検. 看護管理 2003 ; 13(2) : 86-90.

笥淳夫. 施設環境創りから見た精神科病棟. こころの臨床 a.la.carte 2003 ; 22(1) : 26-30.

笥淳夫. 手術部位感染管理の疑問. エキスパートナース 2003 ; 19(8) : 94-7.

笥淳夫. 医療施設における廃棄物の院内管理に関する考察. 環境研究 2003 ; (129) : 113-9.

笥淳夫. 医療福祉用語の基礎知識. 病院建築 2003 ; (139) : 36.

笥淳夫. 求められる施設管理体制の構築. 日本医療法人協会ニュース 2003 ; (234) : 6-7.

笥淳夫. 手術室の建築・設備. オペナース 2003 ; 18(12) : 61-3.

井上由起子. 都市部における診療所を中心としたノンフォーマルケア. 日本住宅会議 2003 ; (57) : 36-7.

井上由起子. 「リハビリテーションの原点」からだと環境シリーズ・環境編・休息する. RIHA-TECH 2003 ; 2(3) : 6-8.

井上由起子. 「リハビリテーションの原点」からだと環境シリーズ・環境編・歩く. RIHA-TECH 2003 ; 2(4) : 6-8.

井上由起子. 「リハビリテーションの原点」からだと環境シリーズ・環境編・入浴する. REHA-TECH 2003 ; 2(5) : 6-8.

井上由起子. 医療施設のアメニティ重視のコンセプトと事例(1)特別養護老人ホームの居住環境の改善. 月刊マーク 2003 ; 14(9) : 10-3.

井上由起子, 笥淳夫. 平成 14 年度回復期リハビリテーション病棟実態調査報告. 全国回復期リハビリテーション病棟実態調査報告連絡協議会機関誌 2003 ; 2(1) : 44-8.

井上由起子, 大原一興, 毛利志保, 山口健太郎. 特別養護老人ホームの居住環境の改善. 病院建築 2003; (141): 30-1.

著書

寛淳夫. 回復期リハ病棟, 急性期特定入院加算, スタッフステーション, 地域医療支援病院, 滅菌. 社団法人日本医業経営コンサルタント協会編. 新版医業経営用語事典. 東京: 日本出版; 2003. p.62, 89, 180, 202, 280.

寛淳夫, 井上由起子. 回復期リハビリテーション病棟の現状—2002 年調査結果—. 日本リハビリテーション病院・施設協会, 全国回復期リハビリテーション病棟連絡協議会, 編. 回復期リハビリテーション病棟—新しいシステムと運営のしかた—. 東京: 三輪書店; 2003. p.166-70.

井上由起子. 回復期リハビリテーション病棟の運営概念と施設計画. 社団法人日本理学療法士協会編. 理学療法白書 2002. 東京: 社団法人日本理学療法士協会; 2003. p.57-62.

井上由起子, 外山義, 菅野正広. 高齢者のウエルビーイングと木質環境. 松井三郎, 小林正美, 松岡譲, 盛岡通, 森澤眞輔, 編. 木造都市の設計技術. 東京: コロナ社; 2003. p.84-115.

井上由起子. 介助浴槽, グループホーム. 社団法人日本医業経営コンサルタント協会編. 新版医業経営用語事典. 東京: 日本出版; 2003. p.61, 104.

長澤泰, 小林健一. 医療. 社団法人日本建築学会編. 建築設計資料集成 [物品]. 東京: 丸善; 2003. p.171-91.

小林健一. 調剤薬局, 臨床研修病院. 社団法人日本医業経営コンサルタント協会編. 新版医業経営用語事典. 東京: 日本出版; 2003. p.210, 299.

抄録のある学会報告

寛淳夫. 病院全体計画における手術部. 第 25 回日本手術医学会総会; 2003.11.7-8; 福岡. (特別講演)

山田理紗, 中山茂樹, 寛淳夫. 精神科急性期病棟における治療モデルから見た患者の生活空間—精神科急性期医療を対象とする病棟の建築計画的な研究(2)—. 日本建築学会 2003 年度大会; 2003.9.5-7; 名古屋. 学術講演梗概集 E-1; 2003: 463-4.

寛淳夫, 中山茂樹. 触法精神障害者専門治療施設の計画条件に関する研究. 日本建築学会 2003 年度大会; 2003.9.5-7; 名古屋. 学術講演梗概集 E-1; 2003: 465-6.

寛淳夫. 安全なしつらえ. 第 32 回日本医療福祉設備学会; 2003.11.12-13; 東京. 同学会予稿集: 23. (シンポジウム).

大原一興, 井上由起子, 藤岡泰寛. 地域通貨を媒介としたコミュニティづくりと高齢者の地域. 日本建築学会 2003 年度大会; 2003.9.5-7; 名古屋. 学術講演梗概集 E-2; 2003: 159-60.

井上由起子, 大原一興. ケアを媒介としたコミュニティづくりと住宅の外部化. 日本建築学会 2003 年度大会; 2003.9.5-7; 名古屋. 学術講演梗概集 E-2; 2003: 185-6.

谷口元, 毛利志保, 井上由起子. ユニット内の計画に見る

居住空間の差異. 小規模生活単位型特別養護老人ホームの実態把握に関する研究その 1. 日本建築学会 2003 年度大会; 2003.9.5-7; 名古屋. 学術講演梗概集 E-1; 2003: 519-20.

毛利志保, 谷口元, 井上由起子. ユニットの独立性, 各所要室の共有状況とケア体制の関わり, 小規模生活単位型特別養護老人ホームの実態把握に関する研究その 2. 日本建築学会 2003 年度大会; 2003.9.5-7; 名古屋. 学術講演梗概集 E-1; 2003: 521-2.

その他学術報告 (研究調査報告書含む)

寛淳夫. 施設面からの院内感染対策・設備整備状況調査. 厚生労働科学研究費補助金厚生労働科学特別研究事業「我が国の院内感染対策の整備状況を把握するための研究」(主任研究者: 大久保憲<H14-特別-055>) 平成 14 年度研究報告書; 2003. p.25-35.

寛淳夫. 自傷他害行為を示す精神障害者の治療環境整備のあり方についての研究. 厚生労働科学研究費補助金障害保健福祉総合事業「精神障害者の自傷他害行為への対応と, その防止に関する医療体制の整備に関する研究」(主任研究者: 山上皓<H13-障害-039>) 平成 14 年度研究報告書; 2003.

寛淳夫. 各国の病院 (病室) 空調ガイドラインの動向. 学際共同研究「病院における室内環境調整とエネルギーシステムに関する研究」(研究代表者: 山下哲郎) 平成 12-14 年度研究成果報告書; 2003. p.9-18.

長澤泰, 寛淳夫, 小林健一, 朱庸善, 中山茂樹. 国民の生活水準に応じた治療・療養環境を提供するために必要な設備構造及び人員配置の在り方に関する研究. 厚生労働科学研究費補助金障害保健福祉総合研究事業「精神病院等の設備構造及び人員配置の在り方に関する研究」(主任研究者: 樋口輝彦<H12-障害-015>) 平成 14 年度研究報告書; 2003. P18-9.

長澤泰, 寛淳夫, 小菅瑠香, 小林健一, 朱庸善, 中山茂樹, 松本潤朗, 山田理紗. 国民の生活水準に応じた治療・療養環境を提供するために必要な設備構造及び人員配置の在り方に関する研究. 厚生労働科学研究費補助金障害保健福祉総合研究事業「精神病院等の設備構造及び人員配置の在り方に関する研究」(主任研究者: 樋口輝彦<H12-障害-015>) 平成 12-14 年度研究報告書; 2003. P20-6.

中山茂樹, 寛淳夫, 小林健一. 精神科急性期医療施設 建築・設備事例集. 厚生労働科学研究費補助金障害保健福祉総合研究事業「精神病院等の設備構造及び人員配置の在り方に関する研究」(主任研究者: 樋口輝彦<H12-障害-015>) 平成 14 年度研究成果報告会「精神科病院の設備・構造に関するシンポジウム」資料; 2003.

井上由起子, 寛淳夫. 回復期リハビリテーション病棟の現状と課題に関する調査. 平成 14 年度報告書. 回復期リハビリテーション病棟連絡協議会; 2003.

井上由起子, 主任研究者. 厚生労働科学研究費補助金長寿総合科学研究事業「居住福祉型特別養護老人ホームにおけるケアと空間のあり方に関する研究」<H14-長寿-027> 平成 14 年度研究報告書; 2003.

高橋公雄, 井上由起子, 石井敏, 菅野正広, 前川佳史, 生田京子, 木は心 高齢者施設における木質系材料の使い方. 老人保健事業推進費等補助事業「高齢者施設における木質系材料の効果及び普及に関する調査研究」平成 14 年度研究報

告書. 日本医療福祉建築協会; 2003.

井上由起子. 特別養護老人ホームにおける居住環境の改善ならびに改修に関する研究. 課題研究報告書. 日本医療福祉建築協会; 2003.

研修企画部

Department of Education Training Technology and Development

学術雑誌に発表した原著論文

品川靖子, 品川隆, 畑栄一, 加藤則子. 低出生体重児における身体発育と乳歯萌出に関する縦断的研究. 小児保健研究 2003; 62(1): 57-64.

谷畑健生, 藤田利治, 尾崎米厚, 黒沢洋一, 簗輪眞澄, 畑栄一. 自殺と社会背景としての失業, 厚生指標 2003; 50(8): 23-9.

岡本悦司, 畑栄一. レセプト傷病分析のシミュレーションによる妥当性の検討. 日本公衆衛生雑誌 2003; 50(12): 1135-43.

熊江隆, 荒川はつ子. 心拍スペクトル解析を用いた昼夜サイクルの乱れが自由行動ラットの心臓自律神経系に及ぼす影響の検討. 体力・栄養・免疫学雑誌 2003; 13(2): 112-20.

学術雑誌に発表した総説

岩永俊博. 地域づくり型保健活動の使い方. 保健婦雑誌 2003; 59(11): 1018-24.

塩飽邦憲, 岩永俊博, 樽井恵美子, 他. 概念地図を用いた問題解決能力の教育評価. 医学教育 2003; 34: 385-90.

著 書

岩永俊博. 地域づくり型保健活動の考え方と進め方. 東京: 医学書院; 2003.

土井由利子, 渡邊正樹, 畑栄一, 足達淑子, 中村正和, 岩永俊博, 他. 行動科学—健康づくりのための理論と応用. 東京: 南江堂; 2003. p.96-112.

藤原真一郎, 日佐和夫. 物理的危険 (異物). 熊谷進, 小久保彌太郎, 小沼博隆, 豊田正武, 編. HACCP: 衛生管理計画の作成と実践 改訂データ編. 東京: 中央法規出版; 2003. p.399-424.

抄録のある学会報告

岩永俊博, 平野かよ子, 曾根智史, 畑栄一, 藤原真一郎, 須藤紀子, 佐藤加代子, 渡辺志保, 大井田隆. 保健福祉従事者に対する国及び地方自治体での教育研修のあり方に関する研究—第 1 報—. 第 62 回日本公衆衛生学会; 2003.10.22-24; 京都. 日本公衆衛生雑誌 2003; 50(10 付): 409.

佐藤加代子, 須藤紀子, 平野かよ子, 曾根智史, 畑栄一, 藤原真一郎, 渡辺志保, 岩永俊博, 大井田隆. 保健福祉従事者に対する国及び地方自治体での教育研修のあり方に関する研究—第 2 報—. 第 62 回日本公衆衛生学会;

2003.10.22-24; 京都. 日本公衆衛生雑誌 2003; 50(10 付): 409.

穂積明子, 築瀬有美子, 八代樹依, 五月女幸子, 大森千草, 岩永俊博, 畑栄一, 山田和子, 緒方裕光. 協働を目指したワークショップの課題と可能性 第 1 報 ワークショップ練習前後の変化. 第 62 回日本公衆衛生学会; 2003.10.22-24; 京都. 日本公衆衛生雑誌 2003; 50(10 付): 744.

大森千草, 穂積明子, 築瀬有美子, 五月女幸子, 八代樹依, 岩永俊博, 畑栄一, 山田和子, 緒方裕光. 協働を目指したワークショップの課題と可能性—ワークショップ実施に向けての提言—. 第 62 回日本公衆衛生学会; 2003.10.22-24; 京都. 日本公衆衛生雑誌 2003; 50(10 付): 344.

五月女幸子, 守田孝恵, 畑栄一. 精神障害者訪問介護 (ホームヘルプサービス) に関する研究—試行的事業の成果評価—. 第 62 回日本公衆衛生学会総会; 2003.10.22-24; 京都. 日本公衆衛生雑誌 2003; 50(10 付): 774.

熊江隆, 荒川はつ子. 心拍スペクトル解析による実験小動物のストレス評価に関する研究. 第 73 回日本衛生学会; 2003.3.26-29; 大分. 日本衛生学雑誌 2003; 58(1): 133.

熊江隆, 荒川はつ子. 持久的運動が抗酸化能に及ぼす影響に関する研究. 第 4 報 Wistar 系ラットの肺胞マクロファージ活性と培養上清中サイトカインに及ぼす成熟期からの運動負荷. 第 73 回日本衛生学会; 2003.3.26-29; 大分. 日本衛生学雑誌 2003; 58(1): 171.

荒川はつ子, 熊江隆. 持久的運動が抗酸化能に及ぼす影響に関する研究. 第 5 報 Wistar 系ラットの肺胞洗浄液の抗酸化・酸化バランスに及ぼす加齢の影響. 第 13 回体力・栄養・免疫学会; 2003.8.23-24; 金沢. 同学会講演集; 2003. p.121-22.

荒川はつ子, 熊江隆. 持久的運動が抗酸化能に及ぼす影響に関する研究. 第 6 報 成熟後からの運動負荷が Wistar 系ラットの血清の抗酸化能に及ぼす影響. 第 58 回日本体力医学会大会; 2003.9.19-21; 静岡. 体力科学 2003; 52(6): 902.

荒川はつ子, 熊江隆. ラットの肺胞洗浄液の抗酸化バランスに及ぼす強制運動の開始時期の影響. 第 62 回日本公衆衛生学会; 2003.10.22-24; 京都. 日本公衆衛生雑誌 2003; 50(10 付): 383.

熊江隆, 荒川はつ子, 伊藤孝. 夏期合宿中の持久的運動が大学駅伝選手の血清の抗酸化能に及ぼす影響. 第 62 回日本公衆衛生学会; 2003.10.22-24; 京都. 日本公衆衛生雑誌 2003; 50(10 付): 317.

土井徹, 荒川はつ子, 岡本悦司, 緒方裕光, 望月友美子.

「疫学研究に関する倫理指針」の周知度に関する施設調査. 第 62 回日本公衆衛生学会; 2003.10.22-24; 京都. 日本公衆衛生雑誌 2003; 50(10 付): 194.

谷畑健生, 藤田利治, 畑栄一, 尾崎米厚, 青山旬, 川南勝

彦, 箕輪真澄. 自殺死亡および経済関連指標を検討する. 第 13 回日本疫学会学術総会; 2003.1.24-25; 福岡. Journal of Epidemiology 2003; 14(1 Suppl): 206.

Originals

Kumae T, Arakawa H. Assessment of training effects on activity levels of alveolar macrophage in matured rats

using chemiluminescent technique. Luminescence 2003; 18: 61-6.

研究情報センター

Center for Information Research and Library

学術雑誌に発表した原著論文

土井徹. 国立保健医療科学院における情報ネットワークの取り組み. 公衆衛生 2003; 67(7): 15-20.

緒方裕光. 健康危機管理と情報評価. 保健医療科学 2003; 52(2): 106-9.

加藤則子, 北村邦夫, 望月友美子, 大井田隆. 全国における思春期外来ならびに思春期相談窓口の設置状況に関する調査結果. 思春期学 2003; 21(3): 283-90.

学術雑誌に発表した総説

土井徹. 「疫学研究に関する倫理指針」の周知度に関する全国調査. 保健医療科学 2003; 52(3): 217-23.

緒方裕光. バイアスと交絡. 放射線科学 2003; 46(4): 110-4.

中山健夫, 緒方裕光. 臨床疫学と EBM. 放射線科学 2003; 46(8): 242-7.

大久保千代次, 杉山英男, 山口一郎, 緒方裕光. 国立保健医療科学院における放射線・放射能に関する研究と教育. 保健物理 2003; 38(3): 211-5.

望月友美子. 思春期から予防する生活習慣病 思春期の喫煙防止. 思春期学 2003; 21(4): 366-71.

望月友美子. スポーツと喫煙 その弊害と禁煙対策 WHO 世界禁煙デーのスローガンと禁煙推進戦略. 臨床スポーツ医学 2003; 20(7): 751-6.

著 書

土井徹. 祖父江逸郎, 監修. 長寿科学事典. 東京: 医学書院; 2003. p.1164.

抄録のある学会報告

土井徹. 国立保健医療科学院における遠隔教育. 第 18 回日本コンピュータサイエンス学会学術集会; 2003.2.16; 東京. 同論文集. p.12-7. (特別講演)

土井徹, 荒川はつ子, 岡本悦司, 緒方裕光, 望月友美子. 「疫学研究に関する倫理指針」の周知度に関する施設調査. 第 62 回日本公衆衛生学会; 2003.10.22-24; 京都. 日本公衆衛生雑誌 2003; 50(10 付): 194.

瀬谷彰, 小倉敬一, 土井徹. 主観的健康観, 生活満足度および生きがいに関する生活習慣要因について. 第 62 回日本

公衆衛生学会; 2003.10.22-24; 京都. 日本公衆衛生雑誌 2003; 50(10 付): 266.

土井徹. 統計から見た青少年暴力. 第 22 回日本思春期学会総会学術集会; 2003.8.16-19; 京都. (シンポジウム)

緒方裕光, 川上泰, 馬替純二. ガンマ線に対する生物応答 (2)一線量率効果に関する数学的モデル. 日本保健物理学会第 37 回研究発表会; 2003.6; 千葉.

馬替純二, 星裕子, 川上泰, 緒方裕光. ガンマ線に対する生物応答 (1)一低線量, 低線量率ガンマ線に対する新規生物応答モデル. 日本保健物理学会第 37 回研究発表会; 2003.6; 千葉.

山口一郎, 緒方裕光. 皮下組織に残留した放射性同位元素による皮膚被曝線量のモンテカルロ法を用いた推計. 日本保健物理学会第 37 回研究発表会; 2003.6; 千葉.

緒方裕光, 古川智春, 川上泰, 馬替純二. ガンマ線に対する生物応答における線量率効果に関する統計学的モデル. 日本放射線影響学会第 46 回大会; 2003.10; 京都.

馬替純二, 古川智春, 星裕子, 川上泰, 緒方裕光. 低線量・低線量率ガンマ線による生物応答の線量応答. 日本放射線影響学会第 46 回大会; 2003.10; 京都.

寺田宙, 緒方裕光, 杉山英男, 横浜検疫所輸入食品・検疫検査センター, 神戸検疫所輸入食品・検疫検査センター. 国立保健医療科学院における食品中の放射能調査・評価. 第 40 回全国衛生化学技術協議会年会; 2003.11; 和歌山.

緒方裕光, 林謙治. 保健医療分野における研究評価のあり方に関する研究 (その 2) 米国 CDC における評価システム. 第 62 回日本公衆衛生学会総会; 2003.10.22-24; 京都. 日本公衆衛生雑誌 2003; 50(10 付): 349.

大森千草, 穂積明子, 築瀬有美子, 五月女幸子, 八代樹依, 岩永俊博, 畑栄一, 山田和子, 緒方裕光. 協働を目指したワークショップの課題と可能性ーワークショップ実施に向けての提言ー. 第 62 回日本公衆衛生学会; 2003.10.22-24; 京都. 日本公衆衛生雑誌 2003; 50(10 付): 344.

穂積明子, 築瀬有美子, 八代樹依, 五月女幸子, 大森千草, 岩永俊博, 畑栄一, 山田和子, 緒方裕光. 協働を目指したワークショップの課題と可能性 第 1 報 ワークショップ練習前後の変化. 第 62 回日本公衆衛生学会; 2003.10.22-24; 京都. 日本公衆衛生雑誌 2003; 50(10 付): 744.

緒方裕光. 健康危機管理情報の網羅的収集と評価. 平成 14 年度厚生労働科学研究健康科学総合研究成果発表会; 2003.3; 東京.

緒方裕光. 身の回りのリスクとの比較. 原子力安全委員会シンポジウム「私たちの健康と放射線被ばく—低線量の放射線の影響を考える」; 2003.3; 東京.

その他学術報告（研究調査報告書含む）

土井徹, 曾根智史. 少年犯罪に関連する個人事象の因子検討に資するためのデータベース作成に関する研究. 厚生労働科学こころの健康科学研究事業「思春期における暴力行為の原因究明と対策に関する研究」（主任研究者：小林秀資）平成 14 年度研究報告書; 2003. p.143-8.

土井徹, 主任研究者. 厚生労働科学特別研究事業「疫学研究に関する倫理指針」に関する情報を幅広く適切に普及するための有効なインターネット配信に関する研究」平成 14 年度研究報告書; 2003.

土井徹. システム工学の応用：研究助成のシステム分析. 厚生労働科学特別研究事業「保健医療分野における研究評価のあり方に関する研究」（主任研究者：林謙治）平成 14 年度研究報告書; 2003. p.375-80.

緒方裕光. 厚生労働科学研究費補助金医療技術評価総合研究事業「EBM を支える人材の系統的な養成についての調査研究」（主任研究者：緒方裕光）平成 14 年度総括研究報告書; 2003. p.1-4.

緒方裕光, 磯野威. フランスにおける EBM 教育. 厚生労働科学研究費補助金医療技術評価総合研究事業「EBM を支える人材の系統的な養成についての調査研究」（主任研究者：緒方裕光）平成 14 年度総括研究報告書; 2003. p.235-40.

緒方裕光. 厚生労働科学研究費補助金健康科学総合研究事業「健康危機管理情報の網羅的収集と評価に関する調査研究」（主任研究者：緒方裕光）平成 14 年度総括研究報告書;

2003. p.1-4.

磯野威, 緒方裕光, 柳律子, 泉峰子, 土井徹. 健康危機管理情報支援システムの構築. 厚生労働科学研究費補助金健康科学総合研究事業「健康危機管理情報の網羅的収集と評価に関する調査研究」（主任研究者：緒方裕光）平成 14 年度総括研究報告書; 2003. p.55-61.

磯野威, 緒方裕光, 野添篤毅, 阿部信一, 裏田和夫. 健康危機管理情報の網羅的収集のケーススタディー—データベース検索および文献リスト<放射線障害>. 厚生労働科学研究費補助金健康科学総合研究事業「健康危機管理情報の網羅的収集と評価に関する調査研究」（主任研究者：緒方裕光）平成 14 年度総括研究報告書; 2003. p.63-4.

緒方裕光. 健康危機管理情報の網羅的収集と評価. 「健康日本 21 と健康危機管理について」平成 14 年度厚生労働科学研究健康科学総合研究成果発表報告会報告書; 2003. p.1-7.

緒方裕光. EBM における観察研究の統合. 厚生労働科学研究費補助金医療技術評価総合研究事業「日本における EBM のためのデータベース構築および提供利用に関する調査研究」（主任研究者：丹後俊郎）平成 14 年度分担研究報告書; 2003. p.175-8.

緒方裕光. 米国疾病管理予防センター（CDC）における研究評価. 厚生労働科学研究費補助金厚生労働科学特別研究事業「保健医療分野における研究評価のあり方に関する研究」（主任研究者：林謙治）平成 14 年度分担研究報告書; 2003. p.235-40.

緒方裕光, 山口一郎. 食品中放射性核種による被ばく線量評価に関する研究. 第 45 回環境放射能調査研究成果論文抄録集, 2003.

望月友美子, 主任研究者. 厚生労働科学科学研究補助金子ども家庭総合研究事業「思春期の保健対策の強化及び健康教育の推進に関する研究」平成 14 年度報告書; 2003.

Originals

Magae J, Hoshi Y, Furukawa C, Kawakami Y and Ogata H. Quantitative analysis of biological responses to ionizing radiation, including dose, irradiation time and dose rate. Radiation Research 2003; 160: 543-8.

Books

Magae J, Ogata H. Biological response to low dose rate gamma radiation. In: Tanaka K, et al. editors. Molecular mechanisms for radiation-induced cellular response and cancer development. Rokkasho: Institute for Environmental Sciences; 2003. p70-5.

Proceedings with Abstracts

Ogata H, Kawakami Y, Magae J. Mathematical model for evaluation of dose-rate effect on biological responses to low dose gamma radiation. 12th International Congress of Radiation Research; Aug. 2003; Brisbane.

Magae J, Furukawa C, Hoshi Y, Ogata H. Quantitative analysis of biological responses to low dose-rate gamma radiation, including dose, irradiation time, and dose-rate. 12th International Congress of Radiation Research; Aug. 2003; Brisbane.

Ogata H, Magae J. Mathematical model of dose-rate effect on biological responses to gamma radiation. The 3rd International Workshop on Mathematical Modeling in Carcinogenesis; Mar. 2003; Kyoto.

Magae J, Ogata H. Modeling of dose-rate effects on cellular responses to low dose gamma irradiation. The International Workshop on Radiation Risk and Its Origin at Molecular and Cellular Level; Feb. 2003; Tokai.

Ogata H. EBM au point de vue de l'enseignement au Japon. Colloque sur l'Enseignement de la Médecine Factuelle; Mar. 2003; Lyon.